

第六十五回帝國議會 院

昭和九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外三件委員會會議錄(速記)第十三回

會議

昭和九年三月十七日(土曜日)午前十時四十分開議

出席委員左ノ如シ
委員長代理理事 小笠原三九郎君
理事金井 正夫君 理事中村三之丞君
理事松尾 四郎君

門田 新松君 増田 金作君
大口 喜六君 長島 隆二君
山口忠五郎君 山本 芳治君
川崎 克君 牧山 耕藏君
小川郷太郎君 原 夫次郎君
野中 徹也君 松岡 俊三君
豊田 收君 佐藤 重遠君
同日委員大口喜六君辭任ニ付其ノ補闕トシ
同日委員松岡俊三君辭任ニ於テ選定セリ

第六類第一號 昭和九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外三件委員會會議錄 第十三回 昭和九年三月十七日

テ大口喜六君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同日十六日郷又ハ町村祿高ニ對スル公債證書給與ニ關スル法律案(寺田市正君外四名提出)及所得稅法中改正法律案(大口喜六君外一名提出)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ
出席政府委員左ノ如シ
大藏政務次官 堀切善兵衛君
大藏省理財局長 津島 壽一君
大藏省銀行局長 大久保偵次君
大藏書記官 石渡莊太郎君
朝鮮總督府政務總監 今井田清徳君
朝鮮總督府財務局長 林 繁藏君
委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

同日委員松岡俊三君辭任ニ付其ノ補闕トシ
同日委員大口喜六君辭任ニ於テ選定セリ
同日委員松岡俊三君辭任ニ付其ノ補闕トシ
同日委員大口喜六君辭任ニ於テ選定セリ

大正九年法律第十二號中改正法律案(所得稅法ノ施行ニ關スル件)政府提出)

日本銀行金買入法案(政府提出)
郷又ハ町村祿高ニ對スル公債證書給與ニ關スル法律案(寺田市正君外四名提出)
所得稅法中改正法律案(大口喜六君外一名提出)

○小笠原委員長代理 是ヨリ開會致シマス、議事ヲ進メル都合上、茲ニ併託サレマシタ所得稅法中改正法律案ト云フノヲ議題ニ供シマス、提出者ハ趣旨ヲ御辯明願ヒタイ
○松岡俊三君 只今議題トナッテ居リマス所得稅法中改正法律案提出ノ理由ヲ簡單ニ御説明申上ゲマス、本案ハ曩ニ第五十六回帝國議會ニ於テ、時ノ田中内閣ガ政府案トシテ本院ニ提出シテ可決サレタケレドモ、

付託議案
(審査終了ノモノヲ除ク)
大正九年法律第十二號中改正法律案(所得稅法ノ施行ニ關スル件)(政府提出)
日本銀行金買入法案(政府提出)
郷又ハ町村祿高ニ對スル公債證書給與ニ關スル法律案(寺田市正君外四名提出)
所得稅法中改正法律案(大口喜六君外一名提出)

他ノ法條トノ關係上貴族院デ審議未了トナッタモノデアリマス、即チ此處ニ甲乙二ツノ法人ガアリマシテ、甲ノ法人ガ五十萬圓ノ資本ヲ以テ事業ヲ營ンデ、此處ニ五萬圓ノ利益ヲ擧ゲタトシマスルト、ソレノ所得稅ハ即チ百分ノ五、二千五百圓ダケガ普通所得稅トシテ課セラレルコトニナルノデアリマス、所ガ乙ノ方ノ法人ガ、同一ノ五十萬圓ノ資本金ヲ以テ、事業ヲ營ンデ居リマシタガ、不況續キデ苦心慘愴シテ事業ヲ續ケテ來タノデアリマスルガ、遂ニ茲ニ四十五萬圓ノ缺損ヲ生ジタト致シマス、所ガ天運巡リ來テ、幸ニモ茲ニ五萬圓ノ利益ヲ擧ゲルコトニナッタトシマスルト云フト、其五萬圓ニ對シテ甲法人ノ如ク、百分ノ五デ二千五百圓ノ普通所得稅ガ課ケラレルノデアリマス、更ニ五十萬圓ノ資本カラ

四十五萬圓ノ缺損金ヲ差引イタル五萬圓ヲ以テ、其五萬圓ノ資本デ五萬圓ノ利益ヲ擧ゲタト、斯ウ云フコトニ解釋セラル、ノガ、現行ノ法律ノ解釋デアリマス、其解釋ニ依ッテ先ヅ五萬圓ノ中五千圓ニ對シテ百分ノ四、即チ二百圓ノ超過所得方課セラレル、次ノ五千圓ニ對シテ八百分ノ十、即チ五百圓ヲ課ケラレル、サウシテ終ニ五萬圓カラ一萬五千圓ヲ差引イタル三萬五千圓ニ對シテ八百分ノ二十、即チ七千圓ノ超過所得ヲ課セラルノデアリマシテ、超過所得ガ第一ニハ二百圓、次ハ五百圓、最後ニハ七千圓、合計七千七百圓ダケガ超過所得トシテ課セラレルコトニナルノデアリマシテ、普通所得ノ二千五百圓ト合計シマス、一萬二百圓ダケガ繰越缺損四十五萬圓アル乙法人ガ課セラレルコトニナルノデアリマス、斯ノ如ク繰越缺損ノナイ健康體デアアル甲法人ガ、僅ニ二千五百圓ノ普通所得稅方課セラレルダケデアッテ、乙法人ノ如キ不健康體デ、長ラクノ間苦心慘憺ヲ極メタル其經營者デアアル所ノ乙法人ガ、斯様ナ工合ニ、一萬二百圓課セラレルト云フヤウナ不合理ガ、現行法ニ依ッテ遂ニ已ムヲ得ナイヤウニナルノデアリマス、斯様ナ工合ニナリマスカラ、所得稅法ノ第六條ノ第二項ヲ削ッ

テ、斯様ナル場合ニ於テハ繰越缺損ヲ出來ルダケ早ク補填セシメテ、健康體ニセシメルト云フコトガ、産業政策ノ上カラ言ウテモ考ヘナケレバナラヌコト、思フノデアリマス、サウシテ早ク健康體ニシ、サウシテ政府モ喜ンデ稅金ヲ課シ得ルヤウニ、産業ヲ助成スルコトモ出來テ、サウシテ事業者モ喜ンデ稅金ヲ納メルヤウナ工合ニ、政府モ事業者モ俱ニ喜ンデ幸福ニ浴スルヤウナ工合ニ行カネバナラヌト思フノデアリマス、自力更生ヲ説イテ居ル現内閣ニ於テハ、斯様ナル點ニハ最モ力ヲ入レンケレバナラヌト思フノデアリマス、然ルニ前申上ダケヤウナ工合ニ、健康體ノ甲法人ガ僅ニ二千五百圓ノ普通所得ヲ課セラレルダケデアッテ、乙法人ガ一萬二百圓ヲ課ケラレルト云フヤウナ工合ニシテ、缺損補填ヲ爲スコトヲ得セシメナイヤウニスルト云フヤウナ政治ハ、涙ノアル政治デアルトハ申サレマイト思フノデアリマス、長ラク苦勞セラレタル大藏大臣ノ高橋サン、最モ慈悲心ノアル方デアルト稱セラレテ居ル高橋大藏大臣、産業方面ニハ理解ノアル大藏大臣トシテ、斯様ナル點ニ何故御氣ガ付カレナイノカト云フヤウニ思ハレテモ致方ナイト思フノデアリマス、私ハ斯様ナ意味ニ於テ此法

案ヲ提出シタノデアリマス、何卒滿場ノ御贊成ヲ得マシテ、一日モ早ク斯ル産業政策ノ間違ッタ點ヲ是正スルヤウニシテ、サウシテ本當ニ自力更生ヲ爲サシメ、不健康體ノ乙法人ヲシテ、喜ンデ國家ニ貢獻スルヤウナ工合ニセシメルヤウニ致シタイト云フノガ、此法案提出ノ理由デアリマス、何卒御協賛ヲ切望スル次第デアリマス

○小笠原委員長代理 別ニ御質議ハアリマセヌカ——政府側ノ御意嚮ヲ政府委員ヨリ御示シ願ヘレバ結構デアリマス

○堀切政府委員 本案ハ只今松岡君ヨリ御説明ノ如ク健全な會社ト、從來不幸ニシテ損失ヲ生ジテ居タ會社トノ間ニ、負擔ノ公平ヲ缺ク結果ニナルノデアリマス、隨ヒマシテ之ヲ公平ナル課稅ノ出來ルヤウニ致シタイト云フ御趣意デ、御趣意ノ點ハ十分是ハ理由ノ存スルコト、考ヘル次第デアリマス、曾テ大藏省ニ於キマシテモ、此改正ノ趣旨ト同シ趣旨デ、議案ヲ提出シタコトモ、只今御述ベノ通りデアリマス、斯様ナ事ナノデアリマスカラ、決シテ此御趣意ニ反對スル趣旨デアリマセヌガ、唯、今日大藏省ニ於テハ、稅制改正準備委員會ニ於テ、國及ビ地方ノ稅制改正ノ全般ニ互リ、只今調査考究致シテ居ル次第デアリマスカ

ラ、斯ノ如キ點ニ付キマシテハ、殊更注意シテ研究シテ成案ヲ得タイト考ヘテ居ル次第デアリマス、廣ク申シマス、先ヅ會社ニ對シテ超過所得稅ヲ課ケルト云フヤウナコト、其モノガ、善イカ悪イカト云フヤウナ點モ、餘程研究スベキ問題デアラウト思ヒマス、旁々只今ノ如キ御提案ニ對シマシテハ、今後十分ニ慎重ニ研究調査ヲ續ケテ行キタイ考デアリマス

○松尾委員 私一寸今ノ點ニ付テ御尋シタイトデアリマスガ、今松岡君ノ述べラレタヤウナ事實ハ、實ニ不合理デアリマシテ、五十萬圓ノ資本金ノ會社ガ、二千五百圓ノ稅金ヲ納レバ宜イノニ、一方缺損アル會社ガ一萬二百圓ノ稅金ヲ拂ハナケレバナラヌト云フヤウナコトハ、實ニ不合理デアリマスガ、斯様ナ事實ガ現ニ現存シテ居ルノデアリマスカ、是ハ其點ニ付テ何カ政府ノ調べラレタ點違フ點ガアルデセウカ、ソレヲ伺ヒマス

○石渡政府委員 大體松岡サンノ御述ニナリマシタヤウナ結果ニナルト思ヒマス、ソレハ資本金五萬圓ノ會社ガ、五萬圓儲ケタト云フ場合、ソレカラ十萬圓ノ會社ガ繰越缺損ガ五萬圓アリマシテ、今動イテ居ル資本金ハ五萬圓デアアル、其五萬圓デ儲ケタ五萬

圓ト云フモノトヲ、同ジ課稅ヲシテ居リマスカラ、其資本金ノ見方ガ現在働イテ居ル所ノ資本金ヲ見テ居リマスカラ、隨テ繰越缺損ノ多イ會社ガ、超過所得稅ヲ餘計ニ負擔スルト云フコトハ、今日ノ稅法ニ於テハ有リ得ルコトデゴザイマス、是ハ詰リ現在働イテ居ル所ノ、資本金ニ對スル割合ニ依ッテ、見テ行クノデゴザイマスカラ、理窟カラ申セバ或ハソレデ宜イノカトモ思フノデゴザイマスケレドモ、實際上ニ於キマシテハ、中々其邊ニ色々ナ徵稅上苦痛ヲ訴ヘル問題ガ、起ッテ來ルト思フノデアリマス

○野中委員 今ノ松岡君ノ御提案ハ洵ニ結構ダト思ヒマシガ、政府ハ考慮スル、或ハ調査スルト云フコトデアリマス、併シ法律案トシテ是ガ通過シマシタ場合ニ、肯定シマスカドウデスカ、其時ノ御意見ヲ伺ッテ置キタイ

○堀切政府委員 是ハ豫算ノ上ニ直接ニ影響ヲ有ッテ參リマスルノデ、是ガ此通りニ行キマスレバ、豫算ガ約三十萬バカリト思フテ居リマス、隨テ是ハ只今ノ所其點ニ關シマシテハ、一寸御答辯申上ゲ兼ネル次第デアリマス、愈、通過シマシタナラバ、其時ニ政府ト致シマシテ善處致シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○小笠原委員長代理 別ニ質疑モアリマセヌヤウデスカラ、此法案ニ對スル資疑ハ終局ト致シマス

○小笠原委員長代理 次デ郷又ハ町村祿高ニ對スル公債證書給與ニ關スル法律案ニ付キマシテ、提案者ノ趣旨辯明ヲ求メマス

○寺田市正君 私ハ提案者ノ一人ト致シマシテ、極メテ簡單ニ本案ノ提案ノ趣旨ヲ申上ゲタイト思ッテ居リマス、士族ノ家祿賞典祿ト云フモノハ、御承知ノ通り昔ノ武士、即チ今ノ軍人ノ謂ハ、俸給デアアルノデアリマス、年俸トモ申スベキモノデアリマスガ、其家祿ハ即チ家ニ附イタル祿デアッテ、賞典祿ハ本人ノ勳功其他ニ依ッテ、加俸サレタモノデアアルノデアリマス、是モ當時ノ舊各藩ニ屬シマシタ士族ノ祿、即チ俸給ト云フモノガ、當時ハ舊藩主カラ戴イテ居ッテ譯デアリマシタガ、廢藩置縣後、即チ藩政奉還後ニ於キマシテハ、直接朝廷ニ屬シテ居ラナイ武士ニ、朝廷カラ祿ヲ遣ル譯ニモ行カヌ、ト言ッテ既ニ藩政ヲ奉還シタ藩主ガ、俸給ヲ遣ル譯ニモ行カヌト云フコトデ、何レカラモ戴ケナイト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、ソレヲ若シ當時ノ士族ガ、藩政奉還ノ當時、今ノ或國ノ軍人ナドノヤウニ、吾々ノ俸給ヲ奪ハレルト云フコトニ

ナリ、生命權ヲ奪ハレルト云フコトニナルカラ、是ハ一大事デアアルト云フコトデ、大騒ギニナリマシタナラバ、恐ラク明治ノ大維新ト云フヤウナ大改革モアナンニ立派ニ、手際良ク完成シテ居ナカッタデアラウト思ヒマス、當時ハ所謂武士ハ食ハネド高楊枝デアリマシテ、即チ自己一身ヲ捨テマシテ全ク藩主公ノ爲メ、朝廷ノ爲メ、即チ國家ノ爲メト云フ事カラ致シマシテ、自分ノ俸給ヤ生活權ノヤウナ事ハ、思想モ今日程ノヤウナコトハナク違ッテ居リマスカラ、左様ニ論議セズニ、藩政奉還トナッタノデアリマス、サウデアリマスカラ、朝廷カラ今度ハ其俸給、所謂家祿賞典祿ヲ下サルト云フコトモ決ッテ居ナイシ、ト言ッテ元ノ舊藩主カ下サルト云フコトモ決ッテ居ナカッタノヲ、是デハイカヌト云フノデ、明治三年九月ニ太政官ノ布告ガアリマシテ、此以後矢張祿高ヲ有シタ者ニ對シテハ、明治二十年マデノ間ニ於テ其祿高ヲ計算シテ、サウシテ一石六圓ノ割デ計算シテ、之ヲ交付公債ニシテ呉レルト云フ太政官ノ布告ガ出タノデアリマス、ソレニ依ッテ各藩ノ人ガ皆願出マシテ大體戴イタ所モアリ、戴カナイ所モアッタノデアリマスガ、當時私ノ舊鹿兒島藩ニ於キマシテハ、明治四年ニ祿高取調

帳ト云フモノヲ、新政府ニ出スト云フコトニナリマシタ、併シ當時ハ中々色々ナサウ云フ御達シヤ布告ガ徹底シマセヌノデ、ソコソレニ届出漏ト云フモノガ非常ニ多クアッタノデアリマスガ、其届出漏ヲ其儘ニ致シマシテ、舊鹿兒島藩カラハ一萬七千餘石トシテ届出タ、此一萬七千餘石ニ對シテハ、今ノ計算ヲ致シマシテ明治五年ト、明治九年ト、明治十二年ノ三回ニ、一萬七千餘石ハ給與サレタノデアリマスガ、其後大藏省カラ金祿公債トシテ、交付公債ヲ戴キマシタコトニ依リマシテ、戴イタ所モアリ、戴カナイ所モアルノデ、是ハドウ云フ譯デアアルカト云フコトヲ、段々調べマシタ所、即チ明治六年ノ祿高取調帳ト云フモノニ届出漏ガアッタ結果、是ガ行カナカッタ所モアッタト云フコトガ分リマシテ、ソコデ爾來其届出漏ノ方ノ地方ハ成ベク之ヲ届出デマシテ、公債給付ヲ受ケルヤウニト云フノデ、請願ヲシテ參ッタノデアリマスガ、ソレガドウシテモ大藏省ノ役人ノ方々カラ認メラレズニ、常ニ其請願ガ却下サレテ來テ居ッタノデアリマス、所デ明治二十三年ニ議會ガ開ケル以前ニ、一切請願ハ議會ニト云フコトニナリマシタガ、從來大藏省ニ請願シテ來マシタ關係上、大藏省ニ矢張請願

ヲ續ケテ結果、是デハ大藏省ノ方デハ困ルシ、又議會ノ方デモ困ルト云フコトデ、明治三十年ニ法律第五十號ト云フノガ出來マシタ、ソレデ以テ家祿賞典祿處分法ト云フ法律ガ出來マシタ、ソレデ處分シテ幾ラカ今マデノ届出漏ノモノニヤラウト云フコトニナツテデアリマス、所ガソレダケデハ大藏省ノ方デ御下渡ガナイノデアリマス、即チ是デハ不備ダト云フノデ、明治三十二年ニ家祿賞典祿處分法施行法ト云フ又法律ガ出來マシテ、ソレガ法律第八十四號デアリマスガ、是ガ出來マシテ、サウシテ其法律ノ第四條ニ家祿賞典祿ノ整理ノ爲ニハ、公債一千萬圓ヲ限ツテ之ヲ發行シ、此一千萬圓ノ交付公債デ以テ整理シヨウ、斯ウ云フコトニナツテ明治三十二年ノ法律第八十四號ガ出來タノデアリマス、ソレニ依ツテ大藏省ニ請願シテ居リマシタガ、大藏省ノ役人ノ方々ガ何ノ彼ノト言ツテ下渡シテ呉レマセヌ、ソコデ却下ニナツタモノハ仕様ガナイカラ、明治四十年ニ更ニ法律ヲ作りマシテ、大藏省デ却下サレタモノハ行政裁判所ニ出訴スルト云フ途ガ開カレマシタ、私ノ所モ矢張サウ云フ手續ヲ執リマシテ、大藏省デハ却下サレマシタカラ、行政裁判所ヘ出訴シマシタガ、ソレカラ十何年掛リマ

シテ、其裁判ガ大正十一年十二月ニ漸ク判決ガアッタ、之ニ依ルト鹿兒島藩ノ協力高、軍役高ハ郷ナル團體ノ祿ニシテ、郷士族ノ家祿ニアラズト云フ意味ノ判決ガアリマシタ、而モ鹿兒島縣ノハ明治五年及ビ明治九年及ビ明治十一年ニ下渡シタ所ノ一萬七千石以外ニハナイノダ、實質上ソレダケシカナカッタノダ、ソレヲ今個人カラ願出タ所デ、個人ノモノデナイ、郷ノモノダカラ、其願出タ主體モ違フデ居ルシ、又願出タ高モ違フカラト云フノデ此判決ガ下リマシタ、ソコデ行政裁判所ノ判決ハ一審デ終審デゴザイマスノデ、如何トモスルコトガ出來マセヌカラ、郷ノモノトシテ祿高ヲ下渡シテ行ケルヤウニト云フ、茲ニ此新シイ法律ヲ御願シナケレバ、鹿兒島縣ダケガ家祿賞典祿ノ何等ノ恩典ヲ蒙ラヌト云フコトニナツテ居リマス、然ルニ先般アノ田島勝太郎君外所謂政民兩黨共同デ提出シマシタ家祿賞典祿ノ法律案ト云フノハ、既ニ衆議院ヲ通過シ、今貴族院ニ行ツテ居リマス、アレハ矢張同ジ性質ノモノデアリマスガ、ソレガ福岡、松山、福井、奈良、福島、斯ウ云フ各藩ニ於キマシテハ、既ニ明治三十年法律第五十號、竝ニ明治三十二年法律第八十四號ニ依ツテ、斯ウ云フ各藩ハ明治十年以降ノ十年

間分ハ公債ガ給與サレテ居リマス、其給與サレタ額ハ、或ハ大藏省ニ於テ其儘給與サレタモノガアルシ、大藏省デ却下シタ爲ニ、行政裁判所デソレヲ判決ニ依ツテ給與シタモノモアルシ、傍々致シマスカラ、全體ノ詳シイ數字ハ分リマセヌガ、概略ニ致シマシテ、約四百萬圓ダケハ是等ノ各藩ニ渡サレテアルノデアリマス、私ノ所ハ前申シマス通り郷ノ協力高デアツテ、個人ノモノデナイト云フ判決デアリマシタカラ、法律第五十號ヤ第八十四號ニ依ツテ出訴シタモノハ、之ヲ却下サレマシタ、御承知ノ通り法律第五十號、法律第八十四號ハ、何レモ家祿賞典祿ヲ有スル者、及ビ家名承繼人ト書イテアル、即チ家祿賞典祿ヲ有シタ本人、若ハ家督相續人ニ限ラレテ、初メテ出訴ガ出來ルコトニナツテ居リマス、郷ノモノトナツテ居ル所ハ法律第五十號、第八十四號ノ恩典ヲ被リマセヌカラ、ドウシテモ新シイ法律ヲ出シテ各藩ト同ジヤウニ、鹿兒島藩ノ舊士族ニ對シテモ、恩典ヲ戴キタイト云フノガ本案ノ趣旨デアリマス、是ハ前回ニ於キマシテ大藏省ニ於ケル其途ノ最モ「オーソリテイ」ト申サレテ居リマス小原ト云フ事務官、其方ニ私ハ親シク伺ツテ研究ヲ致シマシタ、又其方ガ公式ニ前ノ三十四議會ニ

於キマシテ述べラレマシタ速記録ガ、今デモ衆議院ニアリマス、其速記録ニ依リマシテ、其方ノ答辯等ニ依リマス、此案ニ對シテ贊成ヲナサナイ點ガ、凡ソ四點アルヤウデアリマス、ソコデ其方ガ今回ハ説ヲ變ヘテ、私ノ説ニ贊成シテ戴ケルカモ知レナイ、昨年六十四議會ニ於ケル小原事務官ノ——大藏省内ニ於ケル最モ權威者デアアル此方ノ御意見ヲ、茲ニ申上ゲテ見マス、此法律ヲ作ツテヤルト云フコトヲヤレバ、一事不再理ノ原則ニ反スルカラ、斯ウ云フコトハ宜シクナイト云フコトデアリマス、私共ノ考ヘル所ニ依リマス、同一法律ニ依ツテ、同一事件ニ關スル再議ナラバ、成ル程一事不再理ノ原則ニ反シマスガ、私ノ案ト云フモノハ、未ダ此法律ガ出來テ居ナイ、是カラ是ガ出來マシテ、之ニ依ツテ審理サレテカラコソ初メテ一事不再理ニナル、斯ウ云フ法律ハ今マデ日本ニナカッタ、此法律ヲ作ツテ、ソレカラ初メテ此事件ガ審理サレル、ソコデ一事不再理ニナリマスケレドモ、此法律ガマダ出ナイ間ハ、一事不再理ノ原則ニ當嵌ラナイト思フ、ソレカラ第二點ハ大正八年法律第三十四號ト云フモノ、期限内ニ請求セラレナカッタカラ、今日ニ於テ郷カラ請求スル法律ヲ制定スルト云フコト

ハ、不當デアアルカラ同意ガ出来ヌト云フ、大正八年法律第三十四號ト云フモノハ、ドウ云フモノカト云フト、明治三十年法律第五十號ノ家祿賞典祿處分法ニ依ッテ請求シ得ベキモノニ對シテ、出願出訴ノ期限ヲ延長シテ法律デアリマス、即チ根本ハ明治三十年ノ法律第五十號、及ビ明治三十二年法律第八十四號ニ依ッテ、其出願出訴ノ期限ヲ延長シタノガ、大正八年ノ法律第三十四號デアリマス、所ガ是ハ法律ガ出来テ居ナイノデアリマス、ソコデ大正八年法律第三十四號ノ期限内ニ出訴、出願請求ヲシナカッタト云フノデ、此法律ヲ作ルト云フコトニ御反對ヲナサル、是ハ道理ガナイト思ヒマス、第三ニ政府委員ノ方ガ前議會ニ於テ言ハレマシタ點ニ付キマシテハ、鹿兒島縣ハ協力高ニ對シテハ、一萬七千餘石ト云フモノ、處分ヲ與ヘタ、其處分ヲ與ヘタ時ニ明治五年、九年、十二年ノ三回ニ與ヘタ時ニハ、何レモ郷ト云フモノ、趣旨ヲ認メテ郷ニ渡シタ、殊ニ明治十二年ノ時ナドハ、郷ノモノヲ個々ノ士族ニ拂下ゲテ、サウシテ士族ニ金祿公債ヲ渡シテ居ル、郷ノモノデアルト云フコトハ、當時鹿兒島縣ノ方ハ知ッテ居タ管デアアル、ソレヲ何故郷ト云フノデ出シテ來ナイカ、郷デサヘ出シテ呉レ、バ、其

時何トカ審議ニ及ブンダッタト云フ御口吻デゴザイマスケレドモ、今ノ大藏省ノ役人方ナラバ親切ニ教ヘテ裁ケマセウケレドモ、明治十二年ヤ十三年ノ當時ハ、私ノ所ハ所謂西南戰役後間モナクデ、鹿兒島ノ賊軍共ト云フコトデ、洵ニ國民視シテ居ラレナカッタ時代デアアル、其時代ニ大藏省ニ出マシテ色々ナコトヲ御願シマシタ所デ、オ前ノ所ハ手續ガ違ッテ居ルカラ、郷ト云フモノデ出シテ來イナド、親切ニ教ヘテナド呉レルモノデナイ、黙ッテ却下シテ來ル、理由ナシト云フヤウナコトデ、却下々々來テ居ッタ、ソコデ郷ト云フモノデ願フコトガ出來ナカッタノデアリマスガ、併シ明治三十年ノ法律第五十號、明治三十二年ノ法律第八十四號デハ、今度ハ其家祿賞典祿ヲ有シタル者、及ビ其家名繼承人ト云フ法律ガ出來タノデアリマスカラ、其法律ニ依リマシテハ、郷ト云フモノガ主體トナッテ願出ガ出來マセヌ、矢張士族個々カラ願ハナクチャナラヌ、各藩ノモ亦其通りナッテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、郷ノモノダト云フ判決ヲ下サレタ鹿兒島縣トシテハ、ドウシテモ願出ル根本法ガナイノデアリマス、ソレ故ニ鹿兒島縣ハ郷ノ士族ニ渡スト云フコトヲ、郷デ願出レバ宜カッタ

仰シヤルコトハ、郷デ願出ルベキ根本法ガナカッタノデアリマスカラ、ソレハ今ニナッテハオ役人サン御無理デアリマス、私共ハ申上ゲナクチャナラヌノデアリマス
其次ニ協力高ヲ、成程ソレデヤ士族個々カラ願ッタイケナカッタ、郷カラ願ヘバ宜カッタトシマシテモ、此行政裁判所ノ判決ト云フモノガ——大正十一年十二月ノ十八日ニ下シタ判決ト云フモノガ、一萬七千石以外ニハナイノダト云フコトヲ判決シテ居ル、ソレダカラモウ鹿兒島ニヤルダケノモノハヤッタノダ、他ニハナイノダト云フコトヲ、政府委員ノ方ガ仰シヤッタノデアリマシガ、ソレハ其當時、即チ原告共ガ出訴致シマシタ時ニ、其出訴ニ證據書類トシテ添附スベキモノガ、容易ニ手ニ入ラナカッタノデアリマス、縣廳ニ參リマシテモ、又大藏省ニ參リマシテモ、決シテ願意書ノ所謂官文書ト云フモノハ、士族個々ノ原告ニ其證據品トシテ貸シテ呉レナカッタノデアリマス、肝心ナ自分ノ利益ニナルヤウナモノヲ、皆鹿兒島縣廳カラ大藏省ノ理財局ニ取寄セテ居リマス、其取寄セテ居ル所ノ件數、名簿モ總テ茲ニ持ッテ居リマスガ、サウシテ甚シキハ、大藏省ノ理財局カラ鹿兒島縣廳ニ御出デニナリマシテ、縣廳ノ古イ倉

ヲスツカリ漁ッテ見テ、サウシテ是々ハ大藏省ノ理財局ニ届ケロ、アトハ皆焼捨ロト云ッテ御命令ガアッタ、ソコデ成程は大藏省ノオ役人サンノ仰シヤルコトデアアルカラ、焼捨テナケレバナラヌカト一時ハ考ヘマシタモノ、ソレハ鹿兒島縣ノ士族トシテ見ルト云フト、是ハ吾々ノ言ハハ俸給、家祿賞典祿ニ關スル重要ナ書類ヲ、如何ニ大藏省ノ役人ノ方ガ焼捨ロト仰シヤッテモ、是ハ焼捨テベキモノデナカラウト云ッテ、大切ニシテ鹿兒島縣廳ノ倉ノ中ニ藏ッテアッタノデアリマス、ソレガ偶、他ノ事件ノ爲ニ、行政裁判所ガ鹿兒島縣廳ニ移牒シマシテ、鹿兒島縣廳カラ其古イ書類ヲ、今ノ行政裁判所ニ取寄セタノデアリマス、他ノ事件デ取寄セタ證據書類デアリマシタガ、ソレニ嚴然タル此祿高ノ證據ガアルノデアリマス、即チソレニハ表紙ニハ「國庫」ト上ノ方ニ書イテアリマシテ、其下ニ「恩賞諸祿」トシテアリマス、サウシテ恩第五十七號ト云フノガ三冊アリマス、恩第五十八號ガ三冊、恩第五十九號ガ三冊、恩第六十號ガ三冊、恩第六十一號ガ三冊、都合五號ト十五冊ニナッテ、是ハ立派ナ官文書デアリマシガ、此官文書ガ現在行政裁判所ニ嚴存サレテ居リマス、之ニ依リマシテ私共ハ立派ニ

マダ此一萬七千石以外ニ、鹿兒島縣ノ祿高ガアルンダト云フコトガ證明ガ出來ルノデアリマス、之ヲ大藏省ノ當局ノ方ハ御調ベ願フタカドウカ、昨年モ之ヲ申上ゲテ置キマシタカラ、恐ラク之ヲ御調ベ下スツタコトト思フノデアリマスガ、之ニ依リマスレバ、

アリマスシ、心持好ク此案ニ御贊成下サルコト、思ヒマスガ、尙ホ一應委員長カラ政府御當局ノ御意嚮ヲ、御伺ヒ下スツテ戴キタイト思フノデアリマス

モウ判然トシテ一萬七千石以外ニ、マダ澤山殘ッテ居ルト云フコトガ分ルノデアリマスガ、是ハ管々シウゴザイマスカラ、各號ニ互ッテ何石宛ト云フコトハ茲ニ申上ゲマセヌガ、約七萬石ダケ殘ッテ居リマス、サウ云フモノガ茲ニ殘ッテ居ルノデアリマスカラ、此證據書類ニ依ッテ確カナモノデアルカナイカト云フコトヲ御調ベ願ッテ、是ガ確シテモ鹿兒島縣ノ郷ニ對シテモ、ソレダケヲ家祿賞典祿トシテ、給與下サルト云フコトハ是ハ當然ノ處置デナカラウカト、斯ウ思フノデゴザイマス、マダ他ニモ二三小サイ點モアリマシタガ、大略昨年ノ權威者小原事務官ノ御意見ニ付テハ、私ハ左様ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、恐ラク本年ニ於キマシテハ、モウ一年モ經ツタコトデアリマスシ、諸般ノ證據書類モ十分御閱覽下サイマシタコト、思ヒマスカラ、或ハ富田理財局長ニ代ッテ津島理財局長モ出ラレタ譯デ

○小笠原委員長代理 本案ニ對スル政府當局ノ御意嚮ハ、如何デアリマスカ

○津島政府委員 本案ニ付キマシテハ第六十四議會ニ於キマシテ、同様ノ法律案ガ提出サレマシテ、衆議院ニ於テハ可決サレマシタガ、貴族院ニ於テハ審議未了トナツタノデアリマシテ、其際政府ハ本案ノ通過ニ、不同意ヲ表シタノデゴザイマス、爾來種々攻究ヲ遂ゲマシタガ、尙ホ又只今提出者ノ詳細ナル御説明ガゴザイマシタガ、洵ニ遺憾デアリマスルガ、昨年ト同様本案ニ對シテ政府トシテハ同意スルコトガ出來ナイノデゴザイマス、其理由ハ、或ハ私カラ申上ゲルヨリモ其道ノ最高權威ト云フ言葉ヲ賜リマシタ小原事務官カラ御話申上ゲタ方ガ、適切デアラウト思ヒマスルケレドモ、私モ一言簡單ニ政府ノ不同意ノ理由ヲ申上ゲマスト、此問題ハ他ノ秩祿、家祿總テノ處分法ト違ヒマシテ、從來ノ家祿處分法ニ於キマシテハ、出訴漏ニナツタ、出願漏ト云フヤウナ場合ニ、政府ガ特別ノ法律ヲ作リマシテ、之ヲ救済シタト云フ例ハアルノ

デアリマス、其點ハ只今ノ御説明ニアツタ通りデアリマス、併ナガラ此法案ニ於テ救済セントスル事柄ハ、既ニ行政裁判所ニ依ッテ確定判決ガゴザイマシテ、祿高ノ決定ト云フコトモ致サレマシタ、更ニ之ヲ政府ガ此法律案ニ依ッテ救済スルト云フコトハ、行政裁判所ノ確定判決ト全然反シタコトヲヤツテ、所謂一事不再理ノ原則ニ全然衝突シ、若シ此趣意ヲ破リマスト云フト、其他ノ一般ノ救済問題ト云フモノガ、此趣意ニ依ッテ隨分出テ來ルダラウト思フノデアリマス、是ハ到底抑ヘ切レナイヤウニナリハシナイカト思フノデアリマス、尙ホ此問題ノ實質カラ見マシテモ、一萬七千石デアッタ家祿高ト云フモノハ、是以上ノ不足ハナイト云フコトニ行政裁判所デモ決定シ、大藏省デ調査致シマシタ材料ニ依ッテモ斯ウナツテ居リマス、隨テ給與漏レト云フモノハ、政府トシテハ認メテ居ラナイノデゴザイマス、尙ホ其他種々ノ理由ガアリマスガ、大要右ノヤウナ理由ニ依リマシテ、政府トシテハ洵ニ遺憾デアリマスガ、本案ノ通過ニ對シテハ、不同意ヲ表明セザルヲ得ナイノデアリマス、左様御諒承願ッテ置キタイト存ジマス

御答辯ヲ拜承シマシテ、實ハ洵ニ意外ニ存ズル所デアリマス、昨年モ同様ナ御説デアリマシテ、結局貴族院デ審議未了ニナツタノデアリマス、若シ議院法デモ改正シマシテ、貴族院ニモ衆議院ノ提案者ガ出マシテ、公ニ議會若クハ貴族院ノ委員會ニ於テ説明ガ出來マスルナラバ、恐ラク大藏當局ノ所謂反對サレル道理ノナイコトヲ、貴族院諸公ニ徹底セシムルコトガ出來タラウト思フノデアリマスガ、今ノ議院法デハ吾々ガ提案シテモ、貴族院ニ行ッテ説明スル機會ガナイノデ、遂ヒ片一方ダケデ——即チ大藏當局ノ仰シヤルコトダケヲ貴族院諸公ガ聽イテ、審議未了ニ終ッテシマツタ、所ガ幸ニ昨年ノ委員會ハ兒玉伯ガ委員長ヲシテ居ラレマシタカラ、私ハ彼處ノ研究會ノ政務調査會ニ出マシテ、色々御話申上ゲマシタ所ガ、丁度其時モ大藏省カラ先ノ富田サント、小原事務官ガ研究會ニ御出デニナツテ、其御説明ニナツタ後デ私共ガ入ッテ行ッテ説明シタ譯デアリマス、其時ニモ或ル伯爵若クハ子爵方ハ——名前ハ姑ク此處デ申上ゲマセヌガ、是ハ行政裁判所ノ判決ガ不當デヤナイカ、ドウモ市町村條例ガアツテ、初メテ市町村ガ權力ノ主體ニナリ得ル、ソレヲ市町村條例ノナイ昔ノ時

○寺田市正君 只今津島財務局長ノ率直ナ

○寺田市正君 只今津島財務局長ノ率直ナ

○寺田市正君 只今津島財務局長ノ率直ナ

○寺田市正君 只今津島財務局長ノ率直ナ

代ニ於テ、其市町村ガ權力ノ主體デアルカ
ラト言ッテ、祿高ヲ持ッテ居ルモノナリト云
フ判決ヲスルノハ無理ダ、ト云フヤウナ御
意見モアリマシタケレドモ、何シロ一審ニ
シテ終審ナル行政裁判所ノ判決ガアル以上
ハ、此間違ッタ判決ヲ何トカ是正シテ行ク方
法ハ、更ニ行政裁判所ノ判決ヲ俟ット云フ譯
ニ行カヌノデアリマス、ドウシテモ玆ニ立
法府ノ權能ヲ以テ、此行政裁判所ノ間違ッ
タ所ヲ、是正シテ戴クト云フヨリ外ニ途ハ
ナイト云フノデ、私共多年研究致シマシ
テ、此法律案ヲ出シタ譯デアリマス、例ノ家
祿賞典祿ノ問題ハ、此問題カラ言ヘバ、謂ハ
バアレハ一般的ノ親デアリ、是ハ子供ノ案
デアリマスカラ、アノ案ニ付キマシテ昨年
來運動ヲ續ケテ、研究會邊リデ色々御説明
申上ゲテ居リマス、段々識者ノ認ムル所
トナリマシテ、稍、アノ案ナドモ今回ハ通過
シハセヌカト云フ形勢ニナッテ居ルノデア
リマス、所ガアレガ通過スルナラバ、是ハ
當然通過サレテ戴カナケレバナラヌ、アレ
ハ即チ全般的ノモノデアル、是ハ全般ノモ
ノカラ行政裁判所ガ間違ッタ判決ヲシタ爲
ニ、鹿兒島縣ダケガ一般ノ舊藩士族ト同様
ナ、即チ恩典ヲ蒙ルコトガ出來ナイ爲ニ、玆
ニ餘儀ナク斯ウ云フ法律ヲ、立法府ニ煩ハシ

テ戴クト云フコトニナッテ居リマスカラ、ド
ウシテモアノ案ニ對シテ貴族院ヲ通過スル
ナラバ、當然是モ通過サシテ戴カナケレ
バ、鹿兒島縣ダケガ特ニ除外サレテ、行政
裁判所ノ區々タル評定官ノ判決ニ依ッテ、此
大切ナル事項ガ除カレルト云フコトハ、甚ダ
遺憾デアリマス、ソレハ是正スルノハ立法府
ヨリ外ニナイノデアリマスカラ、ドウカ委
員諸君ニ於キマシテハ、政府ガ何ト言ハウ
ト、昨年ノ如ク全會一致可決サレ、更ニ私
モ所謂研究會ナリ、公正會ナリニ出マシテ、
此趣旨ガ徹底スルヤウニ大ニ努力シテ、必
ズヤ政府ガ好ムト好マザルトニ拘ラズ、是
ハ通過スルモノト考ヘテ居リマス、之ニ付
キマシテハ餘リニ諄イヤウデアリマスガ、
明治二十三年カラ郷里ヨリ出タ代議士ハ、
私デ丁度四代目デアリマス、四人掛カッテ
モマダ間違ッタ判決ノ結果ニナッテ居リマ
ス、權威者小原君等モ心算ニ私ノ方ニ贊同
サレテ居ルト信ジマス、ドウカ委員諸君ニ
於カレマシテモ、滿場一致可決セラレンコ
トヲ望ミマス

○小笠原委員長代理 次ニ金保有法案ニ付
キマシテ、中村君
○中村委員 大藏大臣ハ何時オ出デニナリ
マスカ
○小笠原委員長代理 大藏大臣ノ御出席ハ
マダハッキリ致シマセヌ、アノタノ御質問ガ
大藏大臣ニ限ルナラバ此際野中君ノ……
○中村委員 ソレデハ大藏大臣ニ對スル質
問ハ保留致シテ置キマシテ、政府委員ニ御
伺致シマス、金買入法案ノ發動ノ形式デア
リマスガ、日本銀行條例及ビ日本銀行ノ定
款ニ依リマス、各々金地金ノ賣買ヲ爲ス
事トアリマスガ、本案第一條ノ「大藏大臣ノ
定ムル所ニ依リ日本銀行ヲシテ金ヲ買入
レ、之ヲ保有セシムルコトヲ得」トアル條
文ハ、之ト同一意義デアリマス、又特殊
ノ意義ヲ持ッテ居リマス、此點ヲ銀行局長
ニ御伺致シマス
○大久保政府委員 只今御尋ノ點ニ付キマ
シテハ、日本銀行條例、日本銀行法ノ定款
ト、金保有法ノ第一條ノ關係ニ付テノ御質
問ト思ヒマス、第一條ハ御覽下サイマス通
リ「大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ」ト云フ字ガ
使ッテゴザイマス、是ガ特別ノ施設ニナル
積リデソレヲ入レマシテ、之ニ依ッテ命令ス
ルト云フコトニナッテ居リマス、在様御承知

ヲ願ヒマス
○中村委員 然ラバ日本銀行ハ、此條例又
ハ定款ニ依ッテ、單獨ニ金地金ノ賣買ヲ爲ス
コトハ、今後モ出來ルト云フ譯デアリマス
カ、之ヲ御伺致シマス
○大久保政府委員 法律上別段其點ニ付テ
ハ、御説ノ通り差支ゴザイマセヌ、唯實際
ノ問題ト致シマシテ、日本銀行ガサウ云フ
ヤウナコトヲ致スト云フコトハナカラウト
思ヒマス、仍テ斯ウ云フ値段ガ違ッテ居リ
マス、今日ノ時代ニ於キマシテ、金ニ對ス
ル狀態ガ變ッテ居リマス、此法律ニ依ッテ特
別ニ買ハセルヤウニシタイト云フノガ、此
趣旨デアリマス
○中村委員 御説明ニ依リマスレバ、斯様
解釋シテ宜シウゴザイマス、即チ日本銀
行條例第十一條第二、日本銀行定款第二十
一條第二ノ條文ト云フモノハ、當分停止ノ
狀態ニナルト云フコトニ解釋シテ宜シウゴ
ザイマスカ
○大久保政府委員 別段法律上停止トカ何
トカ云フコトハ、双方トモゴザイマセヌ、
實際上此頃ハ買ヒマセヌ、ソレデ此法律ニ
依ッテ買ハセルヤウニシヨウト云フノガ目
的デゴザイマス、只今ノ法律的ト云フコ
トデハ私ハ御同意ガ出來マセヌ、實際上ニ

於テハ御尋ネノヤウニナルグラウト思ヒマス

○中村委員 今後此法案ニ依リマシテ、日

本銀行ヲシテ買入レシメル價格ハ、大藏大臣ノ認可ヲ要スルモノ、如クデアリマス、然ラバ此認可ト云フコトハ、唯單ニ日本銀行ノ申出ニ對シテ、之ヲ認メルト云フ消極的ノモノデアリマスカ、又日本銀行ノ申出ト、大藏省獨自ノ見解ニ相違ヲ來シタ場合ニ於キマシテハ、日本銀行ノ申出デマシタル價格ニ對シテ、改訂ヲ命ズルト云フ積極的態度ヲ含ムモノデアリマスカ、認可ニ付テ御伺致シマス

○津島政府委員 「大藏大臣ノ認可ヲ受クベシ」ト云フ事柄ハ、單ニ此法律ニ書イテアル金買入ノ事柄ノミデナイト思ヒマス、是ハ各特殊銀行ノ法規ニ於テ、總テ斯ウ云フ書方ニナッテ居リマス、實際問題ト致シマシテハ、此金買入價格ノ決定ニ當リマシテハ、大藏省ト日本銀行トガ十分協議ヲ遂ゲマスカラ、仰セノ如ク日本銀行ト意見ノ相違ヲ生ジテ、積極的ニ大藏大臣ガ之ヲ定メナケレバナラヌト云フヤウナ事態ハ、起ラナイト考ヘテ居リマス、法律ノ建前カラ行ケバ、日本銀行ガ決定スルト云フコトニナルノデアリマスガ、併シ實際上カラ申シマス、

其間ニ非常ナ意見ノ扞格ガ生ジテ、此法律ノ實行ガ圓滿ヲ缺クト云フヤウナコトハ存在致シテ居ラヌノデアリマス

○中村委員 次ニ昨日津島理財局長ハ、現在ノ政府ノ保有シテ居ル金地金ノ高ハ、三千三百萬圓デアッテ、實數ガ三千六百貫ト言ハレタノデアリマス、然ラバ此三千三百萬圓ハ正貨準備ニ換ヘル順序デアリマスガ、次ニ此四條ニ依リマシテ、一億圓ヲ限度トスル債務ニ依ル金ノ買入ノ數量、大體現在ノ正貨準備四億二千五百萬圓ガ、斯ウ云ウ經過ニ依ッテ、一年以後ニハ大體下ノ位ノ買入レニナル見込デアリマスカ、其數字的ノ將來ノ見透シヲ御伺致シマス

○津島政府委員 第四條ニ依リマス、政府ノ債務トシテ借入金證書ヲ交付スル最高價額ヲ一億圓トシテアルノデアリマス、此一億圓ハ將來金ノ買入レニ當ッテ生ズル、政府ノ差額負擔ノ金額デアリマスカラ、買入總額ハ此一億圓デハナイノデアリマスガ、其一億圓ノ限度ニ於テ、下ノ位ノ金ガ將來買ヘルカト云フ見込ヲ御聽キニナッタト承知致シマス、先ヅ第一ニ此附則ノ規定ニ依リマシテ、政府ガ國庫内ニ有ッテ居リマスル金、即チ三千三百萬餘圓ノ金ヲ、日本銀行ニ移ス場合ニ、此金ヲ移シマスルガ爲ニ、

茲ニ矢張差額ガ生ズル、大體此金ハ九圓餘ノ保有價格ニナッテ居リマス、デアリマスカラ、五圓デ準備ニ充テマス、ソコニ約千五百萬圓バカリノ差額ガ生ジマシテ、是ハ政府ノ債務トシテ借入金證書ヲ交付致ス、隨テ約八千五百萬圓ガ殘ルト云フコトニナルグラウト思ヒマス、將來新シク買フ時、金ノ差額補填ノ餘裕ト申シマスカ、其金額ハ八千五百萬圓トナル豫定デゴザイマス、而シテ將來ノ金買入レノ狀況、是ハモウ色々ナ豫想ガ出來ルノデアリマシテ、二ツノ方面カラ申シマス、日本ノ内地、臺灣、朝鮮ニ於ケル所ノ金ノ産額ガドウデア

ルカ、竝ニ政府ニ買入レヲ希望スル金額ハ、下ノ位デアアルカト云フコトニ付テノ豫測ヲ致ス必要ガアリマス、是ハ色々ノ方面カラ豫測ガ出來ルノデアリマスガ、先ヅ事務當局トシテ今日考ヘテ居リマス所ハ、本年ノ一月、二月、三月ニ於テハ、從來ヨリモ政府ノ金買上額ガ小クナッテ居リマス、之ヲ昨年一年間ノ毎月平均ヲ取りマス、餘程ソコニ差ガゴザイマスルカラ、此差額ハ約一千百貫ト見テ居リマスガ、是ハ三月マデノ、將來持ッテ行クモノトシテ見テ居リマスカ、更ニ四月カラ來年ノ三月末マデノ一年間ノ見込ヲ、大體七千貫位ニ考ヘテ居リマ

ス、是ハホンノ推測デゴザイマスカラ、其積リデ御聽取アラシコトヲ希望致シマス、約八千貫ト云フモノガ來年ノ三月末マデニ買入レル豫測額、推定額ト申上ゲテ宜イグラウト思ヒマス、此分量ヲ幾ラノ價格デアッテ云フ問題ト關聯シテ、此一億圓ガ下ノ位ノ期間保ツカト云フ問題デアリマスガ、假定デアリマスガ十圓ト致シマス、先ヅ將來二年間ハ買ヘル、其差額ハ一年ニ四千萬圓デアリマスカラ、二年間八千萬圓デアテ行ケルト云フコトニナル、併シ金ノ買入價格ガ非常ニ高クナリマス、其割合ニ此一億圓ノ範圍内ニ於テ買入レル期間ガ短クナル、一年半ニナルカモ知レマセヌ、ソレガ十圓トスレバ二年持ッテ行ケル、又買入價格ガ下リマスレバ、ソレダケ長イ間保ッテ行ケル、斯ウ云フ風ニナルノデアリマス、大體此點ニ付テハ御了解下サツタコト、存ジマス

○中村委員 今ノ御答辯ニ對シテ確メテ置キタイ事ガアリマス、ソレハ昭和六年十二月十三日金輸出禁止後、政府ノ金地金買入高月別ニ依リマス、七年中ハ九千八百貫、八年中ハ五千三百貫デアリマス、然ラバ此法案ニ依リマシテモ、政府ガ御買上ニナル金ノ數量ハ、過去二年間ト大體大差アキモ

ノト見テ宜シウゴザイマスカ、詰リ之ニ依ッテ産金獎勵、國內保有高ノ増加ト云フ大キナ掛聲ヲシテ居ルニモ拘ラズ、從來ノヨリ方ノ跡ヲ追ハレテ居ルガ如ク思ハレマス、尙ホ此點ニ付テ御伺ヒ致シマス

○津島政府委員 私ノ申シマシタノハ、假リニ七千貫ト致シタラ斯ウナル、是ガ八千貫ニナリ九千貫ニナレバ、多少期間ハ短縮セラレト思ヒマスガ、出來ルダケ政府ハ産金ノ獎勵ヲスル施設ヲ致シマスカラ、此數字ハ増スダラウト豫想シテ居ナイ、唯、

今ノ御質問ハ昭和七年、八年ノ實蹟ニ付テ御話デアッタト思ヒマスガ、昭和七年ノ計數ハ數量ニ於テ九千八百貫、非常ナ大キナ數ニナッテ居リマスガ、此ハ昭和七年三月乃至七月ニ於ケル期間ハ、一般ノ地金ヲ政府ガ買取ツタ時デアリマス、産金業者ヲ指定シナイデ、廣ク金ノ買上ヲ致シマシタ時期デアリマスカラ、ソレデ此期間ニ於テ約五千何百貫ト云フモノガ出テ居ルノデアリマス、其後ノ狀態ハ、是ハ産金業者ヲ主トシテ指定シテ買上致シマシタ、ソレデ大體毎月ノ數量ト云フモノハ平均ノモノニナッテ居リマスカラ、七月ノ計數ヲ御覽ニナルト、其處ニ非常ナ不規則ナ點ガ現ハレテ居リマスカラ、其點ヲ豫メ御諒承願ッテ置キタイノデ

アリマス、吳々モ私ガ申上ゲタノハ、政府ハソレダケシカ買ヘナイト云フ建前デ御話シタノデアリマセヌデ、七千貫買フトシマスレバ、而シテソレガ十圓ノ價格トスレバ二年ハ保ツ八千貫、デアレバ矢張斯ウ云フ數字ヲ大體拵ヘルコトハ容易デアアル、斯ウ云フ話ヲ申上ゲタノデアリマシテ、或ハ一年半デ此一億圓ガ盡キルカモ知レマセヌ、或ハ一年デ盡キルカモ知レマセヌ、其處ラハ將來ノ事態ニ依ッテ變化スルト思フノデアリマス

○中村委員 昨年十一月二十四日ノ政府ノ金買入價格ハ、純金〇・七五五ニ付キマシテ、九圓九十四錢トアリマス、其後政府ハ十二月末現在ヨリモ、約二百貫ノ増加ノ數字ヲ示シマスル分ダケノ、金買入ヲヤッテ居ラレルヤウデアリマス、然ラバ今年一月、

二月、三月ニ於ケル政府ノ金買入價格ハ幾ラデアリマスカ、之ヲ御示シ願ヒタイト思ヒマス
○津島政府委員 本年ニ入リマシテハ、昨年十二月ニ決メマシタ以來、買入價格ハ變更致シテ居リマセヌ
○中村委員 是ニ於テ問題トナリマスノハ、金買上價格デアリマス、私ハ敢テ其將來ノ價格ニ付テ、御質問ヲ申ス者デアアリ

マセヌガ、吾々トシテ考ヘナケレバナラナイ問題ハ、此金ノ買上ニ依ッテ、一方ニ於テ産金獎勵ヲセラレ、同時ニ國內ニ於ケル金保有ノ増加ヲ圖リ、所謂各國ノ政策、即チ金吸收政策ニ對應セラレルモノデアルト思ヒマスガ、買入價格ト云フモノガ、市中相場ヨリモ甚シク下ノ場合ニ於キマシテハ、

産金業者ト云フモノハ之ヲ日本銀行ニ持ッテ行カズシテ、之ヲ抵當ニシテ金ヲ借りルトカ、或ハ又地金商ニ賣却スルトカ、又工業用ニ持ッテ行カレルト云ッタヤウナ觀察モ下シ得ルノデアアル、果シテ然ラバ産金獎勵ト云フ意味ニハナルカモ知レマセヌケレドモ、國內保有ト云フ、殊ニ日本銀行ノ國庫

ニ之ヲ吸收スルト云フ目的ヲ達シ得ラレルカドウカ、大體ニ於テ現在ノ九圓九十四錢ヨリモ高クナルト云フコトハ、常識的ニ誰モ解釋スル所デアリマス、殊ニ最近亞米利加ノ金吸收以來、倫敦ノ金塊相場ハ暴騰的傾向ニアルヤウデゴザイマシテ、ソレニ影響サレテ、我國ニ於ケル市中相場モ、同じ歩調ヲ取ッテ居ルヤウデアリマス、私ノ申上ゲマスノハ、幾ラノ値段デ御買上ニナルカト云フコトハ茲ニ數字のニ御伺ヒシナイ、唯餘リニ低キ値段デアルトスルナラバ、國內保有ノ目的ヲ達シ得ラレルヤ否ヤト云フ

疑問ヲ有ッテ居ルノデアリマシテ、此點ニ關スル理財局長ノ御見込ヲ承ッテ置キ、又之ニ對スル御確信ヲ承ッテ置キタイノデアリマス

○津島政府委員 現在ノ買入相場ハ昨年決メタ其儘ヲ維持シテ居リマスガ、一方倫敦ノ金塊相場ハ、爾來相當高騰致シテ居ルヤウデアリマス、併シ政府ト致シマシテハ、本法案ヲ立案中デアリマシタ等ノ關係デ、其相場ヲ一應据置デ今日マデ參ッタノデアリマス、本法案通過後ニ於テ買入價格ヲドウ決メルカト云フコトニ付テハ、日本銀行

トモ熟議致シマシテ、其意見ニ依リ大藏省トシテモ、此買入法案ノ目的ヲ貫徹スルヤウナ、適正ナル價格ヲ決メル趣意デアルト云フコトハ、昨日大藏大臣モ其趣旨デ、川崎君ニ對シテ答辯ニナッタヤウニ承ッテ居ルノデアリマス、隨テ買入價格ノ問題ハ只今モ御意見ガアリマシタカラ、能ク御趣旨ハ吾々ニハ十分了解出來ルノデゴザイマス、何卒此實行ニ當ッテハ、吾々ノ最モ公正ト認ムル價格ニ決定スルト云フコトニ御信賴ヲ願ッテ、十分御趣旨ハ了解致シテ居リマスカラ、昨日ノ大藏大臣ノ御答辯ニ依ッテ、此問題ハ一ツ御信賴願ヒタイト思フノデアリマス

○中村委員 私ハ買入價格ガ幾ラデア

カ、幾ラデナケレバナラヌト云フ見込ヲ聽カセテ戴キタイトハ申シテ居ラヌノデアリマス、目的ハ國內保有ノ増加ヲ圖リ、所謂將來金本位ガ復活シタ場合ニ於テ、或ハ國庫ニ多少ノ負擔ガアツテモ、私共ハ斯ウ云フ政策ヲ立テラレル以上ハ、大局の見地ニ立ッテナサラナケレバナラヌト思フノデアリマス、是等ハ何レ大藏大臣ニ御伺致シマスガ、次ニ大藏大臣ノ小笠原君ニ對スル本會議ニ於ケル御答辯ニ依リマシテモ、大體磅——

○津島政府委員 倫敦金塊市場ノ將來ノ見

透シガドウデアるか、是ハ非常ニムヅカシイ問題デアリマシテ、從來倫敦ニ於テハ、法ト云フ所ノ金本位ヲ維持シテ居ル貨幣ヲ基礎ニ致シマシテ、英佛爲替相場ヲ基準トシタル、爲替相場ヲ建テルト云フコトデ、比較的簡單デアリマシタ、毎日午前十時ニ「ロスチャイルド」ノ家ニ四五人ノ者ガ寄ッテ、相場表ヲ決メルト云フコトデ簡單ニ參ッテ居ルノデアリマス、併ナガラ亞米利加ノ狀態ガ非常ニ變リ、今日ノ金塊相場ノ決メ方ハ、餘程一定ノ準則ト云フ以外ニ、種々ノ事情ヲ考慮シタモノニナッテ居ルヤウデアリマス、而シテ將來ドウナルカト云フコトハ、若シ其御質問ガ、金塊相場ハ將來上ルト云フ意味デアるか、或ハ下ルト云フ意味デアるかト云フコトニナリマス、是ハ

金ノ生産高ト云フ、供給ノ方面モ關係致シ

マセウガ、米國ガ又將來平價問題ヲドウスルカト云フコト、殊ニ佛蘭西ノ金本位ノ問題ニ搦マリマシテ、此見極メガドウナルカト云フコトヲ、今日此席上デ私ハハッキリ申上ゲルコトヲ差控ヘタイノデアリマス、併ナガラ此金買入法案ノ關スル限リニ於テハ、大藏大臣ガ本會議ニ於テ申上ゲタヤウニ、倫敦ノ金塊相場、是ガ如何ナル事情デ決マルカト云フコトハ別ト致シマシテ、之ヲ基準ト致シマシテ、日英爲替相場ヲソレニ加ヘテ、金ノ地金ノ相場ヲ茲ニ作ッテ行カウト云フ、此方法ハ私ハ差當リ變ヘル必要ハナイ、又外ニハ良イ方法ガナイト考ヘテ居ルノデアリマス、併ナガラ倫敦ノ金塊相場ガ上ルカ下ルカ、斯ウ云フコトニナリマス、是ハ諸種ノ方面カラ色々ムヅカシイ事情ヲ研究シテ、申上ゲナケレバナラヌ事柄デアリマスルガ、差當リ此金買入法案ニ於テ、買入價格ヲ決定スルニ當ッテ、何ヲ基準ニスルカト言ヘバ、是ハ倫敦ノ金塊相場、サウシテ日英ノ爲替相場ト云フモノガ、稍安定シテ居ルト云フ點カラ言ッテ、我國ニ於テハ之ヲ基準トシテ、或ル程度ノ買入價格ト云フモノヲ、茲ニ他ノ事情ヲモ考慮シテ、適當ニ決メルト云フコトガ宜イダラウト思

○中村委員 過去一年間ニ於ケル政府ノ金

買上相場ハ、日本爲替ヲ標準トサレ、又昨年ノ如キ亞米利加ノ貨幣動搖ノ場合ニ於テハ、日米爲替ノ標準ニ依ルコトヲ一時見合サレテ、一種ノ將來ヲ待合セルト言ッタヤウナ態度ヲ執リ、或ハ又法ニ依ルト言ッタヤウナコトモ、議會ニ於テ答辯ヲセラレタヤウデアリマス、隨テ此買入ノ標準トセラレル爲替、或ハ、金塊市場ト云ッタヤウナモノハ、將來非常ニ重大ナル關係ヲ持ツモノデアルト私ハ思ッテ居ルノデアリマス、私ノ考ニ依リマスルト、倫敦ノ金塊相場ト云フモノハ、亞米利加ノ大規模ナ金吸收ニ煽ラレテ居ル結果デアリマシテ、大體ニ於テ高値デハナカラウカト思フノデアリマスルガ、是等ニ付キマシテハ理財局長モ深ク説明スルコトヲ避ケテ居ラレルノデアリマスカラ、是以上申上ゲナイノデアリマス

次ニ御伺ヲ致シテ置キタイトノデアリマスルガ、手許ニ戴キマシタル海外拂ノ過去ノ実績ニ付キマシテハ、承知ヲ致シマシタ、私ガ特ニ茲ニ御伺致シテ置キタイトノハ、陸海軍兩省ノ最近ニ於ケル海外拂ハ、如何ナル

上ニ依ルモノデアルト私共ハ考ヘマスガ、政府ハ此金買上ノ標準トセラレントスル倫敦ノ金塊相場ニ對シテマデ、如何ナル將來ノ見透シヲ有ッテ居ラレルカ、殊ニ津島理財局長ハ、財務官トシテ永ク歐米ニ居ラレタノデアリマスカラ、此點ニ付テ最モ事情ニ適シタ、吾々ノ參考ニナルベキ意見ガアルコト、思ヒマスカラ、一應之ヲ御伺致シテ置キマス

テ居ル、倫敦金塊相場ニ依ルモノデアルト云フノデアリマス、然ラバ此倫敦金塊相場ノ將來ト云フヤウナ見透シニ付テハ、政府ガ此法案ヲ實行ナサル上ニ於テ、重大ナル關係ヲ有スルモノデアルト言ハザルヲ得ナイノデアリマス、二月七八日ニ於ケル紐育金塊相場ハ、平價二十弗六十七仙ノモノガ三十五弗、倫敦ノ相場ハ八十五志ノモノガ百四十志ヲ割ッテ、百三十六乃至七志トナッテ居リマシテ、何レニシテモ六〇%以上ノ騰貴デアアルコトガ、數字ニ現ハレテ居ルノデアリマス、先刻モ申上ゲタ如ク倫敦金塊相場ノ斯ル昂騰ハ、米國ノ大規模ナル金買

入ノ生産高ト云フ、供給ノ方面モ關係致シマセウガ、米國ガ又將來平價問題ヲドウスルカト云フコト、殊ニ佛蘭西ノ金本位ノ問題ニ搦マリマシテ、此見極メガドウナルカト云フコトヲ、今日此席上デ私ハハッキリ申上ゲルコトヲ差控ヘタイノデアリマス、併ナガラ此金買入法案ノ關スル限リニ於テハ、大藏大臣ガ本會議ニ於テ申上ゲタヤウニ、倫敦ノ金塊相場、是ガ如何ナル事情デ決マルカト云フコトハ別ト致シマシテ、之ヲ基準ト致シマシテ、日英爲替相場ヲソレニ加ヘテ、金ノ地金ノ相場ヲ茲ニ作ッテ行カウト云フ、此方法ハ私ハ差當リ變ヘル必要ハナイ、又外ニハ良イ方法ガナイト考ヘテ居ルノデアリマス、併ナガラ倫敦ノ金塊相場ガ上ルカ下ルカ、斯ウ云フコトニナリマス、是ハ諸種ノ方面カラ色々ムヅカシイ事情ヲ研究シテ、申上ゲナケレバナラヌ事柄デアリマスルガ、差當リ此金買入法案ニ於テ、買入價格ヲ決定スルニ當ッテ、何ヲ基準ニスルカト言ヘバ、是ハ倫敦ノ金塊相場、サウシテ日英ノ爲替相場ト云フモノガ、稍安定シテ居ルト云フ點カラ言ッテ、我國ニ於テハ之ヲ基準トシテ、或ル程度ノ買入價格ト云フモノヲ、茲ニ他ノ事情ヲモ考慮シテ、適當ニ決メルト云フコトガ宜イダラウト思

金額ニナッテ居ルノデアリマスガ、之ヲ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス

○津島政府委員 計數ハ各省別ニ持ッテ居ルノデアリマスガ、ドノ程度ノコトヲ御尋デアリマセウカ、陸海軍省ヲ合セタ金額、斯ウ云フヤウナ御趣旨デゴザイマセウカ

○中村委員 主トシテ海軍デ宜シウゴザイマス、海軍省ノ昭和六年、七年、八年ノ物品買入ノ數字、之ヲ御示シ願ヒタイ、其增加ノ傾向ヲ私共ハ知リタイノデアリマス、勿論是ハ爲替ノ關係モアリマセウケレドモ、數量ノ増加程度モ併セテ御示ヲ願ヒマス

○津島政府委員 此數量ト云フト、大分細カイ御質問ノヤウデアリマスルガ、若シ御急ギデナケレバ海軍省ト打合セマシテ、午後ニデモ御答スルヤウニ致シタイト思ヒマスガ、如何デゴザイマセウ

○小笠原委員長代理 尙ホ中村君ニ申上ゲマスガ、時間モ大分經テマシタカラ、アナタノ御質問ガ若シ續クヤウデアレバ、此程度ニ於テ休憩シテ、午後一時ヨリ開會シテ、ソレノ質問ヲ續ケタイト思ヒマスガ……
○中村委員 今ノハ後デモ宜シウゴザイマス、次ニ簡單ニ御伺シテ置キマスガ、ソレモ後デ御示シヲ願ヘバ結構デアリマス、造

幣局ノ保有シテ居ル金地金ノ高、民間銀行ノ金貨、金地金ノ保有高如何、一般個人ニ退藏セラレタル金貨竝ニ金地金ノ推定如何、之ヲ御示シヲ願ヒタイノデアリマス、私ハ此程度デ政府委員ニ對スル質問ヲ一先ヅ打切リマス

○小笠原委員長代理 尙ホ政府委員ニ御願致シマスガ、先ニ御要求申上ゲタ書類ノ中、未ダ提出ナキ分ニ付テハ、至急御提出サレシコトヲ望ミマス、ソレカラ其表ヲ午後出サレル時ニ、臺灣銀行及ビ朝鮮銀行ノ準備内譯表ヲ、最近ノ分デ出シテ戴キタイト思ヒマス

○野中委員 チョット簡單デスカラ——日本銀行ノ金ノ買入、保有増加ト云フコトハ、内國的ニ見マスレバ日本ノ通貨問題ニ非常ナ關係ガアルノデアリマス、隨テ根本的ノ問題ニ付キマシテハ、大藏大臣ノ御説明ニ依ッテ其御意見ヲ伺ヒタイト考ヘマスルガ、ヤハリ此通貨關係ノアル日本銀行特別融通ノ問題デ、私共ノ腑ニ落チナイ所ノ事柄ガアリマスルカラ、一應大久保銀行局長ニ簡單ニ御質問致シテ置キタイト思ヒマス、ソレハ昭和八年度ニ於キマシテ、日本銀行特別融通ガ千三百萬圓回收サレマシタ、其内容ニ付キマシテハ小笠原君ナドカラ質問

ガアリマシタカラ、私ハソレニ付テハ申シマセヌガ、唯一ツ特融ノ持株處分ニ付キマシテ、洵ニ腑ニ落チナイ處分方法ガアリマスカラ、將來斯様ナ處分ガアッテハナラス、慎重ナル處分ヲシテ貰ハナケレバナラスト云フ意味合ニ於キマシテ、ドウシテ斯ウ云フヤウナコトヲ爲サレタカト云フコトヲ、極メテ簡單ニ御質問申上ゲマス

ソレハ昭和八年ノ八月三十日ノ午前九時、福島地方裁判所ニ於テ佐藤執達吏ノ下ニ於キマシテ、日本銀行福島支店ニ於ケル盛岡銀行ニ對スル特別融通ガ一括處分サレタノデアリリマス、其内容ハ盛岡電燈株式會社ノ五十圓拂込ガ五萬三千三百三十八株、三十五圓拂込ガ一萬六千四十一株、二十五圓拂込ガ四萬三千百十一株、合計十一萬二千二百九十株デアリマスルガ、是ガ一括シテ處分サレテシマッタノデアリマス、此盛岡銀行ガ特融ニ入レマシタ其本デアリマス、盛岡電燈株式會社ノ株式ハ全部ガ盛銀所有デハアリマセヌ、盛銀所有ノモノモアリマスガ、盛銀ニ見返擔保トシテ預入レタモノモアリマス、或ハ當座貸越ノ準備トシテ預入レタレタノモアリマス、隨テ此内容全部ガ盛銀ノ所有ニアラザルニ拘ラズ、一括シテ之ヲ處分爲サレテシマッタノデアリマス、此特融

デ拔ッテ居リマス株式ノ内容ハ、前ニ申シヤウニ個々別々デアリマス、此個々別々ノ人ノ中ニハ此株券ハ自分デ所有シタイ、假令特融トシテ拔ハレテ居ッテモ自分デ金ヲ出シテ買戻シタイト云フ希望ヲ持ッテ居ル人ガ多イノデアリマス、而モ其希望ヲ持チマシテ日本銀行ニ參リマシタ所ガ——是ハ石黒知事其他岩手縣ノ當局者デアリマスルガ、ソレガ日本銀行ニ參リマシタ所ガ、清水日銀理事ノ言フニ現在ニ於テ回收出來ナイ貸出ハ、延滞利息ガ附ク、故ニ銀行ナリ、預金者ニ迷惑ヲ掛ケル、ソレガカラ是ハ直チニ處分スルノデアルト云フヤウナ意味合ヲ以チマシテ、處分シテシマッタノデアリマス、併シ私共カラ考ヘマスルノニ、此頃盛岡電燈ノ様子ヲ見マスルト、盛岡電燈ハ非常ニ内容ガ整備サレマシテ、近イ中ニ配當回復ト云フヤウナ情勢ニナリマシタ、隨テ其株券ト云フモノモ、一年或ハ二年ノ後ニ於キマシテハ、五十圓拂込ノ株ガ十四圓デ競賣處分サレマシタガ、十四圓ヤソコラノモノデアリアマセヌ、二十圓、二十四圓ニナルト云フコトハ目睫ノ間ニ迫ッテ居タノデアリマス、而モソレヲ突如一括シテ處分ヲセラレタ、サウシテ前ニ申シマシタヤウニ、買ヒタイ希望者モ一蹴セヌレ

第六類第一號 昭和九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外三件委員會議錄 第十三回 昭和九年三月十七日

テ競賣サレタト云フノガ其實情デアリマス、之ニ付キマシテ私ハ大藏當局ニ御伺シタイノデアリマスガ、ドウシテ之ヲ一括シテ處分シタノデアルカ、又其通知期間ガ、日本銀行カラ清算人或ハ殖産銀行ノ頭取ニハ、一箇月半以前ニ通知ガアリマシタガ、個々ノサウ云フ利害關係者ニハサウ云フ通知ガナカッタ爲ニ、或ハ個々ノ利害關係モ僅ニ八十八萬圓前後ノモノデアリマスルカラ、モウ少シ早く通知シテ呉レタナラバ、此連中ガ金ヲ出シテ日本銀行ノ特融ヲ一手ニ引受ケル可能性モナカッタ譯デハナカッタノデアリマス、其通知期間ガ遅レタ爲ニ、又一括シテ處分サレマシタ爲ニ、非常ナ損害ヲ蒙ッタ者ガアリマス、デアリマスカラドウシテ斯ウ云フ風ナ處分ヲ爲サッタノデアラウカ、又何ガ故ニ通知期間ガ遅レタノデアラウカ、將來モ關係ノアル問題デアリマスカラ、一應承ッテ、斯ウ云フヤウナ場合ニ對シテハドウヤルカ、是カラ先ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○大久保政府委員 只今御述ベニナリマシタ件ニ付キマシテハ、當時御話ノヤウナ事情ヲ私ハ聽イテ居ル次第デゴザイマス、此問題ハ一面日本銀行ノ處置ト共ニ、一面ハ盛岡銀行ノミナラズ、岩手縣ノ金融界ノ間

題ニ絡マッテ居ル次第デゴザイマス、當時盛岡銀行ハ金融破綻ノ影響ヲ受ケマシテ休業致シマシテ、遂ニ解散ノ状態ニナッテ居リマシタノデアリマス、デ今ノ御話ノヤウナ事柄モ、色々銀行ガ不如意ノ爲ニ、特融ヲ受ケルト云フヤウナ段取りニナッテ居リマシタノデ、御話ノヤウナ銀行ノ所有株バカリデナク、色々取引ニ依ッテ生ジタルモノヲ含ンデ居ルト云フコトモ、御話ノ通りデゴザイマス、一面岩手縣モ段々ニ金融界ガ安定ヲ告ゲルヤウニナリマシタノデ、盛岡銀行ノ方モ今御話ノヤウナ清算手續ニ進行シテ居リマス、日本銀行ト致シマシテハ、特融ノ問題ガゴザイマスカラ、今御舉ゲニナリマシタヤウナ工合ニ、特融ノ整理ノ事カラモ考ヘザルヲ得ナイヤウナ事情ニアリマシタ、斯ウ云フヤウナ事ニ付キマシテ、絶エズ處置ヲ執リマス時ニ、擔保物ノ處分ノ時期、竝ニ方法ニ付テ關係者ハ勿論ノコト、監督官廳デアアル大藏省モ相當注意ヲ拂ッテ居ルコトハ、度々ノ機會ニ於テ申上ゲテ、御諒解ヲ得テ居ルト思ヒマスガ、本件ニ付キマシテハ特ニ其當時ノ事情モ承知シテ居リマス關係上、是等ノ擔保物ノ値段等ニ於テモ、可ナリ精細ニ調べ見マシタ、大體私ノ方デハ三箇所ニ於テ調査ヲ致シマシ

タ結果、當時日本銀行ノ考ヘテ居リマスル値段ガ、決シテ不合理デナイト云フ結論ヲ得マシタ、扱テ其處分方法ニ付テハ、ドウシタラウ宜イカト云フコトニ付テ、只今仰シヤッタヤウナコトモ考ヘナイノデアアリマセヌ、現ニ其通り希望シテ居ッタコトハ、御話ノ通りデアリマス、唯一面清算手續ノ進行ノ事モアルノデ、總テサウ云フ點ニ付テハ、將來法律上ノ問題モ考ヘナケレバナリマセヌ、最モ法律上心配ノナイ方法ハ、矢張競賣ガ宜カラウト云フコトデ、此點ニ付テハ色々銀行其他ノ事情ヲ考慮シテ、此手段ヲ執リマシタ次第デアリマス、此點ハ只今御話ノ中ニモ、御異議ハナイモノト思ヒマシタ、此競賣ノ手續ノコトニ付——其競賣ノ方法ニ付テ、今御尋ガアリマシタガ、一括シテ賣ッタ方ガ宜イカ、或ハ又適當ニ分ケテ、ソレノ權限ヲ有ッテ居ル者ニ、行渡ルヤウナ方法ヲ執ッタラドウカト云フヤウナ御話デゴザイマス、ソレモ一ツノ方法デアリマセウガ、何分ニモ全體ノ數カラ見マスト、今御舉ゲニナリマシタヤウニ、相當大キナ額デアリマスカラ、銀行トノ取引關係ヲ一々見マシテ、ソレニ對應スル所ノ處置ト云フモノハ、實際日本銀行トシテハ執

リ難イト云フ結論ニナリマシタ、是ガ極ク僅カナ問題デアリマシテ、例ヘバ日本銀行ノ本店ガ、色々調査スルノニ大變工合方宜イト云フコトデアレバ、宜シイノデアリマスガ、一般ニ全國ニ涉ッテ居ル問題デモアリマスシ、此株ノ分散モ、中々地方デハ大キナ會社デアリマスカラ、今御話ノ通り、此株ノ全部ノ數ハ、中々大キイノデアリマスカラ、サウ云フ風ナ關係カラ致シマシテ、全體ノ公正ヲ期スル上ニ此手續ヲ執リ、又一般的ニ斯ウ云フ手續ヲ執ルコトガ、蓋シ已ムヲ得ナイ手段デアルト云フコトデ、サウ致シマシタ、御趣旨ノ點ハ能ク私等ニ分リマスガ、此事件ニ付キマシテハ、サウ云フ風ナ事情デアリマシタト云フコトヲ、御承知ヲ願ヒマス

○野中委員 成程金額ハ大キイシ、實際上ハ面倒デアリマセウガ、是ハ私共ハ此中ニ妙ナ話ナドモ聽イテ居ルノデアリマス、果シテ其事ガ事實ナリヤ否ヤハ存ジマセヌガ、妙ナ話ガアリマス、デアリマスカラ、一括處分サレマシタガ、是ハ申請者ノ都合ニ依リマシテハ、數回ニ分ケテモ出來ルモノデアリマス、デアアルカラ申請者トシテモ、日本銀行ガ分割シテ處分スルナラバ、サウ云フ忌ハシイ所ノ醜聞ガ無クテモ濟ムノデアリマシタ、是ハ九月一日ノ岩手日報ノ

ナカッタウカ、是ハ九月一日ノ岩手日報ノ

記事デアリマス、私ハ此新聞ノ記事ガ全部眞實デアルトハ考ヘテ居リマセヌ、然ルニ此處分ノ裏ニ於キマシテ某々有力者ガ動イテ、其某有力者ガ某株式仲買人ト組ンデ、其結果ニ於テ之ヲ一括處分ヲサレタノダ、其處分ノ結果トシテ、其某有力者ハ某縣下ニ於ケル電燈會社ノ、増資ヲシタ後ニ於キマスル社長ニナツタト云フヤウナ話モ聽イテ居リマス、併シ私共ハ其人ノ何モアラフ發カウトスル者デモナケレバ、或ハサウ云フ醜聞ヲ、果シテ事實ナリヤ否ヤト云フコトヲ、調査シヨウトモ考ヘマセヌ、併シ此問題ノ中ニ、サウ云フ風ナ妙ナ話ガアル、成程斯ウ云フヤウナ大キナ處分ハ、或ル意味ニ於キマシテハ中々困難ナ事デアリマセウ、併シ困難ナ事デハアルガ、其困難ナ事ヲ利用シテ、相當其處ニ何等カノ目論見ヲ以テ爲シ、或ハ爲サント云フコトモ分ラヌト考ヘテ居リマス、ソレデアリマスカラ、努メテサウ云フ風ナ場合ニ於キマシテハ公正ナ、外ノ者カラ見テモ、非難ヲ受ケルコトノナイヤウナ處置ヲ、執ッテ戴キタイト考ヘマス、今大久保銀行局長ハ、サウ云フ積リデアルト云フ御意思デゴザイマスカラ、ソレ以上ニハ進ミマセヌガ、能ク斯ウ云フコトハアリマス、株ノ問題デアリマスガ、十四

圓ガ正當デアルト云フヤウナコトヲ言ハレマシタガ、其當時ニ於キマシテ盛岡ニ於キマシテハ、十六圓トカ十七圓ヲ豫想シテ居

リマシタ、其金額拂込ノモノガ、サウ云フ風ナ情勢デアリマスカラ、此十四圓ト云フノヲ正當ダト御認メデアリマスガ、今言ッテ盛岡銀行ノ内容充實ト云フ點ニ付テハ、甚ダ私自身ニ於テハ腑ニ落チマセヌ、併ナガラ是ハ過去ノコトデアリマスカラ、特ニソレヲ發イデドウシヨウト云フヤウナ氣持ハ持チマセヌ併シ相當是カラ後ニ於テハ、サウ云フコトガ起リマス、起リマスルカラ御注意アッテ、其處分ナリ、或ハ其處分方法ナリ、或ハ處分時期ノ問題ニ付キマシテハ、公正ナル方法ニ依ッテ、處置セラレンコトヲ希望致シマシテ、是以上追窮ハ止メテ置キマス

シマス
○小笠原委員長代理 午後一時マデ休憩致シマス
午後零時二十一分休憩
午後一時三十分開議

○小笠原委員長代理 休憩前ニ引續キ議ヲ開キマス、議事ノ進行上、既ニ質問終了ノ大正九年法律第十二號中改正法律案ノ、討論ニ入りマス

○大口委員 私ハ本案ニハ賛成ヲ致ス者デ

アリマス、併シ之ニ付キマシテハ附帶次議ヲ要求致シマス、其文案ヲ讀ミマス

附帶決議
本案ニ關聯シテ朝鮮ニ於ケル稅制ノ改正ハ其ノ關係スル所極メテ重要ナルモノアリ、特ニ改定稅率ニ就テハ頗ル注意ヲ要スルモノアリト認ム、政府ハ宜シク夫レカ實行ニ方リ慎重ナル考慮ヲ拂ハレムコトヲ望ム

斯ウ云フ附帶決議ヲ致シタイト考ヘル者デアリマス、本案ハ結局朝鮮ニ於キマシテ、今回稅法ヲ改正サレマス結果、現レテ居ルモノト考ヘマスガ、其稅法改正ノ結果ハ、大分增稅ノ姿ニナルヤウニ思ハレルノデアリマス、隨テ其影響スル所ハ、實ニ甚大デアリマシテ、頗ル考慮ヲ要スベキ點ガアルト思ヒマス、殊ニ稅率ナドニナリマス、例ヘバ朝鮮人一般ノ嗜好物デアル所ノ濁酒ガ、一石當リ三十錢ノ增稅ト言ヘバ、大シタコトハナイヤウニ見エマスケレドモ、愈是ガ小賣ニナツテドウナルカ、又生活程度ノ低イ朝鮮ノ一般人民カラ見テ、ドレダケニ是ガ影響スルカト云フヤウナコトヲ考ヘマス、中々慎重ナル考慮ヲ要スルト思ヒマス、又麥酒ノ稅ニ致シマシテモ、僅カノ稅ノ差デ、賣價ガ大分高クナルト云フ事實

ガアリマス、是ハ私ハ嘗テ他ノ委員會ニ於テ、其事實ヲ申述ベタコトガアリマスカラ、此處デ之ヲ繰返シマセヌガ、愈御實行ノ場合ハ、只今ノヤウナコトモ十分御考慮ヲ下サイマシテ、慎重ニ御研究ノ上、稅率等モ御定メ下サツテ、萬違算ナキヤウニシテ戴キタイ、斯ウ云フ趣意デアリマス、此趣意ヲ申述ベマシテ、附帶ノ決議ト致シテ、本案ニ賛成致シタイト考ヘマス

○牧山委員 此法案ハ朝鮮ノ稅法改正ニ伴フ、内地トノ共通法トシテ必要ナルモノト存ジマシテ、原案ニ賛成ヲ致スノデアリマス、又只今政友會ノ大口君ヨリ、御提議ニナリマシタ附帶決議ニ對シテモ、吾々民政黨ハ賛成ヲ致スノデアリマス、朝鮮ノ文化ノ程度低キ地域ニ於キマスル新稅ノ設定、稅率ノ改正等ハ、統治上民心ニ及ボス影響ガ、極メテ重大デアリマスカラ、政府ハ稅制ニ關スル勅令ノ制定ニ當ッテ、特ニ慎重ナル考慮ヲ拂ハレンコトヲ望ムノデアリマス、尙ホ私ハ過日朝鮮下層民ノ愛用致シマスル、濁酒ノ增稅ニ關シマシテモ、意見ヲ述ベタノデアリマスガ、只今大口君ノ述ベラレタト同ジ考ヲ持ッテ居ルノデアリマシテ、殆下新附二千萬民ノ生活ノ上ニ於テ、酒、煙草ト云フモノハ殆んど必要缺クベカラザ

ルモノデアッテ、此嗜好品ニ對スル増税——
 煙草ハ既ニ專賣ガ布カレテ居ルノデアリマ
 スルガ、濁酒ニ對シテ約一割ノ増税ヲスル
 ト云フヤウナコトハ、社會政策的見地カラ
 見テ、相當考慮ヲ要スルコト、思フノデア
 リマス、稅率ハ均衡上カラ申セバ一割ノ引
 上ゲハ、必シモ高クナイカモ知レマセヌケ
 レドモ、此増税ノ曉ニ於テハ、必ズヤ酒造
 家及ビ小賣商ハ、増税ヲ名トシテ小賣値段
 ヲ引上ゲルニ違ヒナイ、サウスルト朝鮮ノ
 酒屋、飯屋等ニ於テ、朝鮮人ハ此濁酒ヲ殆ド
 飯ノ代用ニ飲ンデ居ルノデアリマスガ、ド
 ウシテ値段ガ上ツタカト云フトキニ、ソレハ
 今度増税サレタングト云フヤウナコトヲ誇
 大ニ知ラシメテ、非常ニ民心ニ刺激ヲ與ヘ
 テ、長イ間下層民ガ愛好シテ居ツタモノニ、
 増税スルト云フヤウナコトヲ考ヘサセルコ
 トハ、僅カニ三十萬圓ノ財源ヲ得ルガ爲
 ニ、甚ダ面白クナイ結果ヲ來シハシナイカ
 ト思フノデアリマス、宇垣總督、今井田政
 務總監共ニ傑出セル當代ノ政治家デアリマ
 シテ、吾々深ク敬意ヲ表スルノデアリマス
 ガ、外地ニ於ケル新附同胞ノ統治ニ付テハ、
 中々機微ノ點マデモ注意シナケレバナラヌ
 ト思ヒマスカラ、此稅率ノ改訂ニ當ッテハ、
 特ニ慎重ノ考慮ヲ拂ハレンコトヲ望ミマ

ス、現ニ私ハ過日政府カラ酒造稅違反ノ檢
 舉ノ件數ノ調ヲ求メタノデアリマスルガ、
 ソレニ依ルト昭和三年ヨリ七年ニ至ル五箇
 年間ノ酒造稅違反ト云フモノハ、驚ク勿レ
 六萬六百二十六人ニ達シテ居ルノデアリマ
 ス、今回増稅ヲ斷行スレバ、又斯ウ云フヤウ
 ナ稅ニ於テモ犯罪増加ヲ來シハシナイカト
 思フノデアリマシテ、内地ニ於テモ煙草ノ
 專賣ヲ實行シタ時分ニ、葉煙草一枚ヲ盜ン
 ダ爲ニ、有罪ノ判決ヲシテ、專賣ノ趣旨ヲ十
 分徹底セシメル爲ノ判例ヲ作ツタヤウナコ
 トハデアリマスガ、民情ヲ異ニスル朝鮮ニ於
 テ、六萬ト云フヤウナ多數者ガ、僅カ五箇
 年間ニ於テ、酒造稅違反デ檢舉サレルト云
 フコトハ、爲政者ノ深甚ナル考慮ヲ拂ハナ
 ケレバナラヌ事ダト考ヘマス、只今ノ政友
 會ヨリ御提案ノ附帶決議ニモ全然贊意ヲ表
 シ、此政府原案ニ對シテ民政黨ヲ代表シ贊
 成スル者デアリマス

○小笠原委員長代理 討論ハ終局致シマシ
 タ——本案ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔贊成者起立〕

○小笠原委員長代理 起立總員、大口喜六
 君ヨリ提出ノ附帶決議ニ贊成ノ諸君ノ起立
 ヲ求メマス

〔贊成者起立〕

○小笠原委員長代理 起立總員、本案ハ可
 決サレマシタ

○小笠原委員長代理 次ニ郷又ハ町村祿高
 ニ對スル公債證書給與ニ關スル法律案ヲ議
 題ト致シマス——別ニ討論モアリマセヌヤ
 ウデスカラ、本案ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求
 メマス

〔贊成者起立〕

○小笠原委員長代理 起立總員、本案ハ可
 決サレマシタ

○小笠原委員長代理 次ニ所得稅法中改正
 法律案ニ入りマス之ニ對シマシテ討論ノ
 通告モゴザイマセヌカラ、直チニ決ニ入
 リマス、本案ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマ
 ス

〔贊成者起立〕

○小笠原委員長代理 起立總員、本案ハ可
 決サレマシタ

○小笠原委員長代理 次ニ日本銀行金買入
 法案ノ質疑ニ入りマス

〔小笠原委員長代理退席、金井委員長代
 理著席〕

○金井委員長代理 ソレデハ通告順ニ依ッ
 テ質問ヲ許シマス、大藏大臣ハ差支ガアッテ
 御見エニナラスサウデアリマス

○津島政府委員 今朝ノ會議デ中村委員カ

ラ御質問ガアリマシタ海軍省ノ海外拂ノ金
 額、之ヲ御答致シマス、海軍省ノ海外拂ノ
 金額ハ、昭和六年實績八百七十二萬九千圓、
 七年度實績千三百六萬三千圓、八年度ハ豫
 定デゴザイマスガ五千三百五萬圓、斯ウ云
 フコトニナッテ居リマス、是ハ特別會計以外
 ノモノデアリマシテ、特別會計ニ於キマシ
 テハ、燃料廠六年度百五萬二千圓、七年度
 四十七萬二千圓、八年度ノ豫定ハ四百十萬
 圓、斯ウナッテ居リマス、其細カイ内容ニ付
 テハ、海軍ノ方トモ打合セマシタガ、發表
 致サナイコトニナッテ居リマスカラ、惡カラ
 ズ御諒承願ヒマス

○金井委員長代理 中村君、御質問ガアリ
 マスカ

○中村委員 午前中ノ殘ッテ居ルノヲ許シ
 テ戴ケレバ……

○金井委員長代理 ドウゾ

○中村委員 簡單デゴザイマスカラ、暫ク
 時間ヲ拜借致シマス、第五條ニ付テ御同致
 シタイノデアリマスガ、政府ハ昨年以來海
 外拂ノ充當ニ付テハ、金ノ現送ヲ行ハレタ
 ノデアリマスガ、此法案ニ依リマシテ、原
 則トシテ行ハレヌノデアリマスケレドモ、
 場合ニ依ッテハ行ハレルモノト思ハレルノ
 デアリマスルガ、今後ニ於ケル海外拂ニ現

送セラレル場合ハ、昨年ノ如ク爲替安定ト云フコトヲ目的トセラレルノデアリマスカ御伺ヲ致シマス

○津島政府委員

本案ノ趣旨カラ申シマス
ト、第一條ニ依リマシテ、モウ將來ニ於テハ成ベク買上金ハ、國內ニ保有スルト云フ建前ヲ執ツテ居リマス、第五條ハ非常ナ必要ガアル場合デアリマシテ、斯ノ如キ事態ガナイコトヲ、政府ハ希望シテ居ルノデアリマス、然ラバ若シヤル場合ハ、從來ノ如ク爲替ノ非常ニ低落シテ居ル場合ニ、之ヲ調節スルト云フ趣旨ヲ含シデヤルカ、斯ウ云フ御質問デアッタト思フノデアリマスルガ、爲替ノ調節ト云フ事ニ關シマシテハ、此法案ハ關係ガナイノデアリマス、先程申シマシタヤウニ、金ヲ國內ニ保有シ、正貨準備ノ充實ヲ圖ルト云フコトガ、此法案ノ根本ノ趣旨デゴザイマス、隨テ爲替調節ヲ豫想シテ第五條ガ出來タノカト、斯ウ仰シヤラレルト云フト、必シモサウデハナイ、斯ウ申上ゲル外ハナイノデアリマス、然ラバドウ云フ事態ニ於テ、斯ウ云フ事ガ起ルカト申シマス、是ハ斯ウ云フ例外ノ規定ヲ設ケテ置クト云フコトハ、如何ナル場合ニ於テモ、政府ハ適宜ノ處置ヲ講ジ得ルト云フ建前デ、第五條ガ出來テ居ルノデアリマスカ

ラ、ハッキリト爲替調節ノ爲ニ、斯ウ云フ事ヲヤルノダト云フコトヲ、五條ノ説明トシテ申上ゲルト云フ譯ニハ參リ兼ネル、斯ウ云フノデアリマス、此邊ノ御了解ヲ願ッテ置キマス

○中村委員

然ラバ原則トシテハサウデア
ルケレドモ、事態ノ變化ニ依ッテ、從前ト同
ジ目的ヲ以テ、現送シ得ルト云フコトニ、
解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○津島政府委員

絕對ニ從來ノ目的ノ如キ
意味ニ使ッテハイケナイト云フ禁止ヲ、此處
ニ書イタ譯デアアリマセヌ、サウ云フ必要
ガ全體ノ上カラ起レバ、海外拂其他ノ爲ニ
金ヲ利用スルト云フコトガアレバ、或ハヤ
ルカモ知レマセヌ、隨テ茲ニハ其現送ノ目
的ト云フモノヲ、ハッキリ明瞭ニスルト云フ
趣旨ニハナッテ居ラスノデゴザイマス

○中村委員

第五條ニ「政府ハ海外拂其ノ
他特別ノ必要」ト書イデアリマスガ「其ノ
他特別ノ必要」ト云フコトハ、如何ナル事
ヲ豫想サレルノデアリマスカ

○津島政府委員

是ハ具體的ニ斯ウ云フ必
要ト云フコトヲ、今日申上ゲルヤウナ項目
ハ、差當リハナイノデゴザイマス、唯茲ニ
如何ナル事項ガ起ルカモ分ラヌカラ、其場
合ヲ含ムト云フ意味デ、特ニ斯ウ云フヤウ

ナ「特別ノ必要」ト云フ字句ヲ入レタノデ
アリマシテ、斯ウ云フ場合ハ之ニ相當スル
ト云フコトヲ、具體的ニ茲ニ申上ゲルダケ
ノ纏ッタコトニナッテ居ラスノデゴザイマス

○中村委員

「特別ノ必要」ト云フコトハ卒
然トシテ解釋致シマス、爲替調節ト云ッ
ヤウナコトニナリハセヌカト云フ考モアル
ノデゴザイマスガ、其點ハ如何デアリマスカ

○津島政府委員

政府ハ具體的ニ「特別ノ
必要」ト云フ中ニ、爲替調節ト云フ意味ヲ
含メテ居ルカト言ハレルト、今日ノ事態ニ
於テハ此「特別ノ必要」ト云フモノ、中ニ
ハ、含メテ居ラナイノデゴザイマス、併ナ
ガラ他日万一サウ云フ必要ガアツタ場合ハ、
是ハ矢張此規定ノ解釋ニ依ッテ出來得ルト
云フ、茲ニ準備ガ出來テ居ルトモ見エルノ
デアリマスガ、今日サウ云フコトヲ考ヘテ
居ルカト申セバ、ソレハ考ヘテ居ラヌト、
斯ウ申上ゲルヨリ外ハナイノデアリマス

○中村委員

本案ニ依リマスルナラバ、買
入ハ一種ノ自由取引ダト思フノデゴザイマ
スガ、之ニ強制買上ノ規定ヲ入レラレナイ
理由ハ、如何デアリマスカ

○津島政府委員

金並ニ金地金、外國通貨
等ノ強制的ノ處分ヲ命ズルコトハ、御承知
ノヤウニ外國爲替管理法ノ第四條ノ規定ガ

アルノデゴザイマス、此規定ガ如何ナル場
合ニ、如何ナル程度ニ發動スルカト云フコ
トハ、是ハ政府トシテハ慎重ニ考慮シナク
テハナラヌ問題デアリマシテ、此買入法案
ノ關スル限リハ、強制的ノ規定ヲ設クル必
要ヲ認メテ居ラナイノデアリマス、大體目
標トスル所ハ、産金業者カラ金ヲ自由ノ契
約ニ依ッテ賣買致シマシテ、ソレヲ海外ニ成
ベク出サナイデ、從來ノ制度ニ今日改善ヲ
加ヘヨウ、成ベク國內ニ之ヲ保有シテ、正
貨準備ノ充實ヲ圖ラウト云フコトダケガ、
此案ノ目的デアッテ、今ノ強制買上ト云フコ
トニナリマス、是ハ爲替管理法ノ第四條
ヲ、ドウ發動サスカト云フ問題デアリマシ
テ、其方面カラ考究スベキ問題デアリマス、
本法案ニ於テハ其程度迄ハ行ッテ居リマセ
ヌカラ、爲替管理法ノ規定ヲドウ發動スル
カト云フコトニ付テ、別途ニ考究スベキ問
題ダト考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ別途
ニ考究スルト申シマシテモ、今日ノ事態ニ
於テハ、マダ爲替管理法ノ第四條ヲ發動ス
ベキ時機デナイト考ヘテ居リマス

○中村委員

我國ニ於キマシテハ、倫敦ノ
金塊市場ノ如キ歴史アリ、傳統アリ發達シ
タル金市場ノナイコトハ固ヨリデアリマス
ケレドモ、大體此法案ニ依ッテ金ノ自由的ナ

買上ヲセラレ、其買上ノ値段モ發表セラレルト云フヤウニナリマス、此法案ニ依リマシテ副産物的ニ、金ノ我國ニ於ケル一種ノ「プリミティブ」ナ市場ト云フモノガ出來ルト云フヤウニナルノデアリマス、又サウ云ツタヤウナ目的モ含シテ、當局ハ將來ノ處置ヲ執ラレルト云フノデゴザイマス、此點ヲ御伺致シテ置キマス

○津島政府委員 此買入法案ニ依ッテ、我國ニ金ノ賣買市場ヲ設クルカト云フ御尋デアリマスガ、國際的ニ見マス、外國ノ金ヲ買フト云フ趣旨ハ入ッテ居リマセヌ、デアリマスカラ國際的ニ見テ、金市場ガ倫敦、紐育、巴里ノヤウナ意味ニ於テ、是ガ金市場ヲ設ケルト云フ意味ニナルカト申サレ、バ、是ハサウデナイト御答スル外アリマセヌ、國內的ニ見マス、強制賣買、強制買上ヲスル法律デアリマセヌ、公定相場ト云ッテモ、是ハ唯其都度變更シテモ宜イヤウナ、一種ノ任意の相場デアリマス、殊ニ既存ノ地金ヲ買フト云フヤウニハ、此運用ノ範圍ヲ考ヘテ居リマセヌ結果、是ハ單純ニ新産金ニ對シテ、政府ガ一定ノ相場デ、何時デモ買ッテヤルト云フ其範圍ダケニ於テノ市場ガ出來ル、從ッテ國內的ニ見マシテモ金地金ノ市場ト云フモノハ——從來

持ッテ居ル所ノ色々ナ金地金ノ市場ト云フモノハ、是ハ別ニ存在スルモノデアアル、斯ウ云フコトニナルデアラウト思ヒマス

○中村委員 最後ニ資料ニ付テ御申上ゲタイ、從來ノ海外拂ニ依ル金ノ現送ニ當リマシテ、其運賃、保険料、諸雜費等ニ付テ御示シテ願ヒタイ、次ニ貨幣用金以外ノ、所謂工業用金如何ト云フコトデアリマス、ソレハ次ノ區別ニ依ッテ御示シテ願ヒタイ、第一齒科用、第二金箔金粉具、第三陶磁器、第四蒔繪、第五「ペン」先、第六裝身具及ビ裝飾品デアリマス、只今御示シテ願フコトガ出來マセヌナラ、後日デモ速ニ御提出ヲ願ヒマス、私ノ政府委員ニ對スル質問ハ是デ終リマス

○津島政府委員 第一ノ御質問ハ即チ金ノ政府買上金ノ過去ノ現送ニ於ケル經費、現送費ハ幾ラカト云フ御質問ダト了解致シマス、倫敦向ケニ送ッタ一回ノモノ、亞米利加向ケニ送ッタ八回ノモノ——亞米利加向ケノモノニ付テ申上ゲマス、大體各回ニ於テ多少ノ相違ハアルヤウデアリマスガ、併ナガラ大體千分ノ五半位ニナッテ居ルヤウニ計算ガ出テ居リマス、倫敦向ケノモノハソレヨリモ千分ノ一バカリ高く、千分ノ六餘ニナッテ居ルノデアリマス、細カイ計算ハ是

ハ材料ガナイコトハナイノデアリマス、併シ餘リ事務的ニナリマシテ、却ッテ御迷惑ト思ヒマスカラ、其程度ニ一ツ御免蒙リタイト思ヒマス、ソレカラ工業用ノ金ノ消費ガ幾ラデアルカト云フ御質問デアリマスガ、是ハ餘程前ニ、大藏省デ各府縣ニ付テ、十分細カイ調査ヲ致シタコトガゴザイマスガ、非常ナ手數ヲ掛ケ非常ナ金ヲ掛ケマシテ實行致シタコトハゴザイマス、中々正確ナ統計ガ得ラレナイノデゴザイマス、其爲ニ最近ニ於テハ大藏省ト致シマシテハ、此調査ヲ中止致シテ居リマス、從ッテ今日此調査ノ材料ト致シマシテハ、先ヅ地金商ノ報告ニ依ル、地金商ニ問合セテ幾ラ位金ヲ工業用、或ハ齒科ノ治療スル材料ニ使フカト云フヤウナコトガ、地金商ノ報告ニ依ッテ大體ノ計數ヲ得ルト云フ位ニ過ギナイノデアリマス、ソレヲ又正確ナ統計デアアルトハ、吾々トテモ信ジテ居ナイノデアリマスガ、昭和七年ニ日本銀行デ其方法ヲ探リマシテ調べマシタノニ據リマス、約三千二百十七貫ト云フ計數ニナッテ居リマス、是ハ此當時ハ金ノ時價ガ非常ニ低カッタカラ、金額デ申スヨリハ勿デ申シタ方ガ——重量デ申シタ方ガ宜イト思ヒマスガ、三千二百貫位デアリマス、

最近ニモ大藏省デ地金商等ニ就イテ問合セタ計數モゴザイマス、是レ亦正確デアアルカドウカト云フコトハ、吾々ハ保證出來ナイ計數デアリマスガ、御參考マデニソレモ申上ゲマスレバ、只今申上ゲマシタ地金商ノ報告ニ依ッテ、内地工業用消費高ヲ大藏省デ調べマシタ計數ヲ申上ゲマスレバ、昭和六年一萬三百貳、昭和七年ガ一萬四千四百貳ト云フコトニナッテ居リマス、大體私共ノ持ッテ居ル材料ハ、其程度ノモノデゴザイマス

○長島委員 法案全體ニ互ッテ、幾ツカノ點ヲ御説明願ヒマス、前ノ質問應答ヲ聽カズニ居リマシタノデ、重複スルコトガアルカモ知レマセヌガ、御答ノアリマシタ點ハ、重ネテ御答下サランデモ宜シウゴザイマス、先ヅ御尋致シマスノハ、此法案提出ノ理由デス、大藏大臣ノ御説明ヲ承ッテ見ルト、海外ニ對スル支拂ガ餘程減ッテ、輸出入ノ狀況其他ノ狀況ガ好クナツタ、金ヲ現送スル必要モナクナツタカラト云フコトガ、此法律制定ノ一ツノ根據ニナッテ居ルヤウデアリマス、ソレダケデハ新ニ此法律ヲ作ル必要ガナイカト思フノデアリマス、ト言フノハ、外ニ金ヲ出ス必要ガナクッタラ、強ヒテ政府ガ金ヲ買ハナイデモ宜シイ、ソレヲ日本銀行ヲシテ買入シメテモ宜シイ、此法律ヲ作ル

必要ガ新ニ起ツタノハ、正貨準備ヲ充實スル必要ガアルトカ、或ハ亞米利加ノ經濟狀況ノ變化ニ依ツテ、ドウシテモ金ヲ正式ニ政府、或ハ日本銀行ガ買フト云フ途ヲ開イテ、金ヲ保有スル必要ガ特ニ起ツタ爲デアルトカ、何かサウ云フ内外ニ於ケル特殊ナ事情ガ、最近現ハレテ來タ結果デアルヤウニ思フノデアリマス、其點ニ付テ御説明ヲ願ヒマス

○津島政府委員

大藏大臣ノ法案ノ制定ノ趣旨ニ關シテ御説明ノ中ニモ、本會議等ニ於ケル説明ノ中ニハ、只今長島委員ノ仰シヤッタヤウナ趣旨ガ入ッタコト、私了解シテ居ルノデゴザイマス、即チ内地ノ産金、日本ニ在ル金ヲ海外ニ出サウト云フコトダケガ、此法案ノ目標トスル所デハナイト考ヘマス、勿論ソレハ一種ノ方法トシテ、サウ云フコトヲスルノデアアル、其奧ニアル目的ハ何デアアルカト云フコトニ付テハ、大藏大臣モ此點ニ付テ、本會議ニ於テ御説明ガアツタ通り、今日ノ内外ノ經濟事情カラ申シマシテ、正貨準備ヲ充實スルト云フコトハ、是ハ内地ノ通貨政策ノ上ニ於テモ、必要デアアルコトハ勿論デアリマスガ、海外ノ事情カラ申シマス、昨年ノ倫敦ノ經濟會議、其前カラ始マリマシタ世界經濟ノ、各種ノ國際會議ニ於キマシテハ、貨幣制度ノ再建

ト云フコトガ、是ガ一番大キイ問題デゴザイマス、一方ニ於テハ關稅政策ノ問題、通商ノ障礙除去ト云フ問題ガアリマシタガ、是ト相對立シ、ソレヨリ重要ナ意味ニ於テ、將來ノ貨幣制度ヲドウシテ行クカ、斯ウ云フ問題ガアツタノハ御承知ノ通りデアリマス、而シテ倫敦經濟會議ニ於ケル空氣ニ依リマシテモ、或ハ出來上リマシタ所ノ決議案ノ如キニ依リテ見マシテモ、將來貨幣制度トシテハ金本位ガ適當ノモノデアルト云フコトニ付テハ、議論ガナイト云フコトニ、參加國ハ皆一致シテ居ルデアリマス、是ハ本會議ノ決議トハナッテ居リマセヌガ、財政委員會ニ於テハ、サウ云フ決議ヲ致シマシタ、而シテ金本位ニ還ルニ付テハ、其時期方法並ニ平價ノ「レベル」——是ハ切下程度ト云フ方ガ宜シイト思ヒマスガ、ソレハ各國ノ事情ニ依リ、或ハ内外ノ情勢ニ應ジテ、當該國ノ官憲ガ適當ニ決メルト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、此主義ハ今日ハ各國デハ認メテ居ル主義デアリマス、而シテ金本位採用ハドウデアアルカ、或ハ將來ノ運用ガドウデアアルカト云フコトニ付テハ、意見ガ區々デアリマシテ、必シモ一致スル點ハナカッタヤウニ、私ハ見テ參ッタノデアリマス、而シテ今日ノ狀態ハドウデア

ルカト云フト、英國ハ兎ニ角金本位停止以後ニ於テ、隨分色々施設ヲ致シマシタガ、其一ツハ英蘭銀行ガ金ヲ吸收スルト云フコトガ、終始一貫シテ居ルヤウデアリマシテ既ニ其結果ニ於テモ、英國ノ英蘭銀行ノ金ト云フモノハ、一億二三千萬磅カラ、今日ハ一億九千萬磅以上ニ上ッテ居ルト云フ事實ガアル、金本位國デアアル佛蘭西ノ金ノ狀況、是ハ差上ゲマシタ所ノ表ニ依ッテ御覽ニナッテモ分ルヤウニ、非常ニ増加シテ居リマス、亞米利加ノ今日ノ狀態ハ、金ヲ國家ガ管理シテ其金額ヲ増シテ行カウト云フヤウナ方法ヲ講ジテ居ルト云フヤウナ譯デアリマシテ、此情勢ハ特ニ昨年ノ倫敦會議ヲ契機トシテ、ハッキリト現ハレテ來タヤウニ思フノデゴザイマス、此海外ノ情勢ノ變化ハ從來ノ如ク日本政府ガ金ヲ買上ゲテ、之ヲ外地ノ元利拂ニ當テル爲ニ、此金ヲ海外ニ現送スルト云フコトハ、是ハ當然改善シナケレバナラヌト云フコトハ、是ハ政府ノミナラズ、一般ニサウ意見ノ一致スル所デアッタノデアリマス、ソコデ此金保有法案ノ如キハ、即チ此將來ノ通貨政策、將來ノ國際的ノ通貨制度ト云フモノニ付テ、相當ノ注意ヲ拂ッテ、之ニ對スル準備工作ト申シテ宜シウゴザイマセウカ、此趣旨ガ入ッテ居ルト云

○長島委員

實ハ其ノ御説明ガ欲シカッタノデアリマス、今マデノ大藏大臣ノ説明デ、其意味ハ含マッテ居ルヤウデアリマシタガ、ハッキリシテ居ラヌ、大體ニ於テ私共ハ平價切下ガ、必ズ來ルベキモノデアアル、モット進ンデ言フナラバ、私共ガ金輸出再禁止ヲ主張致シタ時カラ、必ズ結論トシテ純分切下、平價切下ガ必ズ來ルモノト考ヘテ居リマシタ所ガ、今日マデノ進ミ方ハ其點ガマルデ曖昧ニナッテ居ル、或ハ其點ニ付テ何等ノ覺悟ト用意ガナカッタ、隨テ金買入ニ付キマシテモ、ズット以前ニ斯ウ云フ法律ヲ制定スベキ必要ガアツタ、亞米利加ノ狀態ナドモ、モット以前カラ豫想ガ出來タノニ、斯ウ云フ法律モ制定シナイ、ソレカラ金ノ買入レヲスルニシテモ、買入價格ガ非常ニ安イ、産金獎勵、金ノ海外逃避ヲ防グ方カラ見テモ、金ノ退藏ヲ防グ方カラ見テモ、

ト云フコトガ、是ガ一番大キイ問題デゴザイマス、一方ニ於テハ關稅政策ノ問題、通商ノ障礙除去ト云フ問題ガアリマシタガ、是ト相對立シ、ソレヨリ重要ナ意味ニ於テ、將來ノ貨幣制度ヲドウシテ行クカ、斯ウ云フ問題ガアツタノハ御承知ノ通りデアリマス、而シテ倫敦經濟會議ニ於ケル空氣ニ依リマシテモ、或ハ出來上リマシタ所ノ決議案ノ如キニ依リテ見マシテモ、將來貨幣制度トシテハ金本位ガ適當ノモノデアルト云フコトニ付テハ、議論ガナイト云フコトニ、參加國ハ皆一致シテ居ルデアリマス、是ハ本會議ノ決議トハナッテ居リマセヌガ、財政委員會ニ於テハ、サウ云フ決議ヲ致シマシタ、而シテ金本位ニ還ルニ付テハ、其時期方法並ニ平價ノ「レベル」——是ハ切下程度ト云フ方ガ宜シイト思ヒマスガ、ソレハ各國ノ事情ニ依リ、或ハ内外ノ情勢ニ應ジテ、當該國ノ官憲ガ適當ニ決メルト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、此主義ハ今日ハ各國デハ認メテ居ル主義デアリマス、而シテ金本位採用ハドウデアアルカ、或ハ將來ノ運用ガドウデアアルカト云フコトニ付テハ、意見ガ區々デアリマシテ、必シモ一致スル點ハナカッタヤウニ、私ハ見テ參ッタノデアリマス、而シテ今日ノ狀態ハドウデア

フコトハ、是ハ大藏大臣ノ現ニ仰セニナッタ所ト同ジデアリマシテ、同時ニソレガ爲ニハ、内地ニ於ケル産金ノ獎勵ト云フコトモ圖ラナケレバナラヌ、斯ウ云フヤウナ趣旨ヲ以テ、此趣旨ハ既ニ本法ニ於ケル金本位停止以後既ニ實行シテアルコトデアリマスガ、此際此趣旨ヲ一層貫徹シテ行カウト云フコトニナッテ居ルノデアリマス。

○長島委員 實ハ其ノ御説明ガ欲シカッタノデアリマス、今マデノ大藏大臣ノ説明デ、其意味ハ含マッテ居ルヤウデアリマシタガ、ハッキリシテ居ラヌ、大體ニ於テ私共ハ平價切下ガ、必ズ來ルベキモノデアアル、モット進ンデ言フナラバ、私共ガ金輸出再禁止ヲ主張致シタ時カラ、必ズ結論トシテ純分切下、平價切下ガ必ズ來ルモノト考ヘテ居リマシタ所ガ、今日マデノ進ミ方ハ其點ガマルデ曖昧ニナッテ居ル、或ハ其點ニ付テ何等ノ覺悟ト用意ガナカッタ、隨テ金買入ニ付キマシテモ、ズット以前ニ斯ウ云フ法律ヲ制定スベキ必要ガアツタ、亞米利加ノ狀態ナドモ、モット以前カラ豫想ガ出來タノニ、斯ウ云フ法律モ制定シナイ、ソレカラ金ノ買入レヲスルニシテモ、買入價格ガ非常ニ安イ、産金獎勵、金ノ海外逃避ヲ防グ方カラ見テモ、金ノ退藏ヲ防グ方カラ見テモ、

金ノ買入價格ナドガ餘リ低クカッタト云フヤウナ點、ソレカラ又金融政策ニ於キマシテモ、私共ハ矢張平價切下ヲ前提トシテ考ヘルカラ、一方ニ爲替ノ下落ニ依ル輸入品ノ騰貴、ソレニ相應ジテ國內商品ガ、金融政策ノ上ニ於テ相當ニ騰貴スベキヤウナヤリ方ヲスベキモノデアアル、是ハ何モ特別ナコトヂヤナイ、自然ノ徑路デサウナルノダカラ、ソレヲ將來ニ見越シテ、サウ云フ方針ヲ執テ行クベキモノデアアルト云フヤウナ考ヲ、大體政友會ハ有ッテ居ッタノデアリマス、所ガ政友會出身ノ高橋大藏大臣ノヤツテ居ル所ヲ見ルト、ドウモ金輸出再禁止ヲヤツテ置キナガラ、平價切下ヲ豫想シナイ、ソレカラ海外ノ情勢ガ刻々變テ來ル、平價切下ハ世界的ノ必然ナ形勢デアアル、サウ云フコトガ分ッテ居ルノニ、ソレニ對スル政策ヲ執ラヌト云フコトヲ、甚ダ遺憾ニ思ウテ居ッタノデアリマス、此法案ノ提出サレタコトハ、其方ニ向ッテ一步ヲ進メタモノデアアル、或ハ寧ロ平價切下、其他ノ事ニ對スル、是ガ準備ノ非常ナ大事ナ意味ヲ有ッ

タ法律案デアアルト云フ風ニ私解釋シテ、實ハ此委員會ニ態、出タノデアリマス、隨テ其意味カラ申シマスルト、此法律案ハ非常ナ大事ナ法律デアアル、今マデノ曖昧デアッタ

政策ガ、此處デ明ニナッタトハ申シマセヌガ、進展スル、次ノ新ナル通貨政策ノ時代ニ入ルベキ、是ガ切掛ニナルト云フモノト見マシテ、質問ヲ致シタイト思フノデアリマス

主ニ條文ニ付テ行キマスガ、今ノヤウナ御趣旨デ、此法案ガ提出サレタト致シマスルト、此金ノ買入價格ト云フコトニ付テ、從來トハ餘程變ッタ考ヲ持タナケレバナラヌト思フノデアリマス、中村委員ノ先程ノ御質問デモ、是ハ自由買入デアッテ、強制買入デナイト云フコトデアリマス、其通りダト私モ思フ、其自由買入ト云フ一點カラ見マシテモ、自由買入デアアル以上ハ、買入價格ハ時價ニ依ルト云フコトガ原則ダト思フノデアリマス、時價ヨリハ甚ダ低イ値段ニ定メルト云フ必要ハナイ、寧ロソレハ罪惡デアアル、是ハ此法律ヲ制定スル以上當然起ッテ來ル問題デアリマス、今マデハ買入ト云フガ、實ハ買入ヂヤナイヤウデアリマス、前貸ノヤウナ變則ナ形デアリマス、隨テ本當ノ買入ノ意味デ之ヲ論ズル譯ニ行カナ

カッタ、ソレカラ今迄ノヤリ方デハ、損失ヲ負擔スル所ハ何處ニモナカッタ、其點ガ今度ノ法律案デハ明ニナッタ、ソレカラ今迄ハ平價切下ト云フコトガ、ドウシテモ前提ニナ

ルベキモノデアアルガ、前提ニナッテ居ラナカッタ、隨テ高ク買入レタ金ガ、將來ソレ以上ノ値段ニナルト云フ見込ヲ豫想サレテモ、實際的ニハソレヲ大事ヲ取ッテ計算ニ入レルコトガ出來ナカッタ爲ニ、買入價格ガ時價ニ比ベテ餘程低カッタノデアリマス、無論時價ト云フモノモ色々計算ノ仕様モアリマセウ、併シ大體世界ニ於ケル金ノ時價ガアル、ソレガ爲替其他ノ關係ニ依ッテ計算スレバ、日本ノ時價ハ自ら定マルト思ヒマスガ、其時價デ買入レルト云フコトガ、大體ノ原則デナケレバナラヌ、ソレガ金ノ逃避ヲ防グコトニナリ、金ノ退藏ヲ防グコトニナル、又産金獎勵ニモナル、詰リ正貨ノ準備ガ充實スル所以ニモナリマスカラ、買入價格ハ先ヅ時價ニ依ルト云フコトヲ、原則トシナケレバナラヌト思ヒマス、隨テ第一條ノ「買入レ之ヲ保有セシムルコトヲ得」ト云フノデ、買入價格ハ大體時價ニ依ルベキモノト見テ、而シテ第二條ノ大藏大臣ノ認可ヲ受ケルト云フコトハ形式デアアルガ、此認可ノ基礎ハ、大體時價ヲ基礎トスルモノト云フ風ニ私共ハ見テ居ルノデアリマス、サウスルト今迄ノヤウニ、爲替其他ノ關係デ計算シテ、例ヘバ十一圓トナリ十二圓トナルモノヲ八圓九十錢デ買フト云フコ

トハ間違ヒデアアル、又今買ッテ居ルノハ九圓八十錢ト云フコトデアアルガ、サウ云フ値段デ買フト云フコトハ間違ヒデアアル、十圓デ買ッテモ十一圓デ買ッテモ間違ヒデアアル、時價ガ十二圓デアレバ十二圓、十三圓デアレバ十三圓、十四圓デアレバ十四圓ト、ソレハ正確ニ行カヌニシテモ、先ヅ時價ニ依ルト云フ頭デ行カナケレバナラヌト思ヒマス、其點ニ付キマシテドウ云フ風ニ見ラレテ居リマスカ、御質問致シマス

○津島政府委員 御質問ノ要點ハ買入價格ノ問題ヲドウスルカ、而シテ是ハ時價ニ依ルベキコトガ適當デアアル、斯ウ云フ御趣旨ノヤウニ拜承スルノデアリマス、此買入價格ニ付キマシテ、昨日モ當委員會ニ於テ、川崎委員ト大藏大臣ノ間ニ、相當質問應答ガアッタノデアリマス、其範圍ニ於テ大體御了解ガ出來ルト、私ハ想像致シタノデアリマス、隨テ茲ニ重ネテ詳細ニ申上ゲルコトモ如何カト存ジマスガ、唯一點時價ニ依ルノガ當然デアアルト、斯ウ云フヤウナ御趣意ニ對シマシテハ、昨日ノ質問應答ト多少重複スル嫌ガアリマスガ、念ノ爲ニ私ノ觀ル所ヲ申上ゲテ御參考ニ供シタイト思ヒマス、時價トハ何ゾヤト云フ定義ハ別ト致シマシテ、ソレハ自ら倫敦ノ金塊市場ニ於ケ

ルベキモノデアアルガ、前提ニナッテ居ラナカッタ、隨テ高ク買入レタ金ガ、將來ソレ以上ノ値段ニナルト云フ見込ヲ豫想サレテモ、實際的ニハソレヲ大事ヲ取ッテ計算ニ入レルコトガ出來ナカッタ爲ニ、買入價格ガ時價ニ比ベテ餘程低カッタノデアリマス、無論時價ト云フモノモ色々計算ノ仕様モアリマセウ、併シ大體世界ニ於ケル金ノ時價ガアル、ソレガ爲替其他ノ關係ニ依ッテ計算スレバ、日本ノ時價ハ自ら定マルト思ヒマスガ、其時價デ買入レルト云フコトガ、大體ノ原則デナケレバナラヌ、ソレガ金ノ逃避ヲ防グコトニナリ、金ノ退藏ヲ防グコトニナル、又産金獎勵ニモナル、詰リ正貨ノ準備ガ充實スル所以ニモナリマスカラ、買入價格ハ先ヅ時價ニ依ルト云フコトヲ、原則トシナケレバナラヌト思ヒマス、隨テ第一條ノ「買入レ之ヲ保有セシムルコトヲ得」ト云フノデ、買入價格ハ大體時價ニ依ルベキモノト見テ、而シテ第二條ノ大藏大臣ノ認可ヲ受ケルト云フコトハ形式デアアルガ、此認可ノ基礎ハ、大體時價ヲ基礎トスルモノト云フ風ニ私共ハ見テ居ルノデアリマス、サウスルト今迄ノヤウニ、爲替其他ノ關係デ計算シテ、例ヘバ十一圓トナリ十二圓トナルモノヲ八圓九十錢デ買フト云フコ

トハ間違ヒデアアル、又今買ッテ居ルノハ九圓八十錢ト云フコトデアアルガ、サウ云フ値段デ買フト云フコトハ間違ヒデアアル、十圓デ買ッテモ十一圓デ買ッテモ間違ヒデアアル、時價ガ十二圓デアレバ十二圓、十三圓デアレバ十三圓、十四圓デアレバ十四圓ト、ソレハ正確ニ行カヌニシテモ、先ヅ時價ニ依ルト云フ頭デ行カナケレバナラヌト思ヒマス、其點ニ付キマシテドウ云フ風ニ見ラレテ居リマスカ、御質問致シマス

○津島政府委員 御質問ノ要點ハ買入價格ノ問題ヲドウスルカ、而シテ是ハ時價ニ依ルベキコトガ適當デアアル、斯ウ云フ御趣旨ノヤウニ拜承スルノデアリマス、此買入價格ニ付キマシテ、昨日モ當委員會ニ於テ、川崎委員ト大藏大臣ノ間ニ、相當質問應答ガアッタノデアリマス、其範圍ニ於テ大體御了解ガ出來ルト、私ハ想像致シタノデアリマス、隨テ茲ニ重ネテ詳細ニ申上ゲルコトモ如何カト存ジマスガ、唯一點時價ニ依ルノガ當然デアアルト、斯ウ云フヤウナ御趣意ニ對シマシテハ、昨日ノ質問應答ト多少重複スル嫌ガアリマスガ、念ノ爲ニ私ノ觀ル所ヲ申上ゲテ御參考ニ供シタイト思ヒマス、時價トハ何ゾヤト云フ定義ハ別ト致シマシテ、ソレハ自ら倫敦ノ金塊市場ニ於ケ

ル相場ヲ採リ、日英爲替相場ニ依ッテ、之ヲ直
スト云フ方法デ、何等カノ時價ト云フモノ
ガ出ルト考ヘマス、然ルニ本法ニ於テ買入
レマス金ハ、是ハ政府ガ直チニ處分スルト
カ、日本銀行ガ直チニ處分スルトカ云フ金
デハナイノデアリマス、詰リ本法ノ目的ト
スル所ハ金ノ國內保有ト云フコトガ主眼ト
ナッテ居リマス關係上、之ヲ政府トシテ、或
ハ日本銀行トシテ保有シテ行カナケレバナ
ラヌ、若シ之ヲ直グ右ノ手デ買取ッテ、左ノ
手デ處分スルト致シマスレバ——右ノ手デ
時價デ買ッテ、左ノ手デ時價デ賣ルト云フコ
トニ致シマスレバ此間ニ何等問題ハナイ、
極メテ簡單デアリマス、併ナガラ本案ノ建
前ハ、保有スルト云フ以上ハ、保有期間ニ於
ケル經濟ノ變動、爲替相場ノ變動其他諸般
ノ事情ヲ考慮シテ今日買入ノ値ヲ決メルト
云フノガ當然ノ必要ニナルノデアリマス、隨
テ只今仰セニナツタ、本法ニ於テハ從來ノ制
度ト違ッテ、政府ガ損失補填ヲスル金ノ用意
モスルト云フコトデアリマシタガ、其趣旨
ハ多少私共ノ考ヘテ居ル所ト、或ハ御考ハ
違ッテ居ルカ分ラヌト思ヒマスガ、第四條ノ
規定ハ損失ヲ補償スルト云フ趣旨デハ出來
テ居リマセヌ、是ハ單ニ日本銀行ガ買入レ
ル金ヲ、例ヘバ相場五圓デ買入レル關係

上、其處ニ差額ガ起ル、其差額ヲ補填スル
必要ガアッテ、損失ガ起ッタト云フ觀念ハ其
處ニ持ッテ居ラナイ、隨テ非常ナ差額ニナッ
テ、政府ハ一億圓マデ損失ヲシテモ宜イカ
ラ、損失ノ限度ヲ一億圓トシテ、斯ウ云フ法
律ガ出來テ居ルト云フ建前デハナイ、唯計
算上ソコニ差額ガ起ッタノヲ補填スルノヲ、
政府ハ之ヲ取返スト云フ建前ニ法律ハナッ
テ居リマス、即チ第六條、第七條ノ如キハ、
ソレガ明瞭デアリマシテ、成ベク金ノ買入
ニ於テ損失ガナイヤウニ、是ガ爲ニ國民ニ
負擔ヲ生ゼシメナイヤウナヤリ方ニスルト
云フコトガ大切ナノデアアルガ、其點ハ買入
價格ヲ決定スル上ニ、十分考慮サレナケレ
バナラス、即チ茲ニ恰モ二ツノ要素ガアリ
マシテ、成ベク多ク金ヲ買上ゲテ、産金獎
勵ニモナルト云フコトハ、一面ノ目的デア
リマセウ、同時ニ又將來ノ爲替相場ノ變
動、而シテ日本ニハ金市場ト云フモノガナ
イノデアリマスカラ——實質的市場ガナイ
ノデアリマスカラ、海外ノ事情ニ依ッテ相當
動キ得ルヤウナ其時價ト云フモノヲ、直チ
ニ基準ニスルト云フコトデアレバ、國家ノ
財政ノ上ニ於テモ相當考慮シナケレバナラ
ヌ、斯ウ云フ兩面カラ考ヘテ、政府ト致シマ
シテハ此法案ノ全體ニ互ッテ、最モ目的ヲ達

成スルニ公正的確ナル買入價格ヲ決メル、
斯ウ云フ趣旨ニナッテ居ルノデアリマス、即
チ簡單ニ申シマスト云フト、時價ニ依ッテソ
レヲ直グ買入レタラ宜イデヤナイカト云フ
考ニ對シテハ、ドウモ遺憾ナガラ政府トシ
テハ贊成スルコトガ出來ナイノデアリマス、
多少根據スル所ハアリマセウガ、マアサ
ウ云フヤウナ考ヲ有ッテ居ルノデアリマス
○長島委員　ドウモ其點ガ政府ト吾々ノ考
ノ、空ク相違シテ居ル點デアリマス、私共
ハ平價切下ガアルモノ、又此法律ヲ見マシ
テモ、第六條ナドハ明ニ平價切下ヲ豫想シ
テ居ルガ、其頭デズツト進ンデ居ル、ソレ
デアリマスカラ其頭デ行ケバ、亞米利加ノ
ヤウニ時價ヨリモ高ク買フト云フコトサヘ
ヤル場合ガアル、平價切下ノ程度ヲ標準ニ
スル、ズツト思切ッタ所マデ持ッテ行クトスレ
バ、ソレニ合ハス爲ニハ、時價ヨリモ高ク
買ッテ行クト云フコトハ、亞米利加ガヤッタ
ト同ジヤウニ、日本ニ於テモソレヲヤル必要
ガ起ッテ來ルカモ知レナイ、其處マデ行カ
ヌニシテモ、大體ニ於テ將來ノ損失ト云フ
コトヲ考ヘナイト云フ御言葉デアリマシタ
ガ、其考ヘナイト云フノハ、損ニナラナイ
ヤウナ程度デ買フト云フ意味デアッテ、今ノ
時價デ買ッテモ、平價切下ガ必ズ來ルカラ、

其時ニハ損失ガ起ラナイト云フ風ニ私共ハ
見テ居ル、ソレデ第四條ナドニ致シマシテ
モ、私共ハ逆ニ考ヘテ居ル、政府ガ損失ヲ補
償スルノデヤナイ、ソレカラ損失ニ當テル
金ヲ、政府カラ出スノデハナイ、計算上貨幣
法ノ價格ト、ソレカラ買入價格トノ違ヒヲ、
唯政府ノ借入ト云フ形デ整理シテ、日本銀
行ヲシテ考慮スル所ナク買入ノ出來ルヤウ
ニシテヤル、而シテ決算ハ平價切下ノ時ニ
スルト云フ、大體ノ趣旨ト思ヒマス、ソレ
デアリマスカラ、其方カラ言ヘバ、此債務
ガ多クナッテモ、ソレガ政府ノ負擔ニナリ、
或ハ國民ノ負擔ニナルト云フ風ニハ考ヘラ
レヌ、隨テ其方カラ云フト、私ハ後ニ質問
シヨウト思ッテ居リマシタガ、一億ナド、云
フ限度ヲ置ク必要ハナイ、或ハ此限度ヲ
モット大キクシテ宜イト云フ考ヲ有ッテ居ル
ノデアリマス、ソレデ私共ハ大體ノ法律ヲ
作ル必要、詰リ金ヲ充實セシムル、世界的
ニ金ノ吸收ガ中々盛ンデアル、其間ニ於テ
日本ノ金ヲ成ベク餘計ニ保有スル、ソレニ
ハ産金獎勵、海外逃避ノ防止、進ンデ私共
ハ場合ニ依ッたら、外カラ金ヲ吸收スルマデ
行キタイノデス、今マデ金ヲ逃ガシタト云
フコトガ本當ノ間違デ、逆ニ買入價格ヲ少
シ加減シタラ、金ノ吸收ガ出來タト思フ、

少クトモ滿洲ノ金位ハ之ヲ逃ガスト云フコ

トハ、全クノ間違ヒダト思フテ居ル、所ガ滿

洲ドコロデハナイ、朝鮮ノ金マデ逃ガシテ

シマツタ、詰リ買入價格ガ低カッタ爲メデア

ル、サウ云フヤウナ事情カラ見テ、私ハ買

入價格ハ努メテ時價ニ近イモノニスルガ宜

イト思フ、損失ヲ心配シタリ何カシテ、買

入價格ヲ低クシタリスルコトガ間違デア

ル、法律制定ノ目的ヲ達スル上カラ言ヘ

バ、努メテ時價ニ近イモノニスル必要ガア

ル、サウシナケレバ此法律ヲ制定スル目的

ヲ達シナイ、此法律ヲ態、制定スル以上ハ、

其處マデ行カナケレバナラス、其處ガ大變

意見ノ相違ニナルヤウニ思フノデアリマ

ス、昨日ノ高橋大藏大臣ノ説明ハ詳シク聽

イテ居リマセヌガ、一寸聽イタ所デモ、高橋

サンガ數十年其頭デ支配サレテ居ル、詰リ

平價切下ト云フコトガ嫌ヤダ、成ベク時期

ハ先ニ送レ、ソレカラ金ノ買入價格ハ成ベ

ク安クスル、金融政策ノ方デモ、平價切下

ト成ベク反對ノ方ノ政策デ行カウ、マーケ

ツト・オペレーション」ナドハ現ニ其一ツデ

アル、サウ云フ風ナ行キ方ガ、私共ト絶エ

ズ正反對デアアリマセヌガ、距離ガ非常ニ

遠クテ、段々實行ヲ離レテ行クト云フコト

ヲ、ヒドク感ズルノデス、モウ一應買入價

格ニ付テノ御意見ヲ承リタイ

ナ事態デアアル、是ハ我國ノ地理上致方ナイ

○津島政府委員 只今再ビ御意見ヲ御述ベ

ニナリマシタガ、大體同ジ事ヲ繰返スヤウ

デアリマシテ、非常ニ恐縮致スノデアリマ

ス、其御意見ノ中ニ、亞米利加ノ金ノ買上

デハ、寧ロ時價ヨリモ高クシテ、段々買ッテ

行ツタト、斯ウ云フコトガゴザイマシタ、是

ハ亞米利加ハ平價切下點ガ何處ニアルカ

ト云フ目標ガ、チャント決マツテ居リマス、

五割マデハ平價ヲ切下ゲルト云フ法律ニ

依ツテノ權能ヲ有テ居ル、而シテ實行上ハ

ドノ程度迄ヤルカト云フ目標ガアリマスカ

ラ、其目標ニ到達スル經過の道行トシテ、

或ル一定ノ金買入價格ヲ決メテモ、亞米利

加政府トシテハ全然損ニナラナイ計算デア

リマス、即チ三十五弗一「オンス」ニ決メル

ト云フ假ニ標準ガアツテ、サウシテ昨年ノ十

月二十五日カラ三十一弗三十四仙カラ「ス

タート」致シマシテ、三十四弗九仙マデ行ッ

タ、其間ニ於テハ是ハモウ政府トシテハ損

ヲシッコナイ、「オペレーション」ヲ致シテ

居ルノデアリマシテ、斯ノ如キ方法ヲ日本

デ講ジラレルカト云フコトニナリマス、

假ニ將來貨幣單位ノ改訂ヲ致スト致シマシ

テモ、今日其目標ト云フモノハ、我國ノ政

府トシテハ、之ヲ拵ヘルコトハ非常ニ困難

ナ事態デアアル、是ハ我國ノ地理上致方ナイ

コトデアリマシテ、弗貨ノ將來、磅ガドウナ

ルカ、法ガ將來ドウ變テ行クカト云フコ

トヲ決メテ、初メテ日本ノ爲替、國內通貨

ト云フモノガ、何處ニ安定スベキカト云フ

コトガ決マルモノデアリマスカラ、詰リ據

ルベキ標準ヲ、今日決メルト云フコトガ困難

デアルト云フコトハ、是ハ長島サンモ御諒

承下サルコトデアラウト思フノデアリマ

ス、隨テ今日買上相場ヲ決メルニ當リマシ

テ、何等カノ方法デ以テ、一種ノ人爲の相場

ヲ茲ニ決メルト云フコトハ、是ハ非常ナ危

險ナコトヲヤルト謂ハナケレバナラスノデ

アリマス、然ツバ時價ト云フコトハドウデ

アルカ、サウ云フ人爲の價格デアツテ、時價

ハドウ云フコトデアアルカ、時價其モノハド

ウデアアルカ、今ノ時價ヲ以テ將來日本ノ貨

幣ガ、改訂サレルト云フコトヲ豫定シテ居

ルナラバ、是ハ損得ナイノデアリマス、併ナ

ガラ其根本デアアル方針ト云フモノガ、今日

ハマダ確立スルノニ時期尙早デアアル、今日

ニ於テハ直チニ今日此時價ヲ以テヤルト云

フコトガ、果シテ適當デアアルカト云フコト

ニ付テハ、吾々非常ニ疑問ヲ有ツテ居リマ

ス、併ナガラ最後ニ於テ、金ノ國內の充實

ヲ圖ルト云フ點カラ行ケバ、損得ノ問題ハ

暫ク考慮ノ外ニ置イテ、或ル一定ノ時價ト

云フモノニ依ツテ、買ッテ行クト云フコトデ

アレバ、是ハ全然意見ノ相違ニナルヤウ

ニ、私ハ考ヘルノデアリマスガ、恐ラク大

藏大臣モ昨日ノ質問應答ニ於テ、相當考慮

サレテ居ルコト、思ヒマスガ、サウ云フヤ

ウナ程度マデ考慮サレテ居ルトハ、私ハドウ

モ考ヘラレナイノデアリマシテ、其處ニ參

リマス、餘程意見ノ違ヒガアルヤウニ考

ヘルノデアリマス、是レ以上ハドウモ私ト

シテハ答辯シ兼ネルノデゴザイマスカラ、

ドウゾ一ツ御諒承ヲ願ツテ置キマス

○長島委員 實ハ今ノ點ハ大藏大臣ト私ト

ガ、全然議論ノ違フ所デス、是レ以上繰返

シテモ仕方ガアリマセヌガ、今御話ガアリ

マシタカラ、關聯シテ申上ゲテ置キマス、

亞米利加ノヤウニ時價ヨリ高ク買フト云フ

コトハ、是ハ私共今考ヘナイノデアリマ

ス、併シ或ル場合ニナツタラ、サウ云フコト

モ必要ガ起ツテ來ル、カト思ヒマス、ソレ

カラ平價切下ヲドノ程度ニスルト云フ

コトハ、無論今決メラレナイ問題ト云フ

コトモ、御意見ノ通りデアリマス、但シ

平價切下ノ時期ヲ、大藏當局トシテ頭ニ一

ツ見當ヲ付ケテ、ソレカラ結局ノ切下點ノ

程度ガドノ程度ナラ、世界的ノ變化形勢ニ

應ジテ宜シイト云フ見當ヲモ付ケルベキデア
アル、其見當ガ付カズニ居リマス、有ユ
ル政策ガマルデ不徹底トナル、金ノ買入ダ
ケヂヤナク、財政々策ニシテモ、金融政策
ニシテモ、實ハ爲替ダケノ問題ニシマシテ
モ、其處ノ見當ヲマルデ持タナイモノトナ
ル、ソコノ見當ヲ付ケルト云フ大體ノ目安
ナシニハ、總テノサウ云フ政策ガ根據ノナ
イモノトナッテシマウ、隨テ世界的ノ經濟競
争ノ間ニ立ッテ、非常ナ失敗ヲスルト云フコ
トニナル、先刻御述ニナリマシタ倫敦會議
ノ内容カラ申スバカリデナシニ、實際世界
的ノ上カラ云ッテ、日本ガドウトモ決メラレ
ヌ、何時ニナッテヤレルカ分ラヌト云フヤウ
ナ態度デハ宜クナイト云フコトヲ、私ハ痛
切ニ感ジテ居リマス、モウ昨年カラ其事ヲ
ヒドク感ジテ居リマス、ドウカサウ云フ點
ニ付キマシテハ、一ツ今此席デ御答ヲ望ム
ノデハアリマセヌガ、此法律成立ト同時ニ、
サウ云フ點モ更ニ突込ンデ御考ヲ願ヒタ
イ、サウシテ結局何處ニ落付クカト云フ所
ヲ先ヅ見當ヲ付ケ、ソレカラ世ノ中ヲシテ、
其見當ハ知ラヌニシテモ、自然行クベキ途
ノ分ルヤウニスル必要ガアルト思フノデア
リマス、其意味カラ申シテ、私ハ時價ガ餘
リ上リ過ギタラ別デスガ、今ノ所デハ成ベ

ク時價ニ近イモノデ買フト云フ所デ危險ガ
ナイ、日本ノ平價切下ノ程度カラ考ヘテモ、
今カラ豫想ハ出來マセヌガ、之ヲ専門ニシ
テ居ラレル理財局長ニハ、自然頭ニ浮ンデ
居ルト思フ、亞米利加サヘ四割一分程度デ
アル、ソレガ英吉利ニドウ響キ、歐羅巴大
陸ニドウ響クト云フコトヲ御考ニナレバ、
自然日本ノ切下ガ、ドノ程度以上デナケレ
バナラヌト云フコトガ、御分リニナルト思
フノデアリマスガ、サウ云フ方カラ云ヘバ、
此買入價格ハ今ノ所デハ時價、若クハ時價
ニ極ク近イモノデ、差支ナイト云フ風ニ考
ヘルノデアリマス、是ガ中々大切ナ點デア
リマス、諄クナルヤウデハアリマスガ、重要
ナ點デスカラ申上ゲルノデスガ、此法律ヲ
作ル實際ノ效果ハ、買入値段ニナッテ現レテ
來ルト思フ、其點ヲ一ツ十分ニ御考願ヒタ
イト思フ

ソレカラ先程一寸觸レマシタガ、第四條
ノ第二項ノ「前項ノ債務ハ無利子トシ一億
圓ヲ限度トス」ト云フノデスガ、此一億圓
限度ト云フコトガ、法律ノ體裁ノ方カラ云
ヘバ大變必要ナヤウダガ、法律上ニ斯ウ云
フ一億程度ノ限度ヲ決メテ置キマスコト
ガ、此程度ダト、例ヘバ時價十二圓デ買入レ
ル、サウスルト一匁五圓デスカラ一匁ニ付
テ七圓ノ差ニナル、サウスルト餘リ餘計ナ
モノガ買ヘナイノデス、此法律デハ一億ノ
程度ニハ、直グ達スルト思フ、折角之ヲヤッ
テ置ク以上ハ、産金獎勵ノ方デハ急ニ増シ
ハシナイガ、民間ノ退藏ノ金ハ中々アルト
思フ、政府ノ方デモ御調査ハアルカト存ジ
マスガ、色々ナ形デ中々退藏ガアル、ソレ
ヲ呼出ス、ソレカラヤハリ出來ルナラ海外
カラモ吸收シタイ、何ト云ッテモ今ノ所四億
二千萬圓程度ノ正貨準備デハ心細イ、今ノ
財政状態カラ見テモ、是ハドウシテモ充實
ト云フヨリハ、思切ッテ増ス手段ヲ講ズル必
要ガアル、殊ニ私ハ日本ノ對外關係ノ前途
ニ、非常ナ不安ヲ有ッテ居リマス、一昨日モ
陸軍大臣ニ質問致シマシタガ、私トシテハ
非常ニ不滿ヲ有ッテ居リマス、四億二千萬圓
程度ノ正貨準備デ、安シジテ居ルコトハ到
底出來ナイ、何トカシテ金ノ充實ヲ致シタ
イ、出來ル間ニ致シタイト思フノデアリマ
ス、サウ申スノハ、私ハ日露戰爭ノ時ニ倫
敦ニ居リマシテ、正貨準備ガ足りナイカラ、
ソレヲ充實スル爲ニ倫敦デ金ヲ買ッタ、此方
ニ送ルノニ倫敦カラハ出セナイノデ、印度
カラ出シタリ、濠洲カラ出シタリ色々ナ苦
ヲシタ經驗ヲ有ッテ居リマス、此點ハ津島君
モ十分御承知デアラウト思ヒマス、何トカ

今ノ中ニ早ク金ノ充實ヲ致シタイ、ソレヲ
ヤッテ置カヌト、後ニナッテ飛ンデモナイコ
トヲシタト云フ感ジガスルコトガアリハセ
ヌカト云フコトヲ、心カラ慮レテ居リマ
ス、此一億限度ト云フノヲ、モウ少シ増ス
コトガ出來マセヌカ

○津島政府委員 此一億圓ト云フ金額ヲ出
シマシタ大體ノ見込ニ付キマシテハ、今朝
委員會デ私ハ一應ノ説明ヲ致シタノデアリ
マス、今マデノ内地ノ産金、新産金、ソレ
ヲ買上ゲマスト致シマシテ、此一億圓ノ限
度ヲ持ッテ來テ、是ハ勿論買入價格竝ニ産金
ノ増加ノ歩合等ヲ、考慮シナケレバナラヌ
ノデアリマスガ、先ヅ一年半位ハ從來ノ増
加ノ割合、或ハ假ニ十一年ト致シマシテ
モ、其位ハ一億圓ノ差額デ以テ、補填シテ
行ケル勘定ニナルノデアリマス、併シ御説
ノ海外カラ金ヲ買フ、或ハ内地ノ普通ノ地
金鑄潰金ヲモ買入レルト云フ趣旨デアレ
バ、此一億圓ハ或ハ不足デアルカモ知レマ
セヌ、併シ差當リ政府ト致シマシテハ、産
金ノ買入ト云フコトニ、主力ヲ置クコトニ
ナッテ居ル、而モ是ガ一年半ハ少クトモアル
ト云フ見込デアリマスカラ、他日事態ノ變
更ニ應ジテ、此金額ヲ増加スルコトガ必要デ
アレバ、是ハ又議會ニ新ニ協賛ヲ求ムル機

會ガナイデハナイノデアリマスカラ、實效ノ上カラ云ヒマシテ、一億圓ト云フコトデ十分目的ヲ達セラレルト、私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、海外カラ金ヲ買フト云フコトハ、是ハ餘程根本的ノ問題ニナルノデアリマシテ、海外デア買フ其資金ヲドウスルカト云フ問題ニ、直グニ打突カルノデアリマス、海外ニ於テ今日ハソレニ相當シタル所ノ資産、或ハ在外正貨ト云フモノガ、今日ハ此目的ノ爲ニ使用スル程度ノモノハゴザイマセヌ、一昨年來政府ハ海外支拂ノ爲ニ、

云フコトガ先ニ立タナレバナラヌ、而シテ今日ハ稍、其道程ニ上ッテ居ルノデアリマシテ、一昨年ノ狀況ノ如キハ、金貨ヲ現送シテ初メテ國際貸借ノ決濟ヲシタト云フ狀態ニアリマスノデ、更ニ金貨ヲ買フト云フコトハ、是ハ他ニ及ボス影響ト云フモノモ餘程考ヘナケレバナラヌノデアリマスカラ、今日ノ時代ニ於テ、外國カラ金ヲ買フト云フ所マデハ、マダ積極的ニ進ミ得ナイ、斯ウ考ヘテ居ルノデゴザイマス

○長島委員 私モ政府、日本銀行ガ金ヲ買ッ

態々内地カラ金貨ヲ送ッテ、此國際貸借ノ收支ヲ合シタ、外債ノ元利拂ヲ金貨ヲ送ッテ爲シ、之ニ依ッテ始メテ爲替ノ安定ト云フコトニモ、幾分貢獻シタノデアリマスガ、サウ云フ狀態デアリマス、而シテ海外市場ニ於テ、日本ガ今日借金ガ出來ルカ、新シク起債ガ出來ルカト云フト、是ハ今日ノ外債公債ノ相場カラ見マシテ、五分半公債ガ七十幾ツト云フモノデアリマスカラ、到底今日ノ事情ニ於テ、日本ガ起債ヲスルト云フコトハ困難デアリマス、要スルニ是ハ外國貿易ヲ發展助長シテ、其差額ニ依ッテ、實力ヲ以テ其餘ツタ資金ヲ金貨ニ替ヘテ持ッテ來ルト云フノガ、最モ適當ナコトデアッテ、海外貿易ノ發展、其他貿易外ノ收入ヲ増加スルト

テ來ルトハ思ハナイ、唯金ノ吸收ガ出來ヤセヌカト思フノハ、亞米利加ニ日本ノ移民ガ大分行ッテ居ル、其貯蓄ガ實際多イヤウデス、最近不況デ隨分打撃ヲ蒙ッテ居ルヤウデスガ、實際ニ於テ中々ノ金額ニ達シテ居リマス、是ハ私特殊ナ關係ガアッテ、最近色々調ベタコトガアリマス、調ベテ意外ニ日本ノ移民ガ、亞米利加デ金ヲ持ッテ居ル、其數字ニ驚イタノデアリマス、ソレガ爲替ガ安クナツタ爲ニ、日本ノ方ノ土地ニ投資スル、日本ノ土地ヲ買フ、サウスルト後ニナッテ平價切下ニデモナレバ大分利益ガアル、或ハ少ク共自分等ガ内地ニ歸ッテ來テモ、其處ニ住居スルコトハ兎ニ角トシテモ、土地ヲ持ッテ居ルト云フヤウナ關係カラ、内地ク土地ナ

ドニ投資シヨウト云フ希望ハ中々多イ、色ナ關係ヲ迪ッテ、或ハ特殊ナ人ニ頼ンデ土地ヲ買フ者ガアル、斯ウ云フ者ニ付テ方法ヲ講ジマスルト、私ハ相當ナ金額ガ此方ニ吸收ガ出來ルト云フ見込ヲ實ハ立テマシテ、私共政府ニ在ッタ時ニハ、餘リ斯ウ云フコトニ注意ヲシナカッタ、此頃ニナッテ是ガ中々大キナモノデ、其點ニ眼ヲ著ケル必要ガアルト思ッテ居ルノデアリマス、サウ云フ方カラ言フト、爲替ガ下リマスルコトハ、非常ニ金ノ吸收ニ便利ニナル、サウ云フヤウナ途モアリ、其外爲替ガ下ルコトガ輸出ヲ増進スル所以デモアル、對外支拂關係ニ金ガ吸收サレル原因ガ増スト云フヤウニ考ヘラレル、ソレニハ矢張金ノ買入價格ヲ爲替相場ノ上ニ置イテ、高クシテ置クト云フ考ヲ有ッテ居ルノデス、是ハ唯御參考迄ニ申上ゲマッソレカラ一億限度ト云フノヲ、一年半位デヤ實ハ心細イノデス、併シソレヲ一年半位後ニ必ズ平價切下ニナル、其後ニ平價切下ニナルト云フ御考デアアルナラバ賛成致シマスガ、其事ハマダ分ラヌ、何時ニナッテドウナルカ分ラヌト云フ、今迄ノ政府ノ建前カラ云フト、折角此法律ヲ制定スル以上、一年半或ハ其後ニ於テ、必要ガ生ジタラ法律ヲモウ一度改正シテ之ヲ増ス、或ハ其間

ニ於テモ何か必要ガ起ッタ時ハ、之ヲ増スト云フヤウナコトデナシニ、此金ヲ殖ヤシテ置イテモ、別ニ政府ノ損失ニナル譯デモ何デモナイノデスカラ、モウ少シ之ヲ増シテ置クト云フコトガ宜イデヤナイカト思ヒマスガ、モウ一度其點ニ付テ伺ヒマス

○津島政府委員 金額ハ差當リ一年半乃至二年間、此法律ニ書イテアル一億圓デ十分ダト云フ考デゴザイマス、若シ將來増加ノ必要ガアル、或ハ追加ノ必要ガアルト云フ場合ハ、是ハ議會ノ協賛ヲ願ヒマシテ、新タニ此金額ノ追加ト云フコトニ付テ御審議ヲ願ヘル、ソコニ再ビ此問題ニ付テ御審議ヲ願ヘルト云フ機會モアルノデアリマスカラ、寧ロ政府ト致シマシテハ、大キイ金額ヲ定メマシテ、何年カノ間此法案ヲ其儘ニ實行スルト云フヨリモ、本案ノ如ク一億圓トシタ方ガ却テ宜シイノデハナイカ、斯ウ思ッテ一億圓ト云フ金額ヲ、茲ニ出シタ譯デアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○長島委員 第六條ハ平價切下ノ場合ヲ豫想シタ條文ト解釋シテ宜シウゴザイマスカラ

○津島政府委員 第六條ハ將來日本銀行ガ持ッテ居ル金ニ付キマシテ、評價外等ノ利益ガ生ジタ場合ニ、政府ニ納メルト云フコ

トニナルノデアリマス、即チ平價ノ改訂ノ如キ場合ガ、此一ニ相當スルト云フコトハ、申上テ宜イダラウト思フノデアリマス、平價ノ改訂ガ若シ利益ヲ生ズルヤウナ方法ヲ出来タ場合ニハ、六條ハ其適用ノアル場合デゴザイマス

○長島委員 第五條ニ依ルト、政府ノ支拂

ノ爲ニ金ヲ買上スル時ハ、買入價格ヲ買上ゲルノデアリマスカラ、利益ガ生ジナイ、サウスルト第六條ハ平價改訂ノミデハナイデセウカ、平價改訂ガ主ナル場合デアアルト云フヤウニ、今ノ御説明ヲ私ハ解釋致シマス、從ッテ今マデ日本ノ法律其外ニ、平價切下ト云フコトヲ豫想シタモノガナカッタノデアリマス、今マデ又大藏大臣ノ御説明ナドニ依ッテ、平價切下ト云フコトハ有リ得ルコトデアアルガ、實際問題トシテ考ヘラレナカッタヤウデアリマスルガ、此法律ノ第六條ノ制定ハ、ソコニ結局進ムモノデアアルト云フ政府ノ意思ガ、茲ニ現ハレタモノダト、甚ダ勝手ナ解釋デアリマスガ、私共ハ平價切下論者デアリマスカラ、サウ云フ風ニ解釋致シマス、從ッテ此法律全體ノ運用ヲ、矢張平價切下ト云フコトヲ前提ニ致シテ、運用シテ戴キタイト云フ希望ヲ持ッテ居リマス、從ッテ買入價格ニ付テモ、先刻申上ゲタ

ヤウナ意味ヲ、十分御取入レヲ願ヒタイ

ソレカラ金融政策等ノ上ニ於テモ、矢張平價切下ト云フコトヲ頭ニ置イテ、サウシテ今迄ト少シ違ッタヤリ方ヲシテ貫ヒタイト思フノデアリマス、實際爲替相場ガ下ッテ、輸出入商品ハ騰貴スル、國內商品ガ實際ニソレニ伴ハナイ、餘リ違フ酷クナル、殊ニ金買入ヲヤリ、其金買入ガ段々時價ニ近付ク、サウシテ對外的情勢カラ、其時價ガ上ッテ行クト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、一層國際商品ト國內商品トノ相場ノ喰ヒ違フ酷クナル虞ガアル、米ナドノ上ラナイコトモ一ツノ原因デアリマセウガ、國際商品ニ致シマシテモ、生絲ナドニ付テハ、餘程平價切下ト云フコトヲ頭ニ持ッテヤルノトヤラスノトデ大分違ッテ來ル、爲替相場ガ平價切下ト云フコトヲ豫想シテ居レバー——抑ヘルト云フ譯デハアリマセウガ、之ヲ或程度ニ喰止メルコトガ出來マセウ、ソレヲ豫想シナイト場合ニ依ッテハ、私ハ今ヨリズツト爲替相場ノ上ル虞ガアルト思フノデアリマス、三十弗ノモノガ、場合ニ依ッテハ亞米利加ノヤリ方ニ依ッテハ、モット上ガルトガアルノデヤナイカ、サウシテ生絲ノ相場、繭ノ相場ニ直グ響イテ來ルト云フヤウナコトモアリマスルカラ、矢張平價切下ト云フコ

トヲ頭ニスツカリ置イテ、總テノ政策ヲ講ズル必要ガアルヤウニ考ヘマス

尙最後ニ、亞米利加ノ切下ノ結果ト致シテ、先刻一寸御話ガアリマシタガ、特ニ津島君ガ財務官トシテノ十分御觀察御研究ノ結果ヲ承リタイノデアリマス、歐羅巴大陸ノ方果シテ實際ドウナルカ、金本位ノ維持ガ本當ニ出來ルカドウカ、ソレカラ英吉利ガ切下ナシニ爲替調節ダケデヤリ通セルカドウカ、ソレガ日本ノ方ニ大分ナ關係ガアリマスルカラ、其點ニ付キマシテ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○津島政府委員 六條ノ規定ニ付キマシ

テ、此法律全體ガ平價切下ヲスルト云フコトヲ、明瞭ニ現シテ居ルト云フ御解釋デアリマスガ、是ハサウ御解釋ニナルコトハ無理カラヌコトト思ヒマス、併シ規定ノ本旨ト致シマシテハ、若シ他日平價ノ切下ヲ行フト云フヤウナコトガアツテ、此持ッテ居ル金ノ評價替ヲシタ場合ニ、生ズルコトアルベキ利益ニ付テ、ドウスルカト云フコトノ目的ダケヲ書イタノデアリマス、デアアルカラ此法案カラ見マシテ、平價切下ヲシナケレバ、此六條ノ適用ハナイト云フコトニナルノデアリマス、段々御話ヲ伺ッテ居ルト、此法案ガ平價切下ヲ聲明スル爲ノ法案デア

ルカノ如キ御話デアリマスガ、サウ云フ意味デハナイノデアリマシテ、ソコニ多少考ヘ方ノ違ヒガアルヤウデアリマスケレドモ、ソコハ微妙ナ點デアリマスカラ、誤解ノナイヤウニ願ッテ置キマス、ソレカラ只今

ノ最後ノ御話ノ點、即チ亞米利加ノ最近ノ平價切下ニ依ッテ、英國並ニ金本位國ガ、將來爲替政策其他ニ於テ、ドウ云フ影響ヲ受ケ、又英國ガ平價切下ヲヤラナイデ、爲替政策デ以テヤッテ行ケルカ、斯ウ云フ御質問デアッタト思フノデアリマス、是ハ私個人ト致シマシテハ、色々自分ノ考モ觀察モ有ッテ居ルノデアリマスガ、此機會ニ此詳細ニ互ッテ御説明スルノガ、果シテ適當ナ時期、場所デアアルカト云フコトニ付テ聊カ疑ヲ懷ク者デアリマス、併ナガラ是ダケハ申上ゲテ宜イデアラウト思フノデアリマス、私ガ見マシタ英國ノ金本位政策ト云フモノハ、再ビ磅ヲ從來ノ「トロイオンス」三磅十七志十片ノ純分比價ニ於テ、舊平價ト申シマスカ、現在平價ト申シマスカ、サウ云フモノニ同復シナイト云フ、是ダケノ事トハ申上ゲテ置キマス、併シ結局平價ノ切下ト云フコトガ起ルト云フコトハ、想像シ得ラレルノデアリマス、是ハ英國ノ輿論デアリ、政府當局モ其意嚮ノヤウデアリマシテ、國際經濟

會議其他ノ國際會議ニ私モ參加シマシタガ、其會合ノ席デ當局者ハサウ申シテ居リマス、而シテ其時期ト程度如何ハ今日ハ決メラナイ、是ガ英國ノ一貫シタル今日ノ通貨政策デアリ、又將來ノ通貨本位ノ再建ニ對スル方針デアリマス、而シテ亞米利加ガ最近ニ平價切下ヲヤリマシタコトニ付テ、然ラバドウ云フ政策ヲ執ルカ、アレヲ標準ニシテ、「パリティーレベル」ヲ決メルカト云フト、直ニ決メラレナイト云フコトヲハッキリ言ッテ居ル、而シテ今日ノ状態カラ、世界ノ通貨問題全體ヲ考ヘマスト、大體「キ一ポジション」鍵ヲ握ッテ居ル國ガアリマシテ、亞米利加ガ第一サウデアリマス、亞米利加ハ今日ハ四割〇九六ト云フ程度ノ切下ヲ致シマシタガ、尙ホ「マーヂン」ハ最高五割デアルカラ、約一割、是ノ程度ニ何時デモ變更スルコトガアルト云フコトヲ、布告ニ書イテアリマスカラ、是モ最終的「スタビリゼーション」通貨安定ヲヤッタト云フコトハ斷言出來ナイ状態ニアル

而シテ英國ハ先程申シマシタヤウニ「レベ・パリティー」ト云フモノハ、將來色々ナ情勢ヲ考慮シテ、是ハ亞米利加ノ關係ガ主ナモノト思ヒマスガ、ソレニ依ッテ決メテ行キマスカラ、是モ動イテ行クト云フ状態

ニ居ル、唯金貨國ガ一定ノ「レベル」ヲ持ッテ居ル、此金貨國ノ「レベル」ハ相當重要ナ「ポジション」ヲ持ッテ居ルガ、是モドウナルカト云フコトハムヅカシイ問題デ、斷定出來マセヌガ、兎ニ角不安ナ状態ニアルト云フコトハ何人モ認メテ居ル、而シテ獨逸ガ「キ一ポジション」ヲ持ッテ居ルト云フノハ爲替管理、貿易管理ヲ非常ニ嚴重ニシテ、サウシテヤット國際收支ノ均衡ヲ保チ、外債ノ元利拂ニ對シテハ、支拂ヲ猶豫シテ馬克ヲ維持シテ居ル、之ニ似タ國ハ歐羅巴ニハ澤山アル、斯ウ云フ四ツノ形ガ各異、タ形ニ於テ動イテ居ル時ニ於テ、離レテ圓ト云フモノガアル、ダカラ圓ヲ今切下ヲシナケレバナラヌトカ、ドウ云フコトヲヤラナケレバナラヌト云フコトハ、時期尙早デアルト思ヒマス、此四ツノ「ポジション」ヲドウ動クカ徐ニ見テ、將來ノ對策ヲ考ヘナケレバナラス、サウ考ヘルノガ今日デハ一番良イ考ヘ方デハナイカト見テ居リマス、是ハ全然私ノ私見デアリマシテ、此法案ノ説明ヲスベキ政府委員トシテ、申上ゲテ居ルノデハアリマセヌカラ、其積リデ御聽キヲ願ヒタイト思ヒマス

○長島委員 私ノ質問ハ是デ打切りマス

○野中委員 今ノ長島先輩ノ御意見ニ關聯

シテ、御質問申上ゲマスガ、今長島サント津島政府委員トノ御話ヲ承ッテ居リマスルト、ドウモ私共ハ今長島サンノ言ハレル通り、此法案ハ新平價切下ト云フモノヲ前提トシテヤッテ居ルヤウニ思フ、而モ其新平價切下ガ、現在ノ爲替相場デアアル三十弗前後ヲ、モウ少シ下ヲ指シテ、平價切下ヲシヨウト云フ意味デ出來タノデハナイカト思ヒマス、ソレハ法文ノ全體カラ考ヘテ見テモサウ云フ風ニ思ハレル、今長島サンノ言ハレル通り、第六條ニ「日本銀行ハ本法ニ依リ買入レ保有スル金ニ付利益ヲ生ジタルトキハ」トアリマスガ、買入レテ損失ヲ生ジタルトキハト云フコトハアリマセヌ、サウスルト利益ノミヲ前提トシテ居ルトスレバ、現在ノ爲替相場ヨリモ下デ平價切下ヲスル、隨テソコニ日本銀行ニ利益ガ生ズル、其利益ニ相當スル金額ヲ大藏大臣ガ政府ニ儲ケルト云フ意味合ニシカ取レマセヌ

モウ一ツ是ハ損失補償デアイト云フコトデアリマスガ、損失補償ハ自然ニ起ッテ來マス、是ハ何故起ルカト言ヘバ、斯ウ云フコトガ又アリ得ルト思ヒマス、今政府ガ金ヲ十二圓デ買フ、ソレガ將來ハ倫敦ノ金塊相場、或ハ日本ノ爲替相場ノ關係カラ見テ、日本ノ爲替相場ノ上ツタ結果トシテ、金ノ地金ノ價

値ハ或ハ九圓ニ落チルカモ知レナイ、或ハ八圓ニ落チルカモ知レナイ、是ハ爲替相場ノ變動デアルカラ、ナイトハ言ヘナイ、ソレハ豫定シテ置カナケレバナラヌト考ヘマス、サウ云フ場合ニ政府ガ金ヲ外國ヘ拂フ——是ハ通商關係デアアリマセヌ、通商關係デ爲替相場ガ上リマシタ時ニ於テハ、海外ニ金ヲ支拂ラスルト云フコトハアリマセヌガ、外ノ條件ガ出テ來ル、例ヘバ本會議デ私ガ一寸話ヲシタノデアリマスガ、三十五年ノ時ニドシナ事ガ起ラナイトモ限ラヌ、サウ云フ時ニハ必ズ金ヲ持ッテ行カナケレバナラヌガ、其金ヲ持ッテ行ク時ニ、爲替相場ガ上ッテ居ッテ——戰爭ノ時ニ爲替相場ガ上ルコトハアリマセヌガ、ナイトモ限リマセヌ、サウスルト金ノ地金ノ價值ガ九圓ニ落チタトスレバ、三圓ト云フモノハドウシテモ政府ハ補償シナケレバナラヌト考ヘマス、現實ニ於テハ損失トシテハ現レテ居リマセヌガ、併シ日本銀行ガ買入レタ時ハ十二圓デアリ、之ヲ政府ノ方ニ移管スル場合ニ於テハ九圓デアルカラ、ドウシテモソコニ三圓ト云フ差ガ出來マス、デアリマスカラ其差ト云フモノハ、結局政府ガ損失ヲ補償スルト云フ風ナ建前ヲ有タナケレバ、日本銀行ハ之ニ依ッテ非常ナ缺損ヲシナイ

カト云フコトガ考ヘラレル、之ニ對シテ一寸御意見ヲ伺ヒマシテ、更ニ次ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○津島政府委員

只今ノ御質問ノ第一點ハ、第六條ニ規定スル所ノ、詰リ「利益ヲ生ジタルトキハ」ト云フ言葉ガアルガ、損失ヲ生ジタルトキハト云フ言葉ガナイ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、是ハ損失ヲ生ズルコトハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、何トナレバ日本銀行ガ金ヲ買入レマシテ——日本銀行ト致シマシテ八十圓デ買ハウガ九圓デアリマス、隨テ將來日本ノ貨幣法ヲ改正致シマシテ、今ノ平價ヨリハマダ金ノ純分ヲ多クシタ場合ニハ、是ハ損失ガ起リマスガ、現行貨幣法ノ下ニ還ツタ場合ニハ、損失ハ起ラナイモノデアリマスカラ、本法トシテハ日本銀行ノ損失ト云フモノハ、全然豫見出來ナイノデアリマス、隨テ損失ノ場合ニハドウスルカト云フ規定ハ設ケナイノデアリマス、是ガ第一デアリマス、ソレカラ第二ハ本法ハ——先程ノ説明ガ或ハ不完全デアツタカト思ヒマスケレドモ、此差額補填ト云フモノハ、即チ損失補償ト云フコトデハナイカ、現ニ斯ウ云フ損失ガ生ズル場合ニハ、補償スル形ニナルヂヤナイカ、斯ウ

云フヤウナ御質問デアツタト思ヒマス、成程今御説ノヤウニ、買入レマシタ金ノ價格ガ、他日ノヲ處分シ、又ハ評價替ヲ致シマシタ場合ニ、買入價格トノ間ニ差額ガ起ツタ場合ニハ、明ニ全體ノ計算カラ申シマスト、ソコニ損失ト云フモノガ起ルノデアリマス、其意味ニ於テハ將來此評價替ノ幾ラニナルカト云フコトニ依ッテ、全體ノ計算ニ於テ、幾ラカ茲ニ損失ガアル場合ガ無イトハ申シマセヌ、私ノ先程申シマシタ損失補償デナクシテ、差額補填ノ趣旨デアルト云フノハ、サウ云フ意味デ言ツタノデハナイ

ノデアリマシテ、長島サンカラ、國家ハ幾ラ高ク買ッテモ宜インダ、政府ハ一億圓ト云フモノハ投出スノデアルカラ、幾ラ高ク買ッテモ宜インヂヤナイカト云フヤウナ、金買入價格ノ問題ニ關聯シテノ御説明ガアリマシタカラ、私ハサウデハナイ、此一億圓ト云フモノハ、元々是ハ買入價格ヲ適正ニ決メテ、サウシテ差額ノ補填ト云フ效用ヲシテ、評價益ガ生ジタ場合ニ於テハ、ソレガ回收出來ルヤウナ方法ニ、相當考慮ヲ入レテ買入價格ト云フモノヲ決メナケレバナラヌ、其意味ニ於テ損失補償ト云フモノヲスルカラ高ク買ッテモ宜インダ、斯ウ云フ意味デハナイ、斯ウ申上ゲタノデアリマス、其

點ハドウゾ一ツ誤解ノ無イヤウニ、御願ヒシタイト思フノデアリマス

○野中委員

損失補償ト云フ言葉ハ或ハ悪ウゴザイマセウ、日本銀行ガ損失スル譯デハアリマセヌガ、併シ政府ガ損失スルト云フコトハ、時ニ依ッテアリ得ル現象デアルト思ヒマス、此場合ニ於テハ矢張此條文ノ中ニ斯ウ云フヤウナモノヲ入レルニアラズンバ、一般會計ニ於テ損失ヲ補填スルト云フコトニナルノデアリマスカ、ソレヲ一ツ御伺ヒ致シマス

○津島政府委員

此買入金ノ規定ガ第四條ニゴザイマシテ、借入金證書ヲ交付スル、是ハ政府ノ債務デゴザイマス、而シテ之ヲ返シマス方法トシテ第七條ガアルノデアリマシテ、第七條ノ規定ニ依リマスト云フト、第四條第一項ノ政府ノ債務ヲ何時返スカト云フコトガ書イテアリマシテ、第五條第二項及前條ノ納付金ノ納付ノトキニ之ヲ償還スルノデアル、而シテ償還ハ何ノ金デ負擔シテヤルカト申シマスト、特別ノ規定ガアリマセヌカラ、是ハ一般會計ニ於テ償還ノ義務ガアルモノトナルノデアリマス、併ナガラ一方納付金ハ是亦一般會計ニ入りマスカラ、其納付ヲ致シマス時ニ償還スルコト云フ趣旨デ、納付金ガ無ケレバ其年度ニ於テ其時ヲ同ジウシテ償還ヲシタイト云フ趣旨デアリマス、一般ノ債務ト違ッテ、納付金ガアツテ後デ償還スルト云フコトハ、財政計畫ノ上デハ成ルベク避ケタイト云フ趣旨ガ、第七條ニアルノデアリマス

○野中委員

ソレハサウデアラウト考ヘマス、今津島政府委員ノ御言葉ニ依リマスト、即チ將來ニ於テ損失ガ或ハアルカ知レヌ、アル時ニ於テハ他ノ方法ニ於テヤルト云フ御趣旨デアリマスガ、此前ノ長島委員ノ一億圓ノ査定ニ付テノ御質問ニ對シテ、此一億圓ト云フモノハ、日本デ產出シタ金ノ一年半、或ハ二年位ハ此一億圓ノ限度デ以テ十分デアラウト云フ、政府委員ノ御言葉デスガ、私ハ是モ矢張長島サント同ジヤウニ、幾ラカ上ゲタラ宜イデハナイカト思フ、ソレハ何故カト申シマスト、通常議會ト云フモノハ來年度ニ開カレルトハ限ッテ居リマセヌ、サウシマストレバ來年度ニ於テ解散ガアルト云フコトヲ前提トシマスレバ、臨時議會ノ召集ト云フモノハ五月ニナルカ、六月ニナルカ、或ハ次ノ年度ニ入ルカモ分リマセヌ、サウスルト來年度ノ解散ヲ豫想スル場合ニ於テハ、二箇年ト云フコトヲ大體見ナケレバナラヌ、臨時議會ガ必ズ開カレル譯デハアリマセヌカラ、特別ニ或

ハ農村問題、或ハ中小商工業者ノ問題デ、臨時議會ガ開カレルカモ知レマセヌガ、ソレハ豫見スルコトガ出來マセヌ、同時ニ斯ウ云フ特別ノ問題ニ對シテ、臨時議會ガ開カレルト云フコトハ豫定出來ナイト思ヒマス、サウ云フ風ナコトカラ考ヘマスレバ幾分餘裕ヲ取テ置イテ、何モ一億ト云フ限度ハ、ソレ程政府ガ固執スベキモノデナイト考ヘマス、是ハ幾ラカ増額シタラドウカト

○津島政府委員

政府ハ一億圓デ十分デアッテ、是レ以上増額ノ必要ヲ認メテナイト云フノデアリマスルガ、只今野中サンノ仰セニナッタヤウナ場合ラ色々考ヘマスト云フト、ソレハ萬一斯ウ云フ場合ハ斯ウデアルト云フコトデ、總テノ法律ニ付テサウ云フ餘裕ヲ以テ書クト云フコトニナリマスト、議會ハ來年モ無インダ、其次ハドウダト云フコトデ、各法律案ヲ總テノ場合ニ適合スルヤウニ書クト云フコトハ、中々困難ナコトデハナイカト思フノデアリマス、デアリマスカラ先ヅ一年半、二年位ノ間實行シ得ルダケノ金額ヲ書イテ置クト云フコトハ、今日ノ狀態ニ於テハ、最モ適當ナコトデハナイカト考ヘルノデアリマス

○野中委員

ソレハ豫定スルト云フコトガ間違ッテ居ルトハ申上ゲマセヌガ、併シ豫定シテモ差支ナイコトデゴザイマス、ソレデスカラ此一億圓ノ限度ニ對シテ、餘リ強ク政府ガ御支持ナサルコトハドウカト考ヘマスカラ、此點ハ政府ノ御考慮ヲ願ッテ置キマス、ソレカラ先程長島サンノ御言葉ニモアリマシタガ、ドウモ日本銀行ノ金買入法ト云フモノハ、金解禁ヲ前提トシタモノト私共見ラレルノデアリマス、是ハ高橋サンハ、長島サンノ言ハレタ通り、金平價切下金解禁ト云フコトハ御厭デアラウ、併シ世界ノ情勢ヲ私共ガ考ヘテ見マスノニ、現在ノ爲替相場ノ變動、或ハ金ノ買入競争、又金ノ買入ニ對スル價格ノ競争ガ眼ノ前ニ起ッテ居ル、此二ツノ競争ト云フモノガ、是カラ先モ或ハ強クナルノデアナイカト考ヘラレマスカ、サウナッタ時ニ於テ、世界ハ金ノ買入、或ハ爲替相場ノ變動ト云フモノニ對シテ、迎モ堪ヘ切レナクナル、今日英國ニ於キマシテ日英會商ガ破綻サレマシタガ、其結果ニ於テ英國人ナドノ主張致シテ居リマスノハ、日本ノ海外進出ト云フモノハ、爲替相場ガ安イカラ進出シタト云フコトヲ言ッテ居ル、隨テ英國或ハ亞米利加ノ財務當局トスルナラバ、日本ノ斯様ナ海外進出ヲ防衛スル手段、詰リ自己ノ財界ヲ保護スルト云

フ意味カラ、日本ノ海外進出ヲ防衛スル手段ト云フコトモ是カラ考ヘラルベキ、豫定サルベキコトデアラウト考ヘル、隨テソレガ國際經濟會議ト云フヤウナ形式ニ依ッテ、爲替相場ノ安定、即チ各國貨幣ノ安定ト云フコトガ論議サレル、ソレデ政府ハ豫メサウ云フ場合ヲ豫想シテ、斯ウ云フ法律案ヲ出シタノデアナイカト考ヘマスガ、モウ一遍此點ニ付テノ御意見ヲ、承ッテ見タイト思ヒマス

○津島政府委員

本法制定ノ趣旨目的ハ、度々申上ゲデアアルノデアリマス、而シテ國際通商ノ關係ニ於テ、我國トシテ之ニ對シテ對抗策ヲ講ズルト云フヤウナ點ニ付テハ、目下御承知ノ如ク、關稅其他ノ權能ヲ得ル法律案ガ審議ニナッテ居リマスガ、ソレト是トハ全然關係ガナイト申上ゲテ宜イト思フノデアリマス、是ハ金ノ國內保有ヲ充實スルト云フ目的デ、斯ウ云フ制度ヲ新シク立テヨウト云フノデアリマシテ、唯間接的ニハ是ハ我國ノ通貨準備ト云フモノヲ、充實スルト云フ結果カラ、經濟上ニ好イ影響ガアルト云フコトハ、自然通商ノ促進助長ニ資スルト云フコトハ、申上ゲル迄モナイコトデアリマス

○野中委員

ソレハドウモ私共入イッテ居ルト思フ、金解禁ヲ前提トスルニ非ズンバ……政府ハサウ云フ意向デハナイノデゴザイマセウカ、ドウモサウ云フ莫ガスル、併シ其點ハ政府委員ニ對スル質問ハ此程度デ打切りマシテ、後ハ大臣ノオ出デヲ待ッテ質問スルコトニ致シマス

○金井委員長代理

今ノ問題ニ關聯シテ、門田君ニ發言ヲ許シマス

○門田委員

先程長島君ノ質問ノ時ニ、海外カラ金ヲ買ハナイト云フ御話デアリマシタガ、是ハ滿洲カラモ御買ヒニナラナイ御積リデアリマセウカ、若シ滿洲カラ御買ニナルト云フコトデアアルナラバ、日本ノ滿洲國家ナリ、或ハ滿洲國人ナリニ投資シテアルモノヲ、株券ヲ持タストカ、或ハ其他個人デ投資致シテアルモノヲ、肩替リスル方法モアラウト考ヘマスガ、此點ハ如何デアリマスカ

○津島政府委員

海外ト申シマシタノハ必シモ滿洲ヲ含ンデ居ッタカドウカト云フコトハ、其處マデ正確ナル頭デ申上ゲタノデアナイノデアリマスガ、併シ本法ノ實施ニ當リマシテ、滿洲ヲ含ンデ居ルト云フコトニハ、吾々解釋シテ居ラナイノデ、滿洲ハ除外シテ居ルノデアリマス、併ナガラ法律ノ規定カラ申シマスト、滿洲ヲ含メテ買上ラ

スルコトハ出來ルノデアリマスガ、實行上ハ差當リ滿洲ノ金ハ本法ニ依テ買上ゲナイ、斯ウナッテ居リマス、御承知ノ如ク滿洲國政府デハ、滿洲ノ産金ヲ今日買上ゲテ居リマス、是ハ將來共續ケルモノト吾々ハ了解致シテ居ルノデアリマス、併シ差當リノ所ハ、我國トシテ此法律ニ依ッテ滿洲ノ金ヲ買上ゲナクテモ、何等滿洲ノ産金業者ニ不便ハナイト考ヘテ居リマス

○門田委員 重ネテ御尋致シマスガ、買入値段ハ若シ是ガ時價ト懸離レテ居リマスト、自然法ヲ潛ッテ密賣ガ行ハレルト思フノデアリマスガ、現在ニ於テ此法ヲ潛ッテ密賣シテ居ルモノガ、ドレ位アルト云フ御見込デアるか、同時ニ買入價格ハ凡ソ時價ヲ標準トシタイ御意思デアリマセウカ

○津島政府委員 買入價格ヲ時價ニ據ルカドウカト云フ問題ハ、先程モ大分申上ゲタノデアリマシテ、又之ニ付テハ昨日モ大藏大臣トノ質問應答ガアッタノデゴザイマスカラ、重ネテ申上ゲナクテモ、政府トシテノ考ハ御諒承ニナッテ居ルコト、想像スルノデゴザイマス、ソレカラ政府ガ金ノ買入相場ヲ、昨年以來市價ヨリモ低クシテ居タ爲ニ、密輸出ガアッタラウ、而シテ其量ハドノ位デアッタカト云フ御質問ダト承ッタノ

デアリマスガ、ドウモ此密輸出ト云フモノガ、ドノ程度ニ行ハレテ居ルカト云フコトニ付テハ、所謂密輸出デアリマスカラ、正確ナル統計ト云フヤウナ物ハナイノデゴザイマス、併ナガラ税關其他檢察當局ニ於テ、法規ニ反スルコトニ付テハ十分取締ラシテ居ルノデアリマス、併シ其取締ヲ潛ッテ、更ニ密輸出ヲ致ス者ガアルト致シマシテ、ソレガドノ位ノ金額ニ上ッテ居ルカト云フヤウナコトハ、正確ナ御報告ヲ申上ゲル材料ヲ持ッテ居ナイノデゴザイマス

○門田委員 昨日川崎委員ノ御尋ニ、我國ノ産金ガ餘リ増加致シテ居ナイヤウナ御話ガアリマシタガ、私ハ鑛山局デ調べテ見マスト、今カラ十年前前大正十三年ガ七百六十六萬疋、昭和八年ガ一千三百六十四萬二千疋、斯ウ云フヤウニ大分殖エテ居リマスガ、併シ我國ノ殖エテ居リマスルノ朝鮮ト比較致シマスト、朝鮮ノ大正十三年ト昭和七年トヲ比較致シマスト、約十三割程殖エテ居ルノデゴザイマス、聽ク所ニ依リマスト、朝鮮デハ「ボーリング」ニ對シテ政府ガ補助ヲ與ヘラレルト云フコトデアリマス、政府ニ於テハ今後「ボーリング」ニ對シテハ、補助ヲ與ヘラレルヤウナ御考ガアルデアリマセウカ、ドウデセウカ

○津島政府委員 其事ハ商工省ノ政府委員カラ御説明申上ゲタ方ガ適當デアラウト思ヒマスカラ差控ヘテ置キマス

○松尾委員 私人質問致シタイコトハ既ニ前質問者ニ依ッテ盡キテ居リマスガ、第五條ノ「海外拂其ノ他特別ノ必要アリ」ト云フ場合ノ緊急措置ト云フノハ、爲替調節ノ爲ニ本條ヲ適用スルモノデハナイト云フコトヲ今政府委員ガ仰セラレマシタ、即チ此法案ニ依ッテ爲替調節ノ爲ニハ金ノ現送ヲシナイト云フコトヲ原則ニシテ居ルト云フコトニ伺ハレマス、ソレハ今後爲替調節ニハ現送スル必要ガ全然ナイ事情ニナッタノデアリマスガ、即チサウ云フ必要ガアッテモ見殺シニシテト云フ譯デハナイガ、爲替ノ暴落ヲ防グ方法ハ他ニアルト云フノデゴザイマス

○津島政府委員 此第五條ノ「海外拂其ノ他特別ノ必要アリ」ト認ムルトキ「ト云フ其特別ノ必要」ト云フ意味ニ付キマシテ、先程私カラ説明ヲ申上ゲマシタコトガ、幾ラカ違ッタヤウナ御解釋ヲ與ヘラレテ居ルヤウニ只今拜承シタノデアリマス、政府ハ絶對ニ爲替調節ノ爲ニ送金スルコトハシナイノダト云フコトヲ五條ニ書イタト云フ趣旨ニハ申上ゲナカッタ積リデアリマス、特別ノ必

要アリト云フノハ何デアるかト言ヘバ、今日ニ於テハ何等是ダト云フテ具體的ニ指摘スル所ノ其特別ナル事柄ハナイ、併ナガラ將來ニ於テハ色々内外ノ情勢ニ應ジテ政府トシテ斯ウ云フ場合ニ必要デアルト考ヘル場合ガ出來ルノデアラウ、サウ云フ場合ノ豫備的ニ此五條ガ出來テ居ルノデアル、斯ウ云フ趣旨ヲ申上ゲタノデアリマス、サウスレバ爲替調節ノ爲ニ是ノ適用ガアルカナイカト仰シヤレルト、ソレハ絶對ニナイトハ申上ゲ兼ネル、斯ウ云フ意味ノコトヲ私ハ答ヘタノデアリマス、併ナガラ本條ガ爲替調節ヲ目的トシテ之ヲ現送スル爲ニ、國庫内ニ金ノ振替ルヤルカト云フコトニナレバ、サウ云フ目標ヲ以テ出來タモノデハナイ、此説明ハ非常ニ微妙ナ違ガアリマスガ、サウ云フ趣旨ノコトヲ申上ゲタト自分デハ記憶シテ居ルノデアリマス、其點非常ニ微妙デアリマスケレドモ、幾ラカ頭ノ置キ所ガ少シ違ヒハシナイカト思ヒマスカラ、其點ヲ申上ゲテ置キマス

○松尾委員 其微妙ナル點モ能ク分ッテ居リマスガ、サウシマスト今日マデ現送ノ爲ニ政府ハ金ヲ買入レテ居、タノデスガ、今後ハ現送ノ目的デナシニ保有スル目的デアルトスルト、今ノ現送ヲ止メテ保有ニナル

ト云フ其著シイ變化が生ジテ居ルヤウニ考ヘルノデスガ、ソコデ爲替調節ノ爲ニ現送ヲスル必要ガナクナッテ來タ、所謂貿易關係ガ良クナッタトカ或ハ其他ノ狀況ニ依ッテ現送ノ必要ガナクナッテ居ルト御認メニナッテ居ラレマスガ、又サウ云フ場合ニ爲替ノ調節ニハ別ノ方法ヲ用キラレルノデアリマスカ、或ハ又爲替ニ今後變化ガ起ッタ場合ニモ、政府ハ餘リ調節ニハ出動シナイ、現送其他ノ方法ハ出動シナイト云フ風ニ御考ニナルノカ、サウ云フ點ニ付テ伺ヘレバ伺ッテ置キタイノデアリマス

○津島政府委員 從來ハ内地ノ金ヲ買入レマシタモノヲ海外ニ持ッテ行ッタガ、今度ハ制度ガ變テ金ヲ國內ニ保有スルト云フコトニナッタ、ソレハ國際收支ノ關係上サウ云フ必要ガナクナッタカラサウシタノカト云フ御質問ガ第一ニナッテ居ルヤウデアリマス、仰セノ通りデアリマシテ、一昨年ノ狀態即チ政府ガ買上制度ヲ始メマシタ昭和七年當時ト、一昨年ト比較ベマシテ、又將來ノコトヲ考ヘマスト如何ナル變化ガアルカハ分リマセヌガ、唯過去ノコトダケニ付テ言ヘバ國際貸借ノ狀況ハ餘程良クナッテ居リマス、例ヘバ昭和六年ノ狀態ヲ見マシテモ貿易外ノ收支ニ於テハ一億四千九百萬

圓ト云フ支拂超過ニナッテ居リマス、貿易入超ハ一億四千百萬圓デアリマスカラ、昭和六年邊リヲ見マスト二億九千萬圓ノ支拂超過ト云フコトニナッテ居ル、昭和七年ニ於テモ是ハ稍改善ノ跡ガアルノデアリマスカ、併ナガラ政府ト致シマシテハ爲替相場ノ下落等ニ依ッテ海外拂ト云フモノハ非常ニ増シタノデアリマス、サウシテ政府ノ元利拂ニ付テ斯ノ如キ資金ヲ得ルト云フコトニ付テハ、當時ノ爲替ノ相當ノ動搖、投機取引ト云フモノヲ助長サレタ事態ヲ緩和シタト云フコトニ與ッテ力ガアッタノデアリマス、而シテ昭和八年ノ國際收支ノ關係ハ今日ハマダ正確ナ統計ハ出來上ッテ居リマセヌ、大體諸般ノ事情ヲ考慮シテ、此位デアラウト云フ見込ダケニ過ギナイノデアリマスカ、貿易外ノ經常收入ニ於テハ、七年度ヨリ増加シタモノト吾々ハ計算シテ居リマス、而シテ臨時ノ支拂ニ於テハ外國爲替管理法ノ實施以來ハ資本ノ移動、逃避ヲ取締ッタ關係カラ、貿易外ノ臨時收入ニ於テ、非常ナ支拂勘定ガ起ルコトヲ抑制サレタト云フコトハ事實デアリマス、之ヲ全體合セマスト經常收支ハ受取高ガ増シ、臨時收支ニ於テハ支拂超過ノ金額ガ減ッテ來タト云フコトハ事實デアリマス、此情勢ガ將來續イテ參レ

ハ結構デアリマスカ、少クトモ現狀ニ於テハ内地ノ金貨ヲ現送スルコトニ依ッテ、海外拂ヲスル必要ガアルカト云フコトヲ見ルトソレハナイト思ヒマス、爲替ニ影響ヲ與ヘズシテ其決濟ガ出來ラウト政府ハ考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ此法案ヲ作ルベク最モ好イ時機ニ向ッタト見テ居ルノデアリマス、サウ云フコトヲ申上ゲテ宜イト思フノデアリマス、而シテ將來爲替ガ下ツタ場合ニ、此金ヲ以テ發動シテ爲替調節ヲヤルカト云フコトガ最後ノ御質問デアッタカト思ヒマスカ、此點ニ付テハ未ダ政府トシテ其金ヲ以テ爲替調節ノ資金ニスルト云フコトニ付テハ考ヘタコトハゴザイマセヌ、大藏大臣モ爲替調節平衡資金ト云フヤウナモノヲ置クト云フコトニ付テ、本法トノ關係如何ト云フ御質問カ本會議ニ於テアリマシタ時ニ、是ハ全然關係ガナイト云フコトヲ申上ゲタノデアリマスカラ、大藏大臣ノ御意向ハ其處ニアルト私共ハ考ヘテ居ルノデゴザイマス

○松尾委員 昨年來カラ此質問ニ對スル御答及ビ此法案ノ全體ヲ通ジテ見マスト、爲替ノ調節ノ爲ニ、此法案ニ依ッテ貯藏シタル金ヲ出動セシメルヤウナコトハナイト云フ御考デアリ、又爲替ノ平衡資金ヲ置ク考

ハ持ッテ居ラヌト言ハレマス、併シ我國ノ現在ノ貿易狀態ヲ見マスト云フト、段々關稅ノ戰爭ガ強クナッテ參リマシテ、貿易ハ惡化シテ行クノデハナイカト云フコトヲ考ヘマスカ、サウ致シマスト、此上マダ爲替ノ暴落ガ豫想セラレルヤウニ私ハ思フ、ソコデ爲替ガ段々下ッテ參リマスト——私ハ少シ農村關係ノ物價ノ方面ニ付テ御尋シタイノデスガ、爲替ガ下ッテ參ルト、國際關係的ナ商品ニハ直接影響致シマスカ、農村ノ産物ニハ是ガ影響ハ出テ來マセヌ、ソコニ非常ニ農村ノ今日ノ疲弊ノ原因ガアルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、此國內ノ物價ヲ都合好ク平均セシメタナラバ、農村ノ今日ノ此疲弊困憊ヲ匡救スルノハ最善ノ方法デアラウト私ハ考ヘテ居ルノデスガ、爲替ニ關係アル國際商品ハ、ソレガ爲ニ或ハ輸出ガ盛ニナッテ良イ影響ヲ受ケテ居ルノデスガ、併ナガラ農産物ノ物價ダケハ爲替ノ影響ヲ受ケテ居リマセヌ、之ニ付テ何カ——是ハ通貨政策ニ入ルノデスガ、大體此法案ノ目的ハ、必シモ將來金本位復活即チ通貨ノ切下ヲ目標トシテ居ルノデハナイト言ハレマスケレドモ、修正金本位制ノ準備工作デアルト私ハ見マスカラ、ソコデ少シ何カ、爲替ガマダ此上暴落スレバ、國際商

品ニ關係ガアルト同様ニ、ヤハリ農村ノ産物物價ニモ相當均霑シテ行クト云フヤウナ方法ヲ政府ニ於テ考ヘテ居ラレルノデセウカ、其點ニ付キマシテ御考ガアレバ御聞カセテ願ヒタイト思ヒマス

○津島政府委員 只今ノ御質問ハ非常ニムヅカシイ問題デア。ルト考ヘルノデアリマス、爲替相場ガ下落シタ爲ニ國際的商品ノ物價ガ騰ッテ行ク、然ルニモ拘ラズ、農産物等ノ物價ハ其割合デ騰ラナイ、隨テ農村ハ色々ナ苦シイ位置ニ立ツ、之ニ對シテ何等カノ救済方法ガアルカ、而シテ此法律トノ關係ハドウデアアルカ、斯ウ云フ御趣旨ダト考ヘルノデアリマスガ、此爲替ノ變動ニ依リマシテ、國際的商品ガ騰リ、其割合ニ應ジテ農産物ノ物價ガ騰ラナイト云フコトハ、是ハ世界共通ノ事實ノヤウニ私ハ見テ居リマス、今日ノ亞米利加ノ最モ苦心シテ居ル所ハ、結局ソコニ歸シテ居リマシテ、亞米利加ガ平價切下ラシ、爲替ヲ下落セシメテ、サウシテ物價釣上ラ實行シテ居リマスルガ、農産物以外ノ一般ノ物品ニ對スル物價指數ハ段々騰ッテ來ルヤウニナッテ居ルヤウデアリマス、然ルニ拘ラズ農産物ニ付テハ、寧ロ昨年ノ十一月頃マデハ、逆ニ下ッテ居ルト云フヤウナコトニナッテ居リマス、

茲ニ所謂、此世界共通ノ通貨問題ニ關聯シテ、此農村救済トカ、農産物引上問題ト云フモノガ起ッテ居ルノデアリマス、此點ニ付キマシテハ、成ベク爲替ノ影響ヲ平均的ニ現ハスト云フコトガ、若シ政府ノ政策デ是ガ實行出來ルモノナラバ、是ハ餘程、今日ノ世界ノ窮境ト云フモノハ救済サレテ居ルト思フノデアリマス、此本法ノ制定ノ目的ガ其程度マデ考ヘテ居ルカト申シマスト云フト、先ヅ直接ニハ其處マデハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、今御指摘ニナリマシタ問題ハ、是ハ非常ニ大キナ問題デアリマシテ、一般ノ金融政策ノ問題、通貨政策ノ問題、サウ云フ問題ニ關聯スルノデアリマス、併シ本法ノ關スル限リハドウ云フコトデア

ルカト云フト、唯金ヲ買ッテ、兌換券ガ出ル、斯ウ云フコトダケナンデアリマス、此出タ兌換券ガ市場ニドウ響クカ、兌換銀行券ガ財界ニドウ云フ影響ヲ及ボスカト云フ問題ハ、是ハ別ニ考ヘナケレバナラヌ點デアリマスルガ、是ガ農村ノ農産物ニドウ響クカト云フコトニナリマス、本法トシテハ其處マデ考ヘテ、其運用ナリ實行ヲスル譯ニハ參ラヌノデアリマス、併シ御質問ノ點ハ非常ニ重大問題デアリマシテ、是ハ當局ニ於テモ篤ト研究シテ、成ベク物價ト云フモ

ノ、水準ガ、各種類ノ物品ニ應ジテ、普及シテ高低スルヤウニスルノガ私ハ理想的ダト思フノデアリマスガ、マア此點ニ付テハ一ツ十分研究ヲ遂ゲタイト考ヘルノデアリマス

○松尾委員 今ノ御答辯ニ依リマシテ、農産物價ニモ出來ルダケ考慮スルト言ウテ下サイマシタ點ニ付キマシテハ、ドウカ今後其御方針デ御願致シタイノデアリマス、ソコデ私ハ幸ヒ最近ニ歐米カラ御歸リニナリマシタ——殊ニ其道ノ權威者デアラレル津島理財局長ニ御尋致シタイノハ、亞米利加ガ最近金本位停止ノ状態ニ於テ、法定價ノ切下ヲ行ハレテ居リマスコトハ御承知ノ通りデアリマス、ソレハ大統領ガ其大キナ問題ヲヤリマスルノニハ、色々ノ理由カラ遣ラレタヤウデアリマスガ、主トシテヤハリ國內ノ物價ヲ水平線ノ標準ニ平均セシメルト云フコトガ目的デアッタヤウニ思フノデアリマス、サウ云フコトハ私素人デアリマシテ餘リ分リマセヌガ、サウ云フコトデアッタモノトスレバ、最近亞米利加ノ状態ガ好クナッテ居ルト云フコトヲ新聞ハ報道シテ居ルノデス、三月十四日ノ東京日日新聞ノ記事ニ、米國ノ財界ハ非常ニ見直シテ居ル、金政策ガ成功シタト云フコトヲ藏相得意ノ發

表デアルトシテ、大キク之ヲ新聞ニ掲ゲテ發表シテ居ルノデスガ、金本位停止ノ儘ニ於テ、法定價ノ切下ト云フコトハ、必ズ金ノ切下ニハ解禁ガ伴フベキモノデアルト云フコトガ原則ニナッテ居リマシテ、斯ウ云フコトハ今日マデ誰ノ口カラモ殆ド一言モ聞カナカッタノデアリマスガ、私ハ斯ウ云フ亞米利加ノ如キ方法ニ於テ、物價ガ平均セシメラレルヤウナ方法ガアレバ、大ニ攻究ラシテ貫ヒタイト考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ主トシテ亞米利加ノ財政ノ行詰リノ一時逃レノ爲ニ、金ヲ國家管理シテ、財政ノ上ニ三十億弗ノ發行力ヲ得テ、其發行

力ニ依ッテ財政ノ行詰リヲ緩和スル爲ニヤッタト云フコトニ結論ハナッテ居ルヤウデアリマスガ、併シ一面又亞米利加ハ財界ガ好轉シテ居ルト云フコトヲ新聞ガ報ジテ居リマス、吾々ハ其位ノ新聞ヨリ外ニ、亞米利加ノ事ヲ知ル機關モアリマセヌノデスガ、之ニ對シマシテハ我國ニ於キマシテハ、サウ云フコトハ絕對ニ行ハレ得ナイモノデア

道ノ權威者デアル津島局長ヨリ一ツ御説明ヲ願ヒタイノデス

○津島政府委員

只今ノ御質問ハ亞米利加ノ最近ノ通貨制度ノ變更、其經濟ニ及ボス影響、ソレノ制度ヲ日本ニ採用ヲシ、實行出來ナイカト云フ點デアツカト思ヒマスガ、亞米利加ノ經濟狀況ヲ細カク述ベルト云フコトハ、是ハ此委員會ト致シマシテハ幾ラカ御迷惑ヲ感ズルノデナイカト思ヒマス、兎ニ角昨年今頃ノコトヲ考ヘマスト、亞米利加ノ今日トハ非常ナ違ヒデアツテ、其意ニ於テハ非常ナ改善ヲ致シテ居ルノデアリマス、而シテソレニ貢獻シタノハ各種ノ施設モアリマスガ、通貨政策ニ於テモ、之ニ貢獻シテ居ル所ガ相當大キナモノガアルト云フコトハ、認メナクチャナラヌト思ヒマス、併ナガラ今ノ財界好轉ト云フ意味ハ、恐ラク非常ナ一般的ナモノデナクテ、例ヘバ農村ノ如キハ其情勢ノ改善ノ影響ヲ受ケルニハ、マダ至ッテ居ラナイト私ハ考ヘテ居リマス、併ナガラ一般ノ情勢ガ善イト云フコトハ、弗ノ價額ガ安定シテ、海外ニ流出シテ居リマシタ所ノ亞米利加ノ資本ガ内地ニ還ル、ソレ等ガ一時的ニ非常ナ刺戟ヲ與ヘルト云フ爲ニ、財界ノ改善ガ餘程顯著ニ見エル點ガアルドラウト考ヘルノデ

アリマス、細カナコトヲ申上ゲルノハ今日ハ差控ヘタイト思ヒマス、唯亞米利加ノ通貨政策ト云フモノガア、ヤツタカラ、日本ハ斯ウシタラ宜イデヤナイカト云フヤウナ點ニ付テハ、一言觸レテ置ク必要ガアルト思フノデアリマスガ、大體日本ノ財政或ハ經濟、其他國際收支ノ關係等カラ考ヘマシテ、亞米利加トハ餘程國柄ガ違ッテ居リマシテ、亞米利加ノ遣リ方ヲ其儘採用スルト云フコトニハ、ドウモ不向デヤナイカト云フ點ガ多々アルノデゴザイマス、其趣旨ヲ酌ム點ハ宜イガ、其施設ヲ眞似ルト云フコトニナリマス、餘程私ハ考ヘナケレバナラヌト、是ハ個人トシテノ考デアリマスガ、サウ考ヘルノデアリマス、殊ニ通貨政策ニヤツテ居ル如キコトハ、是ハ英國ノ如キ力ヲ以テシテモ亞米利加ノ通りニハヤレナイ、アレダケノ「エキスベリメント」ヲヤルト云フコトニハ、餘程國內ノ資源、資力、總テノ條件ガ定マラナケレバ、ア、云フ冒險ナコトハヤレナイ、又外ノ國ヲ「リード」シテ行ク力ガナケレバ、自信ガナケレバヤレナイノデアリマシテ、英國ノ如キデモ亞米利加ノヤウナ政策ヲ先ンジテヤルコトハ出來ナイ、是ハ國民性ノ違ヒモアルノデアリマスガ、サウ云フ地位ニアルノデアリマス、隨

テ吾々ハ亞米利加ガヤルコトヲ見テ、サウシテ最モ我國ニ適當デアリ、有利デアル所ノ對策ヲ講ジテ行クト云フヤウナ立場ニ、少クトモ通貨問題ニ關スル限りハ、サウ云フ立場デヤツテ行カナケレバナラヌノデハナイカト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、デアルカラアノ通り出來ルカト云フト、ドウモヤルノガ宜イカドウカト云フトノ疑問ガ、其處ニ起ッテ來ルノデアリマス、大體此程度デ一ツ御諒承ヲ願ッテ置キタイ

○松尾委員

重ネテソレデハ御尋致シマスガ、私ハ亞米利加ノ財政ノ、其政策ヲ模倣スルノガ宜イデヤナイカト云フ意見ヲ有ッテ居ルノデハゴザイマセヌ、先般本會議ニ於キマシテモ、大藏大臣ハ特ニ其點ヲ強調サレテ居ル、亞米利加ノ財政ノ遣方ヲ眞似ナイ、模倣シナイト云フコトヲ、特ニ本會議ニ於テモ、前提トシテ申サレタコトヲ私ハ覺エテ居リマス、又我國デハ、高橋大藏大臣ハ、立派ナ一ツノ財政方針ヲ有ッテ居ラレマス、是ハ實ニ堂々タルモノデアリマシテ、所謂高橋財政トシテ、一點ノ非難ナイ政策ヲ有ッテ進ンデ居ラレマスカラ、亞米利加ノ「ルウズヴェルト」大統領ノ眞似ヲシテ貫ヒタイト云フヤウナ考デアアリマセヌガ、私ハ金本位ヲ停止ノ儘ニ置イテ、法定

價ノ切下ト云フコトハ、我國ニ於テハ全然考慮シ得ラレナイモノデアルカドウカト云フコトヲ、更ニ御答ヲ願ヒタイノデス、私ハ斯ウ云フコトヲ考ヘラレナイカト思フノデス、其貨幣價值ノ法定價ノ呼聲ガ變ルト云フコトハ、今ノヤウニ農村ノ疲弊シテ居ル時ニ、農山地ノ產物ノ價ヲ高クスルノニ、一番早イ方法デハナイカト思フノデアリマス、今本議會ヲ通シマシテ、最モヤカマシク言ッテ居リマスノハ、農村ノ問題デアリマスガ、此農村ノ問題ハ何カト云フト、ヤハリ米ノ價ヲ上ゲルヤウニ、繭ノ價ヲ上ゲルヤウニト云フコトデス、是ガ爲ニ色々工作ヲ施シテ、米穀對策ノ如キハ、十億五百萬圓ト云フ大キナ金ヲ準備シテ掛ラナケレバナラヌト云フヤウナ、洵ニ實ニ困ッタ状態ニナッテ居ルノデアリマス、ソレデ斯ウ云フコトデモウ少シ、通貨政策ナドデ考究シテヤルコトガアレバ、非常ニ宜イコトダト思フ、是ハ私ハ素人デアリマシテ、細カイ意見ヲ有ッテ居ルノデアリマセヌガ、サウ云フコトヲ考ヘマスカラ、亞米利加ノヤッタア云フ方法ガ、若シ日本ニ於テモ之ヲ適用シテ、サウ云フヤウナ對策ガ行ハレ、バ、非常ニ是ハ早イ方法ダト思フノデス、サウ云フコトハドウ云フ所ニ障礙ガアルカ、又

全然行ハレナイモノデアアルカ、此點ヲ更ニ御伺致シタイノデアリマス

○津島政府委員 大分通貨問題デ根本的ノ問題ニ觸レテ來ルヤウデアリマシテ、本法案ノ審議トハ大分離レテ來ルヤウニ感ズルノデアリマス、農産物ノ價格ヲ引上ゲル方法トシテ、金本位ヲ停止ノ儘ニシテ、金本位ニ復歸シナイデモ、唯國內的ニ新平價デモ作レバ宜イデハナイカ、斯ウ云フ御意見ノヤウニ察スルノデゴザイマス、是ハ亞米利加ノ事情ニ付キマシテ、多少御明瞭デナイ點ガアルノデハナイカト私ハ伺ッタノデアリマスガ、今日ノ亞米利加デハ、新シイ平價ヲ造リマシテ、而シテ外國カラ來タ金ヲ、三十五弗、或ル一定ノ手數料ヲ引キマシテ買ヒマス、又必要ニ應ジテハ海外ニ金ヲ賣リマス、デアリマスカラ、遣方ハ違ヒマスガ、絶對自由デアリマセヌケレドモ、外國ノ中央銀行ニ金ヲ一定ノ相場デ賣ルト云フ點ニ付テハ、ヤハリ亞米利加ハ金本位ニ還ッタト言ッテモ宜イノデアリマス、唯運用ノ方法ニ付テ、金塊制度デアルトカ、多少ノ修正ハ加ヘテ居リマス、而シテ一弗ノ金ノ含ム分量ヲ引下ゲマシタガ、此引下ト云フコトハ、唯貨幣法ノ改正デアリマス、サウ云フ新シイ貨幣ヲ造ッタナラ、農産物ノ

價格ガ其割合デ引上ルト云フノデ、法定相場ヲ以テ、正札ヲ買ヘト云フヤウナ法律デハナイノデアリマス、隨テ農産物ト云フモノガ、此貨幣法ノ改正ニ於テ、其割合デ上ゲルカ上ゲナイカト云フコトハ、是ハ農産物ニ對スル需給ノ關係、生産ノ狀況、海外ニ於ケル所ノ農産物ノ價格トカ、色々ノモノニ支配サレテ居ルノデアリマス、隨テ此亞米利加ノ平價切下ハ、即チ其程度ニ於テ直チニ農産物ノ價格ガ上騰シタカト云フコトヲ考ヘテ見ルト、サウデハナイト申上ゲナケレバナラヌノデアリマス、而シテ今斯ウ云フ法律ヲ日本ニ採ッたらドウデアアルカト云フニ、亞米利加ニ於テモサウ云フ譯デアリマスシ、而シテ通貨政策、爲替ノ根本ニ手ヲ觸レテ、何カ仕事ヲシヨウト云フコトニナレバ、是ハ慎重ニ考慮シナイト、ソレニ伴フ所ノ影響ト云フモノハ、又非常ニ重大ナモノデアリマスカラ、御説ノ點ハ、御意見トシテ承ッテ置イテ、吾々モ研究致シタイト思フノデアリマスルガ、私ガ今申上ゲラウト考ヘルノデアリマス

○松尾委員 私ハ亞米利加ノ方法ガ良イカラ、ソレヲヤッテ貫ヒタイト云フ希望ヲ持ッテ居ルノデアリマセヌ、ソレハ能ク御研究下サッテ、即チ政府ニ於テ考慮シテ下サッテ、ソレハ全然價值ノナイモノデアルト云フコトヲ、御伺シタイト云フ考デゴザイマス、ソレガ必ズ良イト云フコトノ結論ヲ有ッテ居リマセヌノデ、希望トシテ申上ゲテ居ルノデアリマセヌカラ、此點誤解ノナイヤウニ御願致シタイノデアリマス

ソレカラモウツ、是ハ或ハ法案ニ直接關係ガナイカモ知レマセヌガ、少シ關聯ヲ有チマスカラ、此際承ッテ置キタイノデアリマス、是ハ本會議ニ於テモ質問ガアツカト思ヒマスガ、今銀本位ト云フコトヲ、矢張り金本位ト並行シテ行フ、即チ金銀ノ復本位制ヲ行フト云フコトモ、可ナリ亞米利加デモ言ッテ居リマス、又其他學者ノ間ニ議論ガアルヤウデスガ、之ニ對シテハ是モ將來ノ問題デアリ、又確定シタ政府ノ御方針ハ決ッテ居ラヌカモ知レマセヌガ、若シソレニ對シテ吾々ニ聽カシテ貰ヘル程度ノ御考ガアリマシタラ、此機會ニ於テ御伺ヒ致シタイノデアリマス

○津島政府委員 銀ノ問題ニ付テハ、一昨年來關係國ハ度々寄りマシテ相談シタコトガゴザイマス、亞米利加ニハ相當有力ナル金銀復本位制ノ主張者ガゴザイマシテ、今日モ尙ホ其主張ヲ貫徹スルコトニ努メテ居

リマス、併ナガラ國際通貨共通ノ本位制トシテ、金銀兩本位制、或ハ之ヲ修正シタル本位ノ制度ガ出來ルカト云フコトヲ考ヘテ見マス、先ヅ私ハ差當リハ、サウ云フコトハ實現出來ナイダラウト思フノデアリマス、殊ニ英國ノ自治領、佛蘭西、斯ウ云フヤウナ國ハ、此問題ニ對シテハ極メテ冷淡デアリマス、亞米利加ノ或ル一部デ非常ニ強ク主張スル者モアリマシタガ、今日マデノ經過ニ於テハ、極メテ冷淡ニ此銀ノ問題ヲ取扱ッテ居ルノデアリマス、併ナガラ我國ハ支那、滿洲東洋ノ方面ニ於テ、銀貨國トノ關係ガ非常ニ密接デアリマスカラ、歐羅巴諸國ト同ジヤウナ立場ニ於テ此問題ニ處シテ行クト云フコトハ、私ハ非常ニ誤ッテ居ルコトデヤナイカト考ヘルノデアリマス、銀ト云フモノニ對シテハ、餘程利害關係ガアルト云フ考ヲ持ッテ居リマス、併ナガラ今日デハドウデアアルカト云フヤウナ御質問デアレバ、先ヅ金銀兩本位制ト云フモノガ直グ實現出來ルヤウナ機運ニハ、マダソレハ世界ニハ向ッテ居ラヌノデアリマス、亞米利加デハ今日ハ——昨日ノ電報ニモアリマシタガ、大藏大臣ハ銀問題ニ對シテハ、政策ハ變更シナイト云フコトヲ聲明サレマシタ、今日マデノ亞米利加ノ銀政策ニ對シテ

ハ「トーマス」ノ修正法ノ中ニ書イテアル所ノ、金銀ノ時價ヲ定メテ、銀準備ヲシテ、其割合デ銀券ヲ發行シ得ルト云フヤウナ權能ヲ與ヘル、其後倫敦會議ニ於テ決定サレマシタ所ノ八箇國間ノ銀協定、即チ印度ノ一年ニ賣出ス三千五百萬「オンス」ノ銀ヲ各國デ買上ゲル、亞米利加ハ二千四百萬「オンス」ヲ買上ゲル、此協定ヲ批准致シマシテ、銀ノ買上ヲ致シテ居ル、其他ノ方法デ國內産銀ノ買入方法ヲ講ジテ居リマス

其他目下議會デモ提案ニナツテ居ル銀ノ法案ガアルヤウデアリマスルガ、此法案ガ下ノ程度ニ銀問題ノ解決ヲ今日ノ狀態ト非常ニ違ヘテ行クカト云フコトニ付テ、マダ見極メガ付カナイノデアリマス、斯ウ云フヤウナ狀態デアリマシテ、我國トシテ深甚ノ考慮ヲ拂ツテ研究スベキ問題デアリマス

ガ、併シ世界全體トシテハ、先ヅ歐羅巴側ニ於テハ餘リ重大ナ問題ニシテナイ、斯ウ考ヘルノデアリマス

○松尾委員 ソレデハ銀本位ト云フコトハ、新聞デハ屢報道シテ居ラレマスガ、ア云フコトハ實現ノ可能性ハ少イト見テ居ラレルト云フ御見解デゴザイマスカ、サウ解シテ宜シウゴザイマスカ

○津島政府委員 先ヅサウ考ヘマス

○松尾委員 私ハマダ産金政策ニ付テ承リタイコトガアリマスガ、是ハ商工省ノ關係ニ屬シマスカラ、商工省ノ政府委員ノ御出席ノ時マデ保留致シマシテ、質問ハ是デー應打切りマス

○中村委員 一寸議事進行デ……大分委員ノ御質問ニ、亞米利加ノ金ノ「オペレーション」ニ付テ御言葉ガアル、私ノ希望ト致シマシテハ、昨年八月竝ニ十月ニ於ケル大統領令、及ビ十月ニ大統領ガ「ラヂオ」ヲ通ジテ、金「オペレーション」ト云フ相當重要ナル聲明ヲ全國ニサレタヤウニ思ヒマスガ、ソレ等ノ大要ヲ理財局ガ「プリント」シテ吾吾ニ提供セラレルナラバ、相當ノ參考ニナルト思ヒマス、ソレヲ希望致シマス

○津島政府委員 只今御要求ノ參考書ハ、此法案ノ審議ニハ間接直接關係ガアルト思ヒマスルガ、此參考書ハ相當大量ノモノニナルト思ヒマスガ、ソレニ關係ナク、本案ノ審議ハ一ツ進行ヲ促進「サレルト云フコトデ、材料ヲ差上ゲテモ宜イト思ヒマスガ如何デスカ、御意嚮ヲ承ツテ置キタイト思フ

○中村委員 ソレヲ提供サレヌカラト云フテ、審議ヲ止メルト云フモノデハナイノデアリマス、是ハ非常ニ日本國民ガ米國ノ金「オペレーション」ニ注意ヲ致シテ居リマス、殊

ニ委員ト致シマシテモ、サウ云フ程度ノ材料ヲ得ラレマスナラバ幸ダト云フノデ、別ニ強ヒテ申上ゲル譯デハナイノデアリマス、是ハ私有ッテ居リマスケレドモ、矢張委員全部ニ分ケラレタイト云フ考デアリマスカラ、惡意ヲ以テ申上ゲルノデハナイ、善意ヲ以テ申上ゲルノデアリマスカラ、左様御諒承願ヒマス

○津島政府委員 能ク御趣意ハ分リマシテ、大變仕合セデス、ソレデハ關係ノサウ云フ聲明トカ、ソレニ關聯シテ必要ト認ムル材料ヲ差上ゲルコトニ致シタイト思ヒマス

○金井委員長代理 ソレデハ是デ散會致シマス

午後四時二十一分散會